中島村　小・中学校のあり方に関する
村民アンケート調査報告書
（一般向けアンケート・児童生徒アンケート結果）

令和8年10月

目次

-1- アンケート調査概要(一般向け)....5
(1)調査目的....5
(2)実施方法....5
(3)回収結果....5
-2- 村民アンケート集計分析結果(一般向け)....6
1 基本事項....6
●問1 あなたのお立場についてお答えください。(複数選択可)(必須項目)....6
●問2 あなたの職業についてお答えください。(任意項目)....7
●問3 あなたの年代についてお答えください。(必須項目)....7
●問4 あなたの性別についてお答えください。(必須項目)....8
●問5 現在お住まいの地区についてお答えください(必須項目)....8
2 学校に期待すること....9
●問6 子どもたちに特に身に付けてほしい力は何ですか(3つまで選択)(必須項目)....9
●問7 学校教育で特に充実してほしいことは何ですか(3つまで選択)(必須項目)....10
●問8 子どもの成長にとって必要だと思うものは何ですか(3つまで選択)(必須項目)....11
3 現在の学校規模について....13
●問9 現在の学校規模をどのように感じていますか。(必須項目)....13
●問10 現在の学校規模の良い点は何だと思いますか(複数選択可)(必須項目)....14
●問11 現在の学校規模の課題は何だと思いますか(複数選択可)(必須項目)....15
4 児童生徒数減少について....17
●問12 児童生徒数減少についてどのように感じますか(必須項目)....17
●問13 (問12で「1. とても不安」「2. やや不安」を選択した方のみ回答)不安な内容を選んでください(複数選択可)(必須項目)....18
5 適正な学校規模について....20
●問14 子どもたちの教育環境として、「通学距離が短いこと」と「一定規模の児童生徒数を確保すること」のどちらを重視しますか。(必須項目)....20
●問15 授業を受ける「1学級(クラス)」の人数は、どの程度が望ましいと思いますか。(必須項目)....21
●問16 同じ学年全体(クラス数に関わらず)の児童生徒数は、どの程度必要だと思いますか。(必須項目)....22
●問17 学校規模が小さくなった場合、教育環境への影響があると思いますか(必須項目)....23
6 今後の学校づくりについて....25
●問18 児童生徒数減少が進んだ場合、どのような学校のあり方がよいと思いますか。(必須項目)....25
●問19 学校のあり方を検討するにあたり、重要だと思うことは何ですか。(複数選択可)(必須項目)....26
●問20 今後の学校づくりにおいて、「期待すること」は何ですか(複数選択可)(必須項目)....27
●問21 今後の学校づくりにおいて、「心配なこと」は何ですか(複数選択可)(必須項目)....28
7 自由記述....30
●問22 将来の学校づくりについてご意見をお聞かせください (任意・自由記述)....30
-3- アンケート調査概要(児童生徒向け)....35
(1)調査目的....35
(2)実施方法....35
(3)回収結果....35
-4- 小学生1・2年生 アンケート集計分析結果....36
●問1 学校はたのしいですか。....36
●問2 学校で「すき」なことは何ですか。(いくつでもえらんでください。)(複数選択可)....36
●問3 学校で、お友だちとなかよくできていますか。....37
●問4 学校で「もっとあったらいいな」と思うことは何ですか。....37
●問5 運動会や遠足、学習発表会は楽しいですか。....38
●問6 学校のことで、「こうなったらいいな」とおもうことや、やってみたいことをじゆうにかいてください。....38
-5- 小学生3～6年生 アンケート集計分析結果....41
●問1 学校生活は楽しいですか。....41

●問2　学校で「楽しいな」と思うことは何ですか。 42
●問3　学校で「これが大切だな」と思うことは何ですか。 43
●問4　学校で、もっとあったらいいなと思うことは何ですか。 44
●問5　運動会や学習発表会は楽しいですか。 45
●問6　運動会や学習発表会のどんなところが楽しいですか。 46
●問7　これからの学校では、どんなことを大切にしてほしいですか。 47
●問8　「こんな学校だったらいいな」と思うことや、学校がもっと楽しくなるためにやってみたいことがあれば、自由に書いてください。 48
-6-　中学生　アンケート集計分析結果 51
1　学校生活について 51
●問1　現在の学校生活で大切だと思うことは何ですか。(3つまでえらんでください)(複数選択可)(必須項目) 51
●問2　学校生活でもっと充実してほしいことは何ですか。(3つまでえらんでください)(複数選択可)(必須項目) 52
2　人との関わりや学びについて 53
●問3　学校で学ぶうえで、特に大切だと思うことは何ですか。(3つまでえらんでください)(複数選択可)(必須項目) 53
3　小学校での経験を振り返って 54
●問4　小学校生活を振り返って、「こんな小学校だったらよかった」と思うことは何ですか。(3つまでえらんでください)(複数選択可)(必須項目) 54
●問5　小学生の頃を振り返って、「もっとあればよかった」と思うことは何ですか。(あてはまるものをすべて選んでください。)(複数選択可)(必須項目) 55
4　現在の中学校生活について 56
●問6　現在の中学校生活で、「これからも続けてほしい」と思うことは何ですか。(あてはまるものをすべて選んでください。)(必須項目) 56
5　現在の中学校の人数について 57
●問7　授業や学校行事、部活動、友達との関わりなど、学校生活全体を通して、今の中学校の人数をどのように感じていますか。(必須項目) 57
●問8　今の中学校の人数について、学校生活を送る中で、あなたが良いと感じていることは何ですか。(複数選択可)(必須項目) 57
●問9　今の中学校の人数について、不便に感じることは何ですか。 58
6　中島村の児童生徒数の減少について 59
●問10　中島村では、小学生や中学生の数が、これから少なくなっていくことが予想されています。このことについて、小学生、中学生全体のことを考えたとき、あなたはどのように感じますか。(必須項目) 59
●問11　問10で「1. とても心配している」「2. 少し心配している」と答えた人に聞きます。どのようなことが心配ですか。(複数選択可)(必須項目)※問10で「とても心配している」「少し心配している」と回答した77人が対象。 60
●問12　もし小学生や中学生の数が今より少なくなった場合でも、小学生、中学生にとって、特に大切だと思うことは何ですか。(3つまで)(必須項目) 61
7　これからの中学校に必要な人数について 62
●問13　みなさんが通う中学校では、授業を受ける1つのクラスは、どのくらいの人数がよいと思いますか。(必須項目)62
●問14　みなさんが通う中学校では、同じ学年にはどのくらいの人数がいるとよいと思いますか。(必須項目) 63
●問15　これからの中学校の人数が今より少なくなった場合、学校生活や学びに影響があると思いますか。(必須項目) 63
●問16　これからの中学校について考えるとき、学校の場所や通学方法が変わる場合もあることを考えて、あなたは「学校に近く、通学しやすいこと」と「多くの友達と学べること」 どちらを大切だと思いますか。(必須項目) 64
8　これからの小学校・中学校の教育環境について 65
●問17　これからの小学校・中学校では、どのようなことを特に大切にしてほしいですか。 65
●問18　児童生徒数がこれからも少なくなった場合、小学校・中学校を含めた将来の学校はどのようにしていくことがよいと思いますか。(必須項目) 66
●問19　これからの小学校、中学校について考えたとき、不安や心配なことは何ですか。(3つまで)(必須項目) 67
●問20　みなさんが小学生だった頃や中学校での経験を振り返って、これから小学生、中学生になる子どもたちにとって、どのような学校がよいと思いますか。(3つまで)(必須項目) 68

●問21　将来の学校について意見を聞かせてください。（自由記述）(任意項目) 69
-7－　児童生徒アンケート全体について 72
-8-　一般・児童生徒アンケート全体について 73
-9-　全体まとめ 74

一般向けアンケート結果

-1- アンケート調査概要(一般向け)

(1)調査目的

本村では、少子化の進行に伴う児童生徒数の減少を踏まえ、将来にわたり子どもたちがより良い教育環境の中で学ぶことができるよう、学校規模や学校配置のあり方について検討を進めている。

本調査は、学校統合の是非を問うことを目的とするものではなく、今後の学校教育や学校づくりのあり方を検討するための基礎資料とすることを目的として、児童生徒、保護者及び地域住民の皆様の、現在の学校教育や将来の学校のあり方に対するご意見やお考えを把握するために実施したものである。

本報告書では、アンケート結果を学校の統合・存続の判断材料としてのみ捉えるのではなく、児童生徒数の減少を踏まえ、今後どのような教育環境を整えていくことが望ましいかという観点から整理・分析している。

(2)実施方法

① 調査対象

1) 地域住民

村内15歳以上の住民(中学生除く) 4,634人(R8.6.1時点)

2) 学校関係者(保育所・幼稚園含む)

各施設に勤務している村外在住の先生 92人

② 調査方法

1) アンケートの周知・配布

- 行政連絡員を通じた定時文書の発送(令和8年7月31日発送)により、アンケート要領を全戸配布
- 広報なかじま(9月号への掲載)
- 中島村ホームページ(R8.8.1から情報掲載)
- 中島村公式LINE(中島村ホームページと時期おなじくR8.8.1から情報送信・回答期限の約1週間前にリマインド対応)
- 公共施設等へのアンケート要領等の配置
- 0歳～14歳までのお子さんの保護者に対し、デジタル連絡網(コドモン、マチコミ 等)を活用した周知

2) 回答方法

- WEBによる回答:パソコンまたはスマートフォン等からGoogleフォームを利用して回答
- アンケート用紙による回答:配布したアンケート用紙に記入して回答

③ 調査期間

- 令和8年8月1日～令和8年9月18日

(3)回収結果

- 回答数は296件

-2- 村民アンケート集計分析結果(一般向け)

1 基本事項

●問1 あなたのお立場についてお答えください。(複数選択可)(必須項目)

分析結果

回答者の属性は、「小学生の保護者」が96件(32.4%)と最も多く、次いで「地域住民」が83件(28.0%)、「未就学児の保護者」が76件(25.7%)、「村内の保育所・幼稚園・小中学校関係者」が60件(20.3%)、「中学生の保護者」が56件(18.9%)となってる。

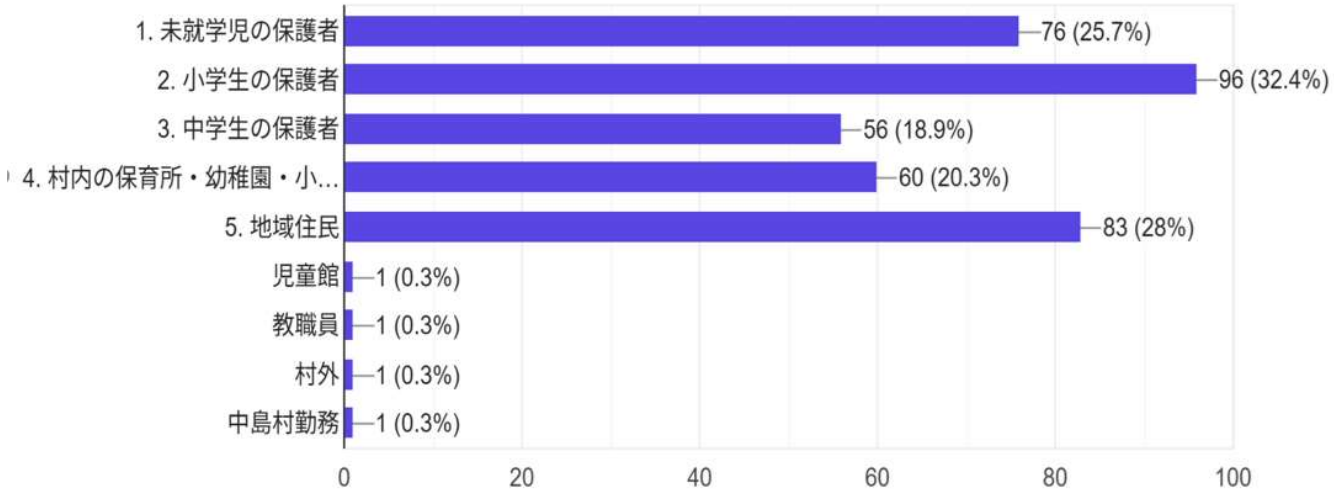
未就学児、小学生、中学生の保護者からは計228件の回答があり、子育て世帯から幅広く回答が寄せられている。また、地域住民からも83件(28.0%)の回答があり、保護者以外の地域住民からも意見が寄せられている。

なお、本設問は複数選択可としているため、回答者の属性には重複があり、各項目の割合の合計は100%を超える。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 未就学児の保護者	76	25.7%
2. 小学生の保護者	96	32.4%
3. 中学生の保護者	56	18.9%
4. 村内の保育所・幼稚園・小中学校関係者	60	20.3%
5. 地域住民	83	28.0%
●以下「その他」コメント		
児童館	1	0.3%
教職員	1	0.3%
村外	1	0.3%
中島村勤務	1	0.3%

※複数回答のため、各割合の合計は100%を超える



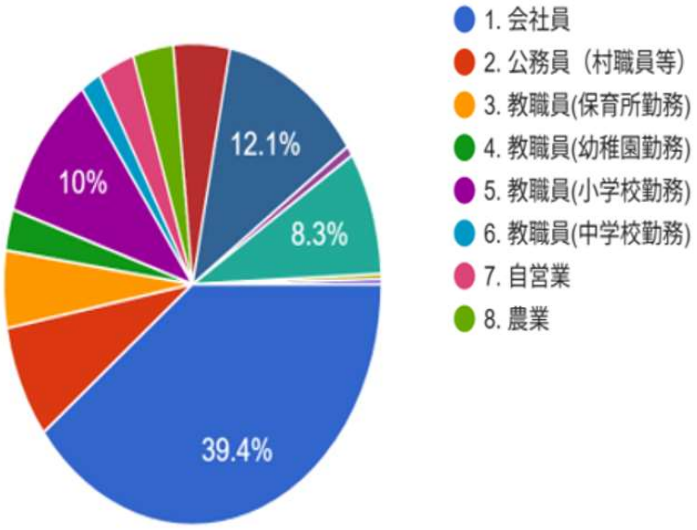
●問2　あなたの職業についてお答えください。(任意項目)

分析結果

回答者の職業は、「会社員」が39.4%と最も多く、次いで「教職員(小学校勤務)」が10.0%となっている。また、公務員、保育・教育関係者、自営業、農業等、さまざまな職業から回答が寄せられている。
このことから、本調査では特定の職業層だけでなく、異なる職業・生活背景を持つ回答者から幅広く意見が寄せられていることが分かる。
※本設問は任意項目のため、無回答等を除く289件を対象に集計している。

※289件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 会社員	114	39.4%
2. 公務員(村職員等)	22	7.6%
3. 教職員(保育所勤務)	15	5.2%
4. 教職員(幼稚園勤務)	8	2.8%
5. 教職員(小学校勤務)	29	10.0%
6. 教職員(中学校勤務)	5	1.7%
7. 自営業	9	3.1%
8. 農業	10	3.5%
9. 法人・団体職員	14	4.8%
10. パート・アルバイト	35	12.1%
11. 学生	2	0.7%
12. 無職	24	8.3%
●以下「その他」コメント		
会社役員	1	0.3%
児童館	1	0.3%
総計	289	100.0%



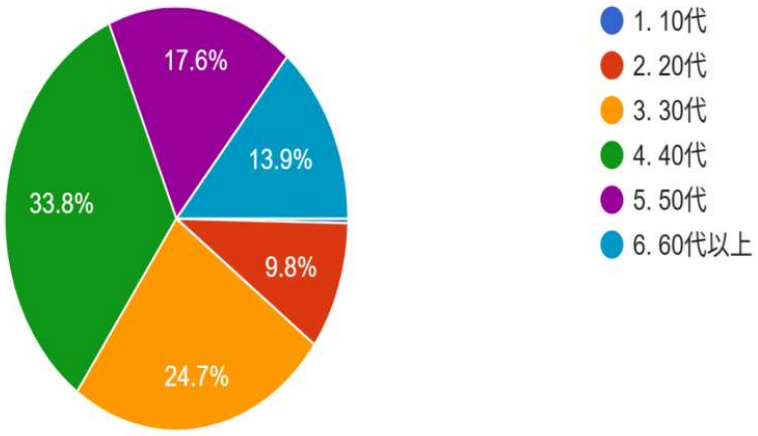
●問3　あなたの年代についてお答えください。(必須項目)

分析結果

回答者の年代は、「40代」が33.8%と最も多く、次いで「30代」が24.7%、「50代」が17.6%、「60代以上」が13.9%、「20代」が9.8%となっている。
30代及び40代で58.5%を占めており、回答者の半数を超えています。一方、20代から60代以上まで幅広い年代から回答が寄せられており、各年代の意見が含まれる結果となっている。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 10代	1	0.3%
2. 20代	29	9.8%
3. 30代	73	24.7%
4. 40代	100	33.8%
5. 50代	52	17.6%
6. 60代以上	41	13.9%
総計	296	100.0%



●問4　あなたの性別についてお答えください。(必須項目)

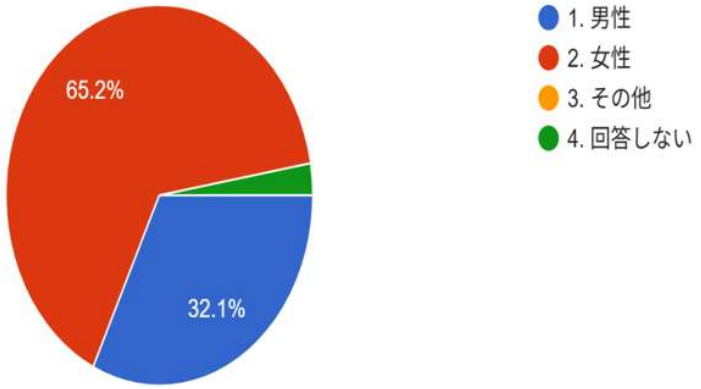
分析結果

回答者の性別は、「女性」が65.2%と最も多く、次いで「男性」が32.1%となっている。「回答しない」は約2.7%であり、「その他」の回答はなかった。

女性が回答者全体の約3分の2を占めており、男性と比較して女性からの回答が多い結果となっている。一方で、男性からも32.1%の回答があり、男女双方から意見が寄せられている。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 男性	95	32.1%
2. 女性	193	65.2%
4. 回答しない	8	2.7%
総計	296	100.0%



●問5　現在お住まいの地区についてお答えください(必須項目)

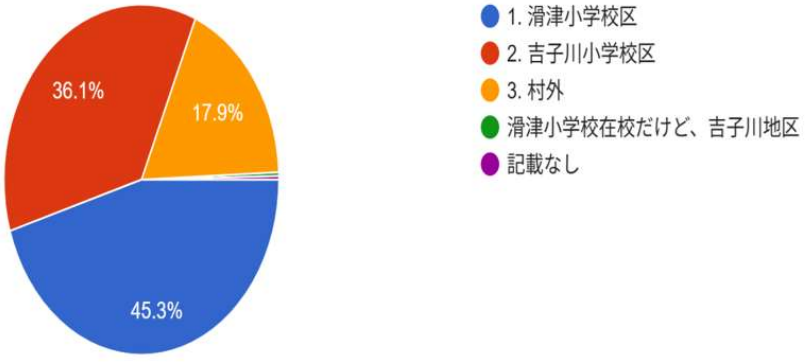
分析結果

回答者の居住地区は、「滑津小学校区」が45.3%と最も多く、次いで「吉子川小学校区」が36.1%、「村外」が17.9%となっている。また、「滑津小学校校区だけど、吉子川地区」などの回答も見られた。

村内の小学校区別では、「滑津小学校区」と「吉子川小学校区」の両地区から回答が寄せられており、両地区を合わせると81.4%を占めている。また、村外からも17.9%の回答があり、村内在住者だけでなく、村内の学校に勤務する村外在住の学校関係者等からの回答も含まれていることがうかがえる。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 滑津小学校区	134	45.3%
2. 吉子川小学校区	107	36.1%
3. 村外	53	17.9%
●以下「その他」コメント		
滑津小学校在校だけど、吉子川地区	1	0.3%
記載なし	1	0.3%
総計	296	100.0%



2　学校に期待すること

●問6　子どもたちに特に身に付けてほしい力は何ですか（3つまで選択）（必須項目）

分析結果

子どもたちに特に身に付けてほしい力については、「思考力・判断力・表現力」が53.0%と最も多く、次いで「コミュニケーション能力」が52.0%、「協調性・社会性」が51.4%となっている。これら3項目はいずれも回答者の半数を超えている。

次いで、「学力・知識」が43.9%となっており、これら4項目が他の選択肢と比較して多く選ばれている。一方、「多様な人と関わる力」は19.3%、「主体性・チャレンジ精神」は17.9%、「基本的生活習慣」は16.6%、「体力・健康」は16.9%となっている。

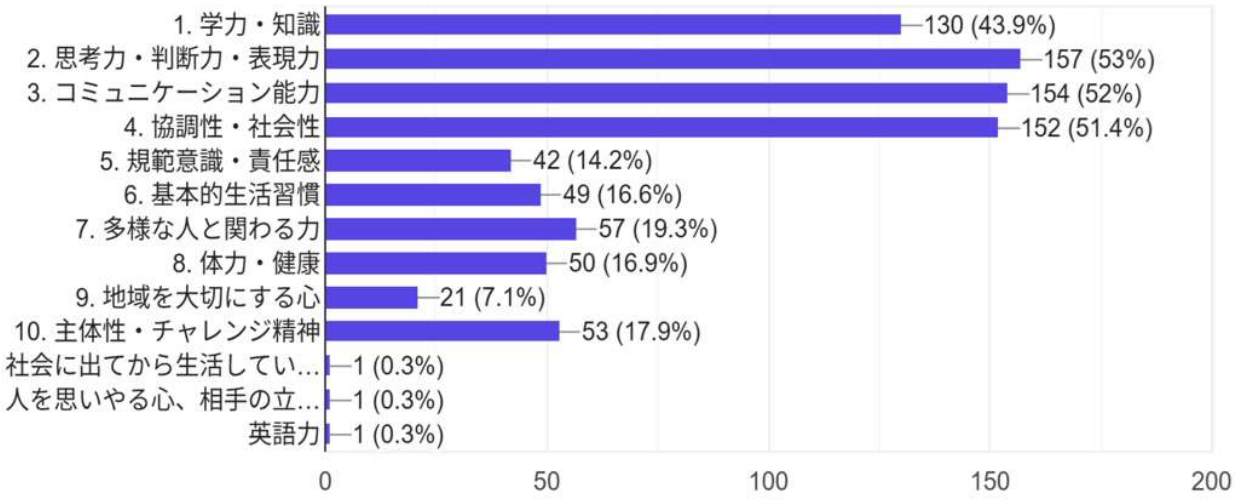
また、「規範意識・責任感」は14.2%、「地域を大切にする心」は7.1%となっている。「その他」では、「社会に出てから生活していく力」「人を思いやる心、相手の立場を考える力」「英語力」などの意見があった。

全体として、知識や学力だけでなく、思考・判断・表現、他者とのコミュニケーション、協調性・社会性など、他者と関わりながら考え、行動する力を重視する回答が多い結果となっている。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1.　学力・知識	130	43.9%
2.　思考力・判断力・表現力	157	53.0%
3.　コミュニケーション能力	154	52.0%
4.　協調性・社会性	152	51.4%
5.　規範意識・責任感	42	14.2%
6.　基本的生活習慣	49	16.6%
7.　多様な人と関わる力	57	19.3%
8.　体力・健康	50	16.9%
9.　地域を大切にする心	21	7.1%
10.　主体性・チャレンジ精神	53	17.9%
●以下「その他」コメント		
社会に出てから生活していける力	1	0.3%
人を思いやる心、相手の立場になり考えられる想像力	1	0.3%
英語力	1	0.3%

※複数回答のため、各割合の合計は100%を超えます



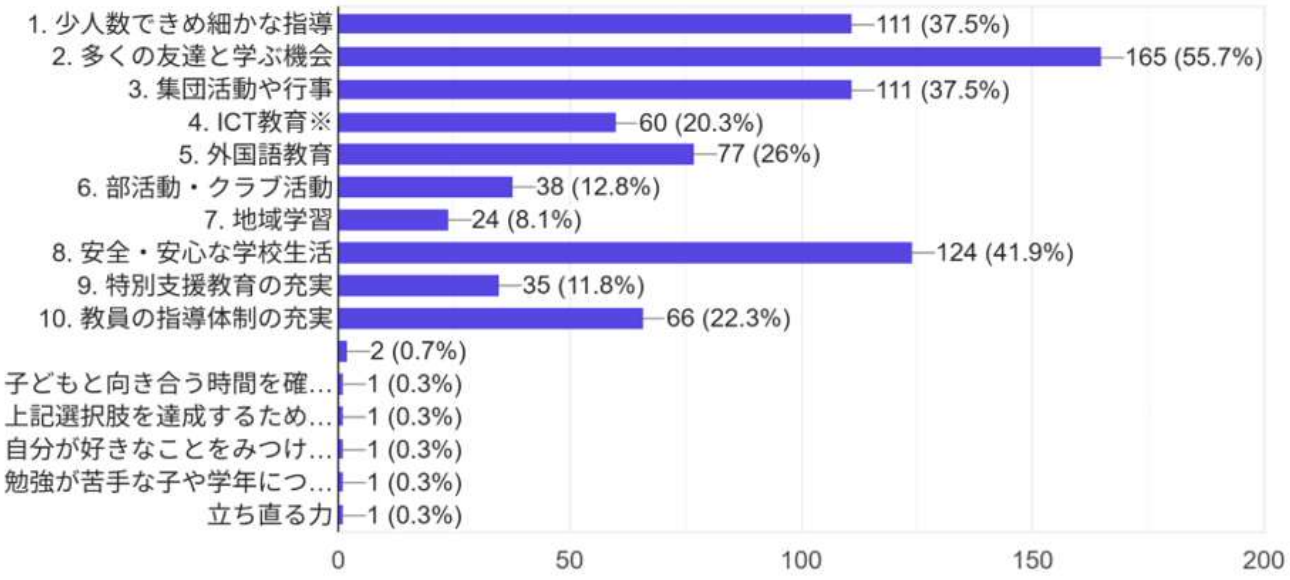
●問7　学校教育で特に充実してほしいことは何ですか（3つまで選択）（必須項目）

分析結果

学校教育で特に充実してほしいことについては、「多くの友達と学ぶ機会」が55.7%と最も多く、次いで「安全・安心な学校生活」が41.9%となっている。
続いて、「少人数できめ細かな指導」と「集団活動や行事」がそれぞれ37.5%、「外国語教育」が26.0%、「教員の指導体制の充実」が22.3%、「ICT教育」が20.3%となっている。
一方、「部活動・クラブ活動」は12.8%、「特別支援教育の充実」は11.8%、「地域学習」は8.1%となっている。
また、「その他」では、「子どもと向き合う時間を確保してほしい」「自分が好きなことを見つけられるようにしてほしい」「勉強が苦手な子や学年に応じた支援」「立ち直る力」などの意見があった。
全体として、「多くの友達と学ぶ機会」が最も多く選ばれており、友達との関わりや集団での学びを重視する回答が多い結果となっている。一方で、「少人数できめ細かな指導」も37.5%、「安全・安心な学校生活」は41.9%となっており、集団で学ぶ機会だけでなく、一人ひとりに応じた指導や安心して学校生活を送るための環境も重視されていることがうかがえる。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1.　少人数できめ細かな指導	111	37.5%
2.　多くの友達と学ぶ機会	165	55.7%
3.　集団活動や行事	111	37.5%
4.　ICT教育	60	20.3%
5.　外国語教育	77	26.0%
6.　部活動・クラブ活動	38	12.8%
7.　地域学習	24	8.1%
8.　安全・安心な学校生活	124	41.9%
9.　特別支援教育の充実	35	11.8%
10.　教員の指導体制の充実	66	22.3%
●以下「その他」コメント		
その他(無記名)	2	0.7%
子どもと向き合う時間を確保してほしい	1	0.3%
自分が好きなことを見つけられるようにしてほしい	1	0.3%
勉強が苦手な子や学年に応じた支援	1	0.3%
立ち直る力	1	0.3%



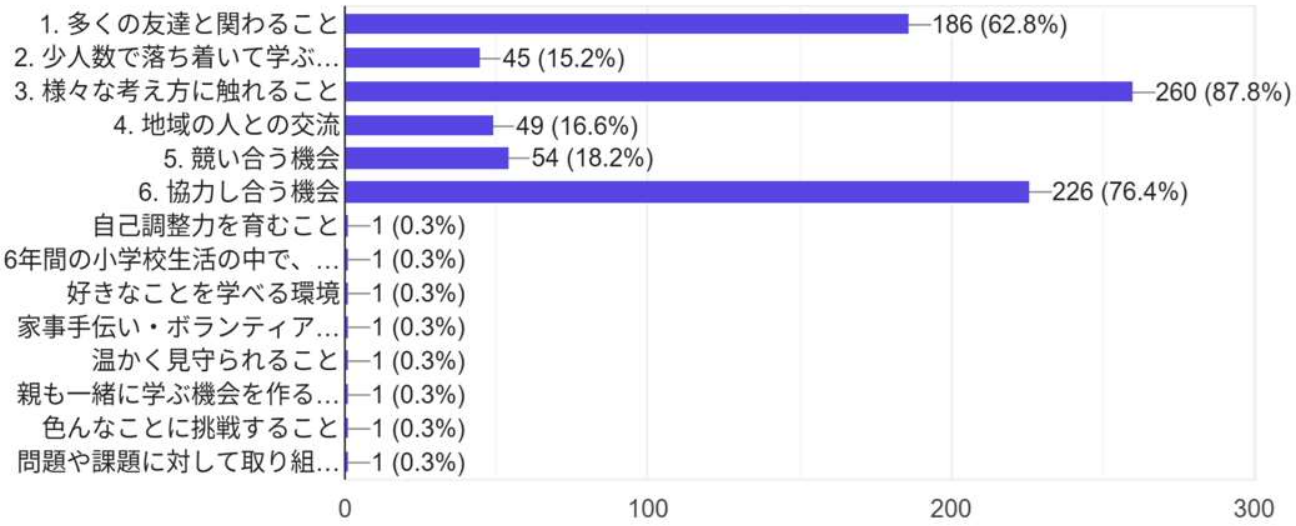
●問8　子どもの成長にとって必要だと思うものは何ですか（3つまで選択）　（必須項目）

分析結果

子どもの成長にとって必要だと思うものについては、「様々な考え方に触れること」が87.8%と最も多く、次いで「協力し合う機会」が76.4%、「多くの友達と関わること」が62.8%となっている。
一方、「競い合う機会」は18.2%、「地域の人との交流」は16.6%、「少人数で落ち着いて学ぶこと」は15.2%となっている。
全体として、「様々な考え方に触れること」「協力し合う機会」「多くの友達と関わること」の3項目が特に多く選ばれており、子どもの成長において、他者との関わりや多様な考え方に触れる経験を重視する回答が多い結果となっている。
また、「競い合う機会」よりも「協力し合う機会」の回答割合が大きく上回っており、競争的な活動よりも、他者と関わりながら協力して学ぶ・活動する機会を重視する傾向がうかがえる。
なお、「その他」では、「自己調整力を育むこと」「好きなことを学べる環境」「家事手伝い・ボランティア」「温かく見守られること」「親も一緒に学ぶ機会を作ること」などの意見があった。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 多くの友達と関わること	186	62.8%
2. 少人数で落ち着いて学ぶこと	45	15.2%
3. 様々な考え方に触れること	260	87.8%
4. 地域の人との交流	49	16.6%
5. 競い合う機会	54	18.2%
6. 協力し合う機会	226	76.4%
●以下「その他」コメント		
自己調整力を育むこと	1	0.3%
6年間の小学校生活の中で、滑津小学校と吉子川小学校の生徒同士のふれあい授業や合同活動を年間を通して何回か開催するような機会を設ける。将来の学校統一の準備となる。	1	0.3%
好きなことを学べる環境	1	0.3%
家事手伝い・ボランティア	1	0.3%
温かく見守られること	1	0.3%
親も一緒に学ぶ機会を作ること	1	0.3%
色んなことに挑戦すること	1	0.3%
問題や課題に対して取り組み、乗り越える経験	1	0.3%



「2　学校に期待すること」　の結果から読み取れる主な傾向

- 子どもたちに身に付けてほしい力として、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション能力、協調性・社会性などを重視する意見が多くみられた。
- 学力・知識だけでなく、多様な人との関わりや協力する力、社会の中で生きていくための力を求める傾向がみられた。
- 学校教育で充実してほしいこととして、多くの友達と学ぶ機会、安全・安心な学校生活、少人数できめ細かな指導、集団活動や行事などが挙げられた。
- 子どもの成長に必要なこととして、様々な考え方に触れることや、協力し合うこと、多くの友達と関わることを重視する意見が多かった。
- これらから、今後の学校づくりにおいては、学力面だけでなく、人との関わりや社会性を育む教育環境も重視されていることがうかがえる。

3　現在の学校規模について

●問9　現在の学校規模をどのように感じていますか。(必須項目)

分析結果

現在の学校規模については、「適切である」が40.9%と最も多く、次いで「やや小さい」が30.4%、「わからない」が9.5%となっている。また、「小さすぎる」と感じている回答も一定数みられた。

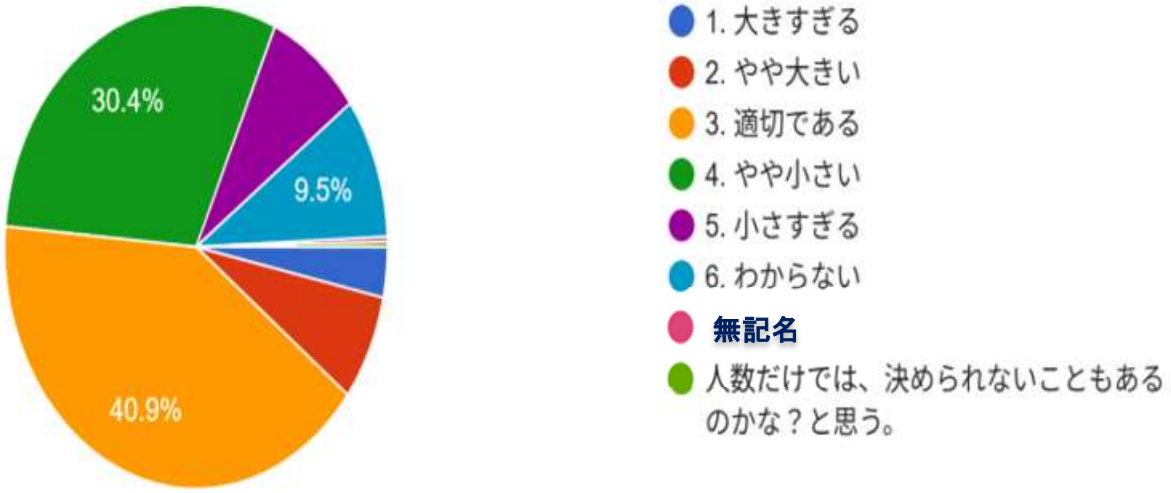
「適切である」と「やや小さい」を合わせると71.3%となり、現在の学校規模について、「適切」または「やや小さい」と感じている回答が全体の7割を超える結果となっている。

一方、「やや大きい」「大きすぎる」と感じている回答は比較的少なく、現在の学校規模を「大きい」と捉えている回答は限られている。また、「小さすぎる」と感じている回答も一定数あることから、学校規模に対する感じ方には違いがみられる。

このことから、現在の学校規模については「適切」とする回答が最も多い一方、学校規模を「小さい」と感じている回答も一定程度あり、回答者によって学校規模に対する認識が異なっていることがうかがえる。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 大きすぎる	10	3.4%
2. やや大きい	21	7.1%
3. 適切である	121	40.9%
4. やや小さい	90	30.4%
5. 小さすぎる	24	8.1%
6. わからない	28	9.5%
●以下「その他」コメント		
その他(無記名)	1	0.3%
人数だけでは、決められないこともあるのかな？と思う。	1	0.3%
総計	296	100.0%



●問10　現在の学校規模の良い点は何だと思いますか（複数選択可）（必須項目）

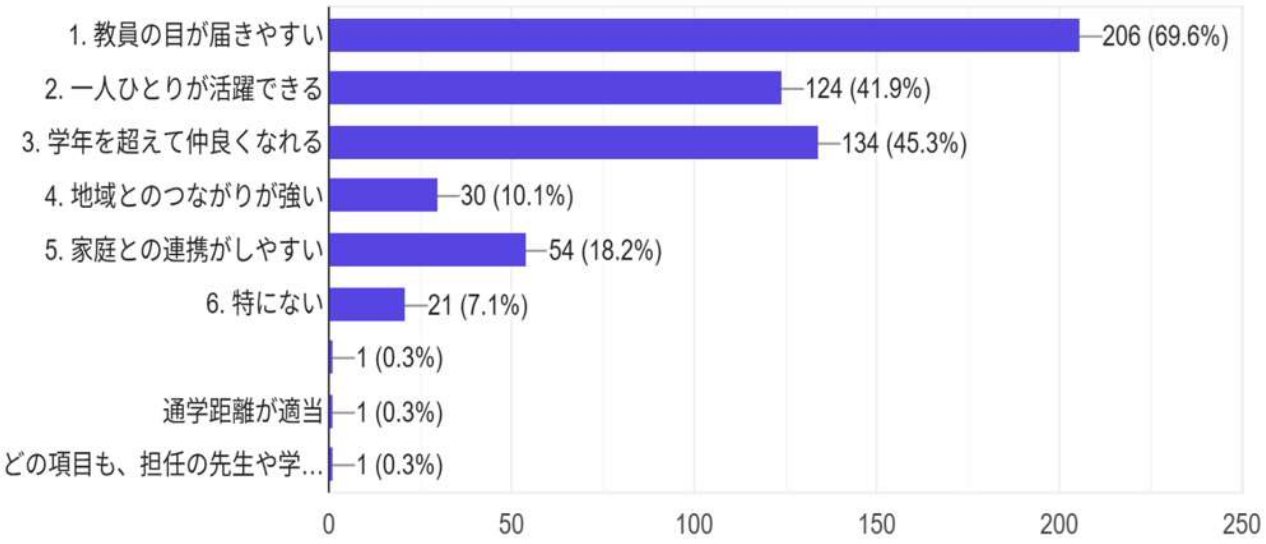
分析結果

現在の学校規模の良い点については、「教員の目が届きやすい」が69.6%と最も多く、次いで「学年を超えて仲良くなれる」が45.3%、「一人ひとりが活躍できる」が41.9%となっている。
続いて、「家庭との連携がしやすい」が18.2%、「地域とのつながりが強い」が10.1%となっており、「特にない」は7.1%となっている。
全体として、「教員の目が届きやすい」が約7割と突出して多く、現在の学校規模の良さとして、教員が子ども一人ひとりを把握しやすいことを重視する回答が多い結果となっている。
また、「学年を超えて仲良くなれる」「一人ひとりが活躍できる」も4割を超えており、小規模な学校ならではの、子ども同士の関わりや一人ひとりが活動する機会についても評価されていることがうかがえる。
一方、「地域とのつながりが強い」は10.1%、「家庭との連携がしやすい」は18.2%となっており、現在の学校規模の良さとしては、地域や家庭とのつながりよりも、教員によるきめ細かな関わりや子ども同士の人間関係に関する項目が多く選ばれている結果となっている。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 教員の目が届きやすい	206	69.6%
2. 一人ひとりが活躍できる	124	41.9%
3. 学年を超えて仲良くなれる	134	45.3%
4. 地域とのつながりが強い	30	10.1%
5. 家庭との連携がしやすい	54	18.2%
6. 特にない	21	7.1%
●以下「その他」コメント		
その他(無記名)	1	0.3%
通学距離が適当	1	0.3%
どの項目も、担任の先生や学校の体制によるもので、どの学校規模でもできることだと思う。逆に、今の規模だから良いと言うわけでもないと思う。	1	0.3%

※複数回答のため、各割合の合計は100%を超えます



●問11　現在の学校規模の課題は何だと思いますか（複数選択可）　（必須項目）

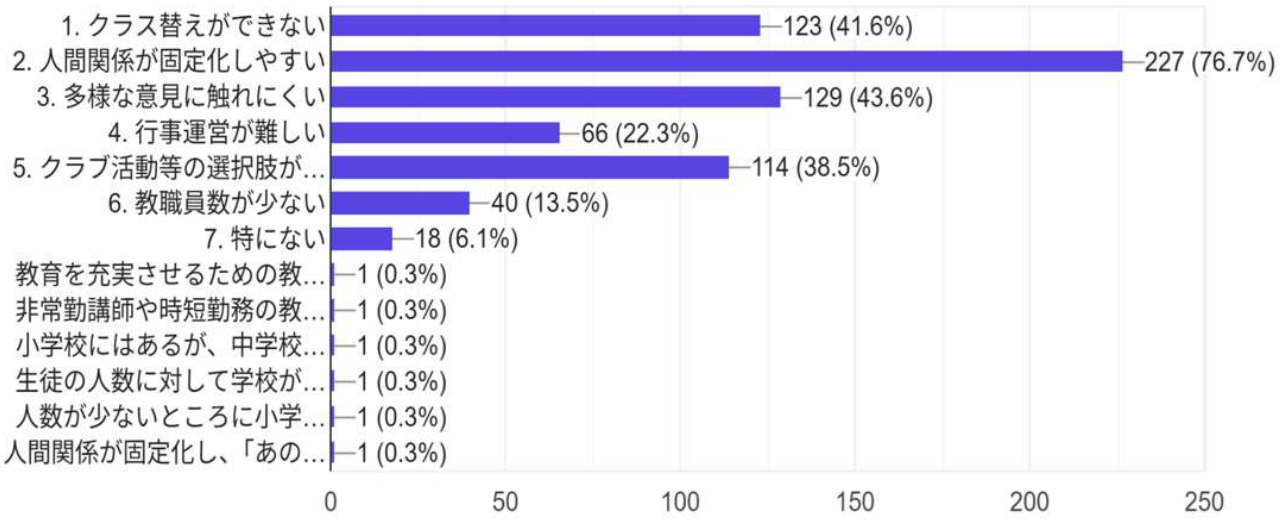
分析結果

現在の学校規模の課題については、「人間関係が固定化しやすい」が76.7%と最も多く、次いで「多様な意見に触れにくい」が43.6%、「クラス替えができない」が41.6%となっている。
続いて、「クラブ活動等の選択肢が少ない」が38.5%、「行事運営が難しい」が22.3%、「教職員数が少ない」が13.5%となっています。また、「特にない」は6.1%となっている。
全体として、「人間関係が固定化しやすい」が7割を超えており、現在の学校規模の課題として特に多く認識されていることが分かる。また、「多様な意見に触れにくい」「クラス替えができない」も4割を超えており、児童生徒同士の人間関係や、多様な人と関わりながら学ぶ機会に関する課題を挙げる回答が多い結果となっている。
さらに、「クラブ活動等の選択肢が少ない」も38.5%となっており、学校規模が小さいことによる活動の選択肢や集団活動の幅への影響についても一定の課題認識がみられる。
問10では「教員の目が届きやすい」「一人ひとりが活躍できる」など、現在の学校規模の良さが挙げられている一方、問11では「人間関係が固定化しやすい」「多様な意見に触れにくい」などが課題として多く挙げられている。このことから、現在の学校規模については、きめ細かな指導や一人ひとりへの関わりやすさが評価される一方、児童生徒同士の多様な関わりや集団の中で学ぶ機会については課題があると捉えられていることがうかがえる。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. クラス替えができない	123	41.6%
2. 人間関係が固定化しやすい	227	76.7%
3. 多様な意見に触れにくい	129	43.6%
4. 行事運営が難しい	66	22.3%
5. クラブ活動等の選択肢が少ない	114	38.5%
6. 教職員数が少ない	40	13.5%
7. 特にない	18	6.1%
●以下「その他」コメント		
教育を充実させるための教室環境が整っていない（特別教室・空き教室の不足）	1	0.3%
非常勤講師や時短勤務の教員が多く、正規職員の公務分掌および振られる仕事が多く、本来の仕事である授業力向上のための仕事に時間が割けない。	1	0.3%
小学校にはあるが、中学校に特別支援教室が無い	1	0.3%
生徒の人数に対して学校が2つある意味がわからない。支援級も1つの学校にまとめたほうがよい	1	0.3%
人数が少ないところに小学校は2つに分かれてしまうので、男女のバランスが悪くなる。少ない人数の中で人間関係が固定化してしまう。全員仲良く出来ればいいが、そうでないとそれが6年間続くので人数が多ければ気の合う子も見つけやすいと思う。	1	0.3%
人間関係が固定化し、「あの子はこういう子」という決めつけ傾向がある。また、関係が固定化されることで意見が言いにくくなる子もいる。殻を割って新しい自分をさらけだす機会が減る。	1	0.3%

※複数回答のため、各割合の合計は100%を超えます



「3　現在の学校規模について」　の結果から読み取れる主な傾向

- 現在の学校規模については、「適切」とする意見がある一方、「やや小さい」と感じる意見も一定数みられた。
- 現在の小規模な学校の良さとして、教員の目が届きやすいことや、一人ひとりが活躍できること、学年を超えた関わりなどが挙げられた。
- 一方、課題としては、人間関係が固定化しやすいこと、多様な意見に触れる機会が少ないこと、クラス替えや活動の選択肢が限られることなどが多く挙げられた。
- このことから、現在の学校規模には少人数ならではの良さがある一方、一定の集団規模を確保することで得られる教育上の効果も期待されていることがうかがえる。
- 今後の学校規模を検討する際には、児童生徒数だけでなく、学習、人間関係、活動機会、教職員体制等を含めて考える必要がある。

4 児童生徒数減少について

●問12　児童生徒数減少についてどのように感じますか（必須項目）

分析結果

児童生徒数の減少については、「やや不安」が48.3%と最も多く、次いで「とても不安」が31.4%、「あまり不安ではない」が13.5%となっている。

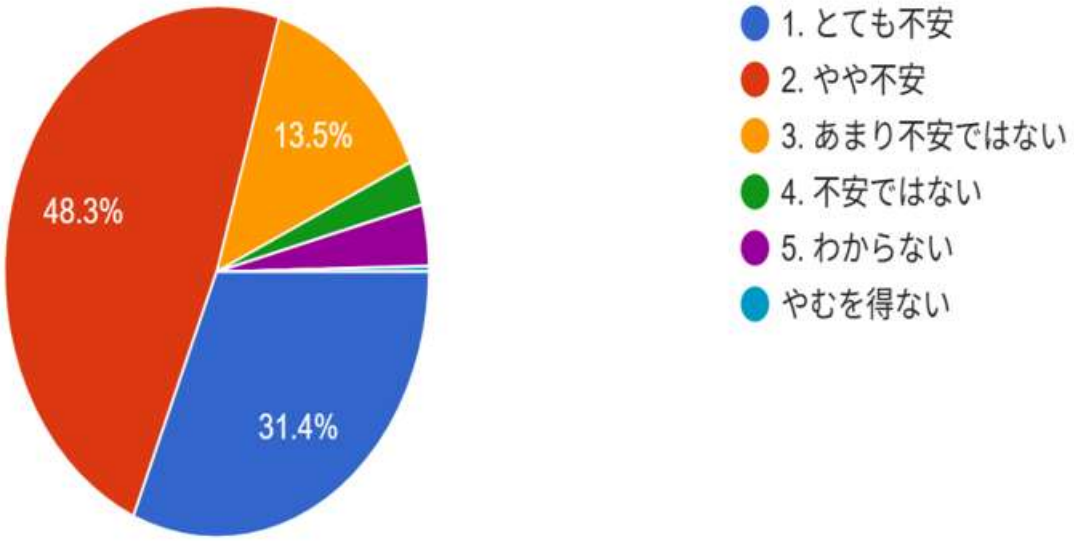
「とても不安」と「やや不安」を合わせると79.7%となり、回答者の約8割が児童生徒数の減少について不安を感じている結果となっている。

一方、「あまり不安ではない」「不安ではない」を合わせると一定数の回答があり、児童生徒数の減少について、必ずしも不安を感じていない回答者もみられる。また、「わからない」などの回答も一部みられる。

全体として、児童生徒数の減少については、「とても不安」「やや不安」とする回答が大半を占めており、今後の児童生徒数の減少を重要な課題として捉えている回答者が多いことがうかがえる。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. とても不安	93	31.4%
2. やや不安	143	48.3%
3. あまり不安ではない	40	13.5%
4. 不安ではない	8	2.7%
5. わからない	11	3.7%
●以下「その他」コメント		
やむを得ない	1	0.3%
総計	296	100.0%



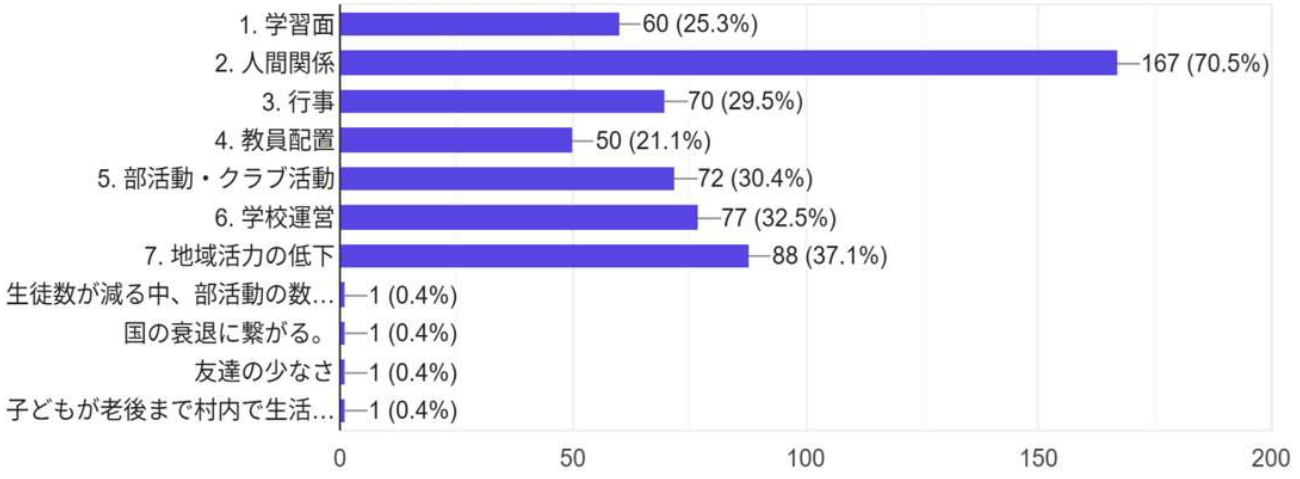
●問13 （問12で「1. とても不安」「2. やや不安」を選択した方のみ回答）不安な内容を選んでください （複数選択可） （必須項目）

分析結果(回答数236人)

児童生徒数の減少に伴って不安に感じる内容については、「人間関係」が70.5%と最も多く、次いで「地域活力の低下」が37.1%、「学校運営」が32.5%、「部活動・クラブ活動」が30.4%となっている。
続いて、「行事」が29.5%、「学習面」が25.3%、「教員配置」が21.1%となっている。また、「その他」では、「生徒数が減る中、部活動の数が減少すること」「国の衰退につながること」「友達の少なさ」「子どもが老後まで村内で生活すること」などの意見があった。
全体として、「人間関係」が70.5%と突出して多く、児童生徒数の減少によって、子ども同士の人間関係や交流の機会に影響が生じることを不安視する回答が多い結果となっている。
また、「地域活力の低下」「学校運営」「部活動・クラブ活動」についても3割前後の回答があり、児童生徒数の減少を、子ども同士の関係だけでなく、学校活動や地域全体への影響として捉えている回答も一定数あることがうかがえる。
問12では児童生徒数の減少について「とても不安」「やや不安」とする回答が多く、問13では、その具体的な不安の内容として「人間関係」が最も多く挙げられている。このことから、児童生徒数の減少そのものへの不安に加え、子ども同士が関わる機会や学校生活、地域への影響を懸念する回答が多いことが確認できる。
なお、本設問は問12で「とても不安」「やや不安」と回答した方を対象としているため、回答数は全体の296件ではなく236件となってる。また、複数回答が可能であるため、各項目の割合の合計は100%にはならない。

※問12で『とても不安』『やや不安』と回答した236人を対象に対比割合を算出

選択肢	回答数	割合
1. 学習面	60	25.3%
2. 人間関係	167	70.5%
3. 行事	70	29.5%
4. 教員配置	50	21.1%
5. 部活動・クラブ活動	72	30.4%
6. 学校運営	77	32.5%
7. 地域活力の低下	88	37.1%
●以下「その他」コメント		
生徒数が減る中、部活動の数が減らず教員の負担がかなり大きい。人数が少なくなれば合同チームなど作ってもそれらのやり取りや指導の方向性で負担がさらに増えるだけである。地域の要望もあるのだろうが、実質問題として難しいなら無くす判断をするべきである。	1	0.4%
国の衰退に繋がる。	1	0.4%
友達の少なさ	1	0.4%
子どもが老後まで村内で生活できるか不安	1	0.4%



「4. 児童生徒数減少について」　の結果から読み取れる主な傾向

- 児童生徒数の減少については、「とても不安」「やや不安」を合わせて約8割となっており、将来の学校教育に対する関心の高さがみられた。
- 不安や心配なこととして、人間関係、地域の活力、学校運営、部活動、学校行事、学習環境、教員配置など、幅広い項目が挙げられた。
- 特に、児童生徒数の減少によって、友人関係や活動の選択肢、学校行事、部活動等に影響が生じることを懸念する意見が多くみられた。
- 一方で、小規模な学校だからこそ、一人ひとりに目が行き届くなどの利点もあることから、単純に児童生徒数の確保だけでなく、少人数教育の良さをどのように生かすかについても考える必要がある。
- 児童生徒数の減少を踏まえ、将来の教育環境をどのように維持・充実していくかが重要な検討課題となっている。

5　適正な学校規模について

●問14　子どもたちの教育環境として、「通学距離が短いこと」と「一定規模の児童生徒数を確保すること」のどちらを重視しますか。(必須項目)

分析結果

子どもたちの教育環境について、通学距離と一定規模の児童生徒数のどちらを重視するかを尋ねたところ、「一定規模の児童生徒数を確保すること」が32.4%と最も多く、次いで「通学距離・児童生徒数、同程度に重視する」が24.7%、「どちらかといえば児童生徒数」が17.2%となっている。

一方、「どちらかといえば通学距離」が14.9%、「通学距離が短いこと」が10.8%となっている。

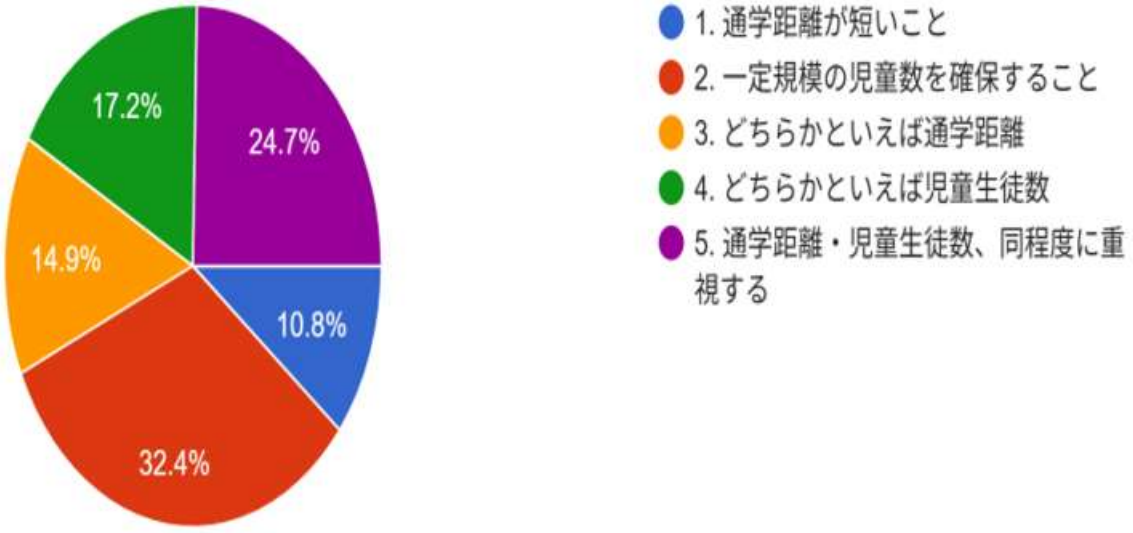
「一定規模の児童生徒数を確保すること」と「どちらかといえば児童生徒数」を合わせると49.6%となる一方、「通学距離が短いこと」と「どちらかといえば通学距離」を合わせると25.7%となっている。また、「通学距離・児童生徒数、同程度に重視する」が24.7%となっている。

全体として、通学距離よりも一定規模の児童生徒数を確保することを重視する回答が比較的多い一方、通学距離と児童生徒数を同程度に重視する回答も約4分の1を占めていることが分かる。

このことから、回答者の間では、学校の規模や児童生徒数を確保することを重視する考えが一定程度みられる一方、通学距離についても重要な要素として捉えられていることがうかがえる。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 通学距離が短いこと	32	10.8%
2. 一定規模の児童数を確保すること	96	32.4%
3. どちらかといえば通学距離	44	14.9%
4. どちらかといえば児童生徒数	51	17.2%
5. 通学距離・児童生徒数、同程度に重視する	73	24.7%
総計	296	100.0%



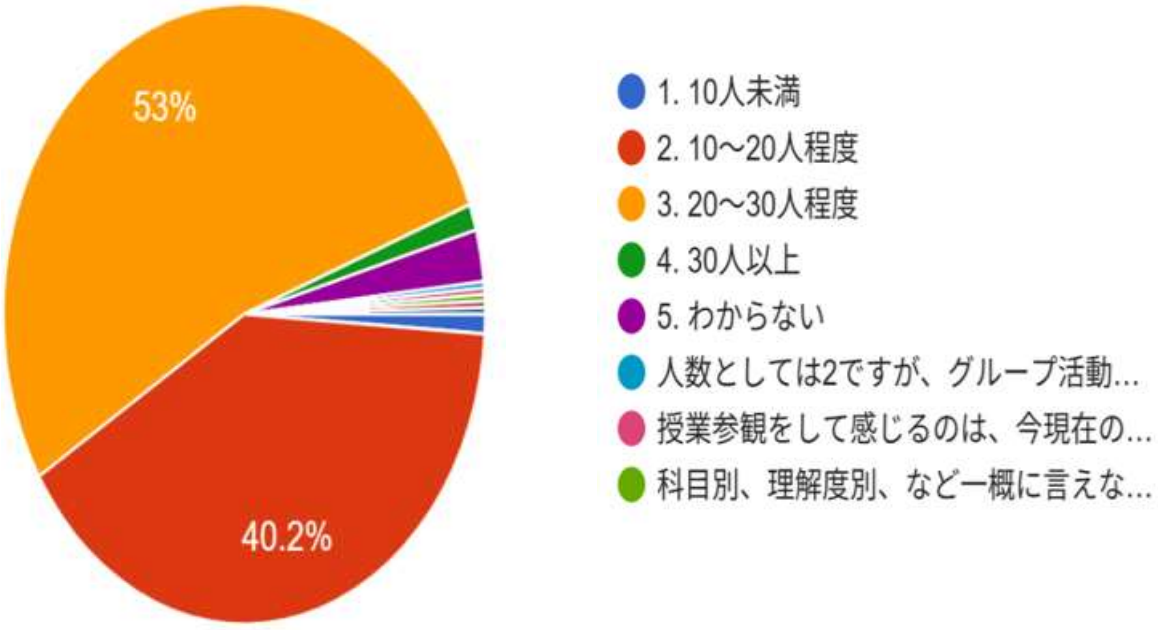
●問15　授業を受ける「1学級（クラス）」の人数は、どの程度が望ましいと思いますか。（必須項目）

分析結果

授業を受ける「1学級（クラス）」の人数については、「20～30人程度」が53.0%と最も多く、次いで「10～20人程度」が40.2%となっている。
この2つを合わせると93.2%となり、回答者の9割以上が、1学級の人数として「10～30人程度」を望ましいと考えている結果となっている。
一方、「10人未満」や「30人以上」、「わからない」とする回答は比較的少なくなっている。また、「人数としては2です」が「グループ活動…」など、人数だけでは一概に決められないことを示す意見も一部みられた。
全体として、「20～30人程度」を望ましいとする回答が最も多いものの、「10～20人程度」も4割を占めており、少人数から中規模程度の学級を望む回答が大部分を占めていることがうかがえる。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 10人未満	3	1.0%
2. 10～20人程度	119	40.2%
3. 20～30人程度	157	53.0%
4. 30人以上	4	1.4%
5. わからない	8	2.7%
●以下「その他」コメント		
人数としては2ですが、グループ活動などがあると男女比も関係すると思うので一概に言えない	1	0.3%
授業参観をして感じるのは、今現在の25人弱くらいがひとクラスにおさまる人数でちょうど良いのかなと感じます。設問の人数は10～20人と10人も幅があると教室の中の雰囲気は全く違うと思う。	1	0.3%
科目別、理解度別、など一概に言えない点もある	1	0.3%
1クラスの人数もそうですが、複数クラスになるということも大事だ。一つの学校にまとまったとしても、結果1クラスでは現状と変わらない。	1	0.3%
15～25人程度	1	0.3%
総計	296	100.0%



●問16　同じ学年全体（クラス数に関わらず）の児童生徒数は、どの程度必要だと思いますか。（必須項目）

分析結果

同じ学年全体の児童生徒数については、「20～40人程度」が47.0%と最も多く、次いで「40人以上」が24.7%、「10～20人程度」が20.6%となっている。

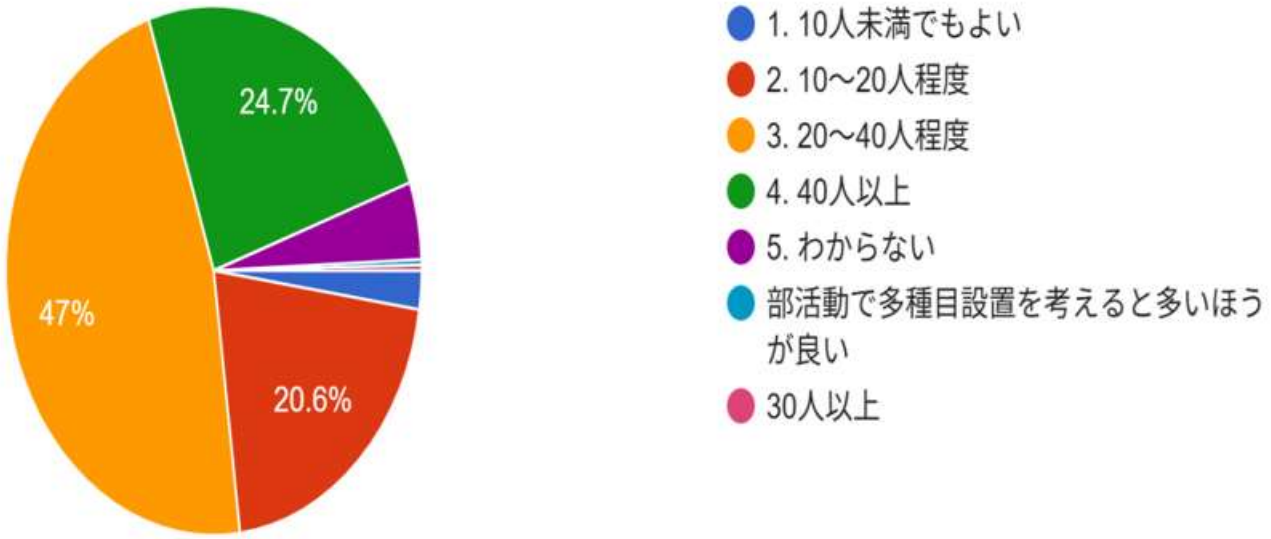
「20～40人程度」と「40人以上」を合わせると71.7%となり、回答者の7割以上が、同じ学年全体として20人以上の児童生徒数を必要と考えている結果となっている。

一方、「10人未満でもよい」とする回答や「わからない」とする回答も一定数みられる。また、「部活動で多種目設置を考えると多いほうが良い」「30人以上」など、具体的な活動内容や学校生活を踏まえた意見もみられる。

全体として、友達との交流や学校行事、部活動などを考えた場合、一定程度の児童生徒数を確保することを望む回答が多いことがうかがえる。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 10人未満でもよい	7	2.4%
2. 10～20人程度	61	20.6%
3. 20～40人程度	139	47.0%
4. 40人以上	73	24.7%
5. わからない	14	4.7%
●以下「その他」コメント		
部活動で多種目設置を考えると多いほうが良い	1	0.3%
30人以上	1	0.3%
総計	296	100.0%



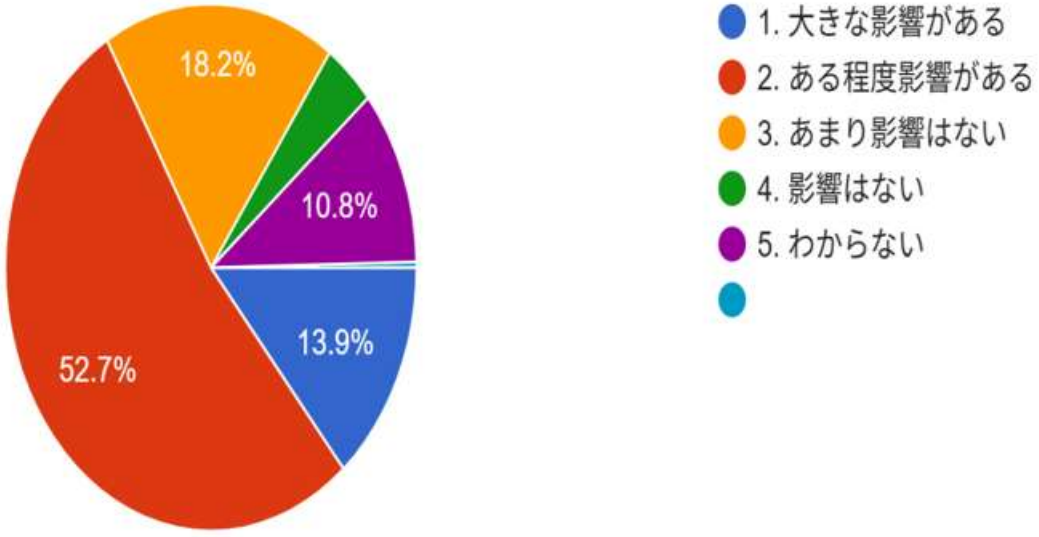
●問17　学校規模が小さくなった場合、教育環境への影響があると思いますか（必須項目）

分析結果

学校規模が小さくなった場合の教育環境への影響については、「ある程度影響がある」が52.7%と最も多く、次いで「あまり影響はない」が18.2%、「大きな影響がある」が13.9%、「わからない」が10.8%となっている。
「大きな影響がある」と「ある程度影響がある」を合わせると66.6%となり、回答者の約3分の2が、学校規模が小さくなることによって何らかの教育環境への影響があると考えている結果となっている。
一方、「あまり影響はない」「影響はない」とする回答も一定数みられ、学校規模の縮小による影響について、回答者によって認識が異なっていることがうかがえる。
問11では、「人間関係が固定化しやすい」「多様な意見に触れにくい」「クラス替えができない」などが現在の学校規模の課題として挙げられていることから、学校規模の縮小による影響として、児童生徒同士の関わりや多様な考え方に触れる機会、集団活動などへの影響を意識している回答者が一定数いるとうかがえる。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 大きな影響がある	41	13.9%
2. ある程度影響がある	156	52.7%
3. あまり影響はない	54	18.2%
4. 影響はない	12	4.1%
5. わからない	32	10.8%
●以下「その他」コメント		
その他（無記名）	1	0.3%
総計	296	100.0%



「５．適正な学校規模について」　の結果から読み取れる主な傾向
● 教育環境として、通学距離の短さと一定規模の児童生徒数の確保の双方を重視する意見がみられた。 ● 望ましい学級規模については、20～30人程度を望む意見が最も多く、10～20人程度を望む意見も多くみられた。 ● 一定程度の児童生徒数を確保することで、多様な考え方に触れる機会や友人関係、学校行事、部活動等の充実を期待する意見がある。 ● 一方で、少人数によるきめ細かな指導や一人ひとりへの対応の良さを評価する意見もみられた。 ● このことから、今後の学校規模については、一定の集団規模を確保することと、少人数教育の良さを生かすことの両面から検討することが求められている。

6　今後の学校づくりについて

●問18　児童生徒数減少が進んだ場合、どのような学校のあり方がよいと思いますか。（必須項目）

分析結果

児童生徒数の減少が進んだ場合の学校のあり方については、「小学校2校の統合を検討する」が28.0%と最も多く、次いで「小学校及び中学校が連携する、小中一貫教育など」が27.4%、「小学校及び中学校を統合して義務教育学校とする」が25.7%となっている。

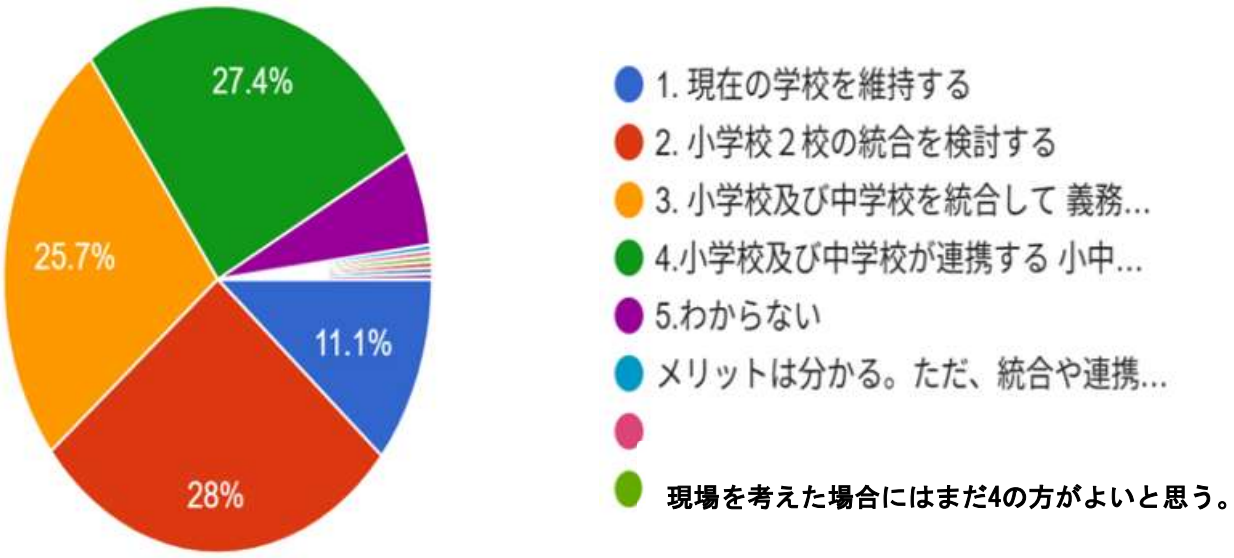
一方、「現在の学校を維持する」は11.1%、「わからない」も一定数見られる。

上位3項目については、いずれも25%前後から28%程度となっており、児童生徒数の減少が進んだ場合の学校のあり方について、特定の一つの選択肢に回答が集中するのではなく、複数の方向性に意見が分かれていることが特徴です。

また、「現在の学校を維持する」という回答も一定数あることから、学校規模の縮小への対応については、統合や連携などの選択肢だけでなく、現在の学校を維持することを求める意見も含め、さまざまな考え方があることがうかがえる。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 現在の学校を維持する	33	11.1%
2. 小学校2校の統合を検討する	83	28.0%
3. 小学校及び中学校を統合して 義務教育学校 にする	76	25.7%
4.小学校及び中学校が連携する 小中一貫教育校 にする	81	27.4%
5.わからない	17	5.7%
●以下「その他」コメント		
その他(無記名)	1	0.3%
メリットは分かる。ただ、統合や連携は児童数に応じてしていく方がいいと思うが、デメリットが分からないため、選択できない。)	1	0.3%
一学年の生徒数が既に少ないため、大前提としてそこを増やすことを考える必要がある。小学校は統合してもよいと考える。	1	0.3%
義務教育学校や小中一貫校の良さや課題が具体的に分からないので判断しかねますが、現在の学校を維持するのは難しいと思う。	1	0.3%
広域連携や小中学校連携など幅広く考える	1	0.3%
現場を考えた場合にはまだ4の方がよいと思う。	1	0.3%
総計	296	100.0%



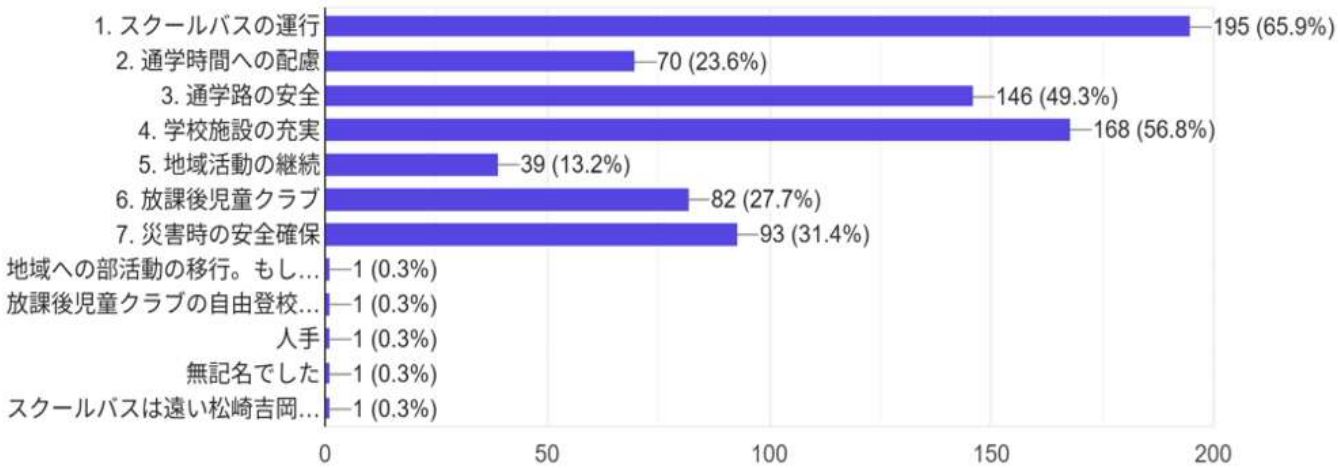
●問19　学校のあり方を検討するにあたり、重要だと思うことは何ですか。（複数選択可）（必須項目）

分析結果

学校のあり方を検討するにあたり重要だと思うことについては、「スクールバスの運行」が65.9%と最も多く、次いで「学校施設の充実」が56.8%、「通学路の安全」が49.3%となっている。
続いて、「災害時の安全確保」が31.4%、「放課後児童クラブ」が27.7%、「通学時間への配慮」が23.6%となっている。一方、「地域活動の継続」は13.2%となっている。
全体として、通学手段や学校施設、安全面に関する項目が多く選ばれており、学校のあり方を検討する際には、学校そのものの教育環境だけでなく、児童生徒が安全に通学・生活できる環境についても検討する必要性が示されている。
特に「スクールバスの運行」が65.9%と最も多いことから、学校のあり方を検討する際には、学校の位置や配置だけでなく、それに伴う通学手段や通学負担への対応を併せて検討することが重要であることがうかがえる。
なお、複数選択可の設問であるため、各項目の割合の合計は100%にはなりません。また、割合は296人の回答者のうち、それぞれの項目を選択した人の割合を示している。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. スクールバスの運行	195	65.9%
2. 通学時間への配慮	70	23.6%
3. 通学路の安全	146	49.3%
4. 学校施設の充実	168	56.8%
5. 地域活動の継続	39	13.2%
6. 放課後児童クラブ	82	27.7%
7. 災害時の安全確保	93	31.4%
●以下「その他」コメント		
地域への部活動の移行。もしくは部活動数の削減。学校で部活動を行うのであれば、実施場所の環境を整える。生徒の要望に沿った施設整備。	1	0.3%
放課後児童クラブの自由登校を望む。	1	0.3%
人手	1	0.3%
無記名	1	0.3%
スクールバスは遠い松崎吉岡等だけでいい	1	0.3%



●問20　今後の学校づくりにおいて、「期待すること」は何ですか（複数選択可）（必須項目）

分析結果

今後の学校づくりにおいて期待することについては、「子ども同士が交流する機会」が63.5%と最も多く、次いで「教育活動の充実」が61.5%となっている。

続いて、「教員配置の充実」が35.8%、「少人数できめ細やかな指導」が34.8%、「行事の活性化」が26.0%となっている。また、「特に期待しない」は3.4%となっている。

全体として、「子ども同士が交流する機会」と「教育活動の充実」が6割を超えており、今後の学校づくりにおいて、子ども同士の関わりを確保するとともに、教育活動そのものを充実させることを期待する回答が多い結果となっている。

また、「教員配置の充実」「少人数できめ細やかな指導」も3割を超えており、集団での学びや交流の機会だけでなく、一人ひとりに応じた指導を充実させることについても期待が寄せられていることがうかがえる。

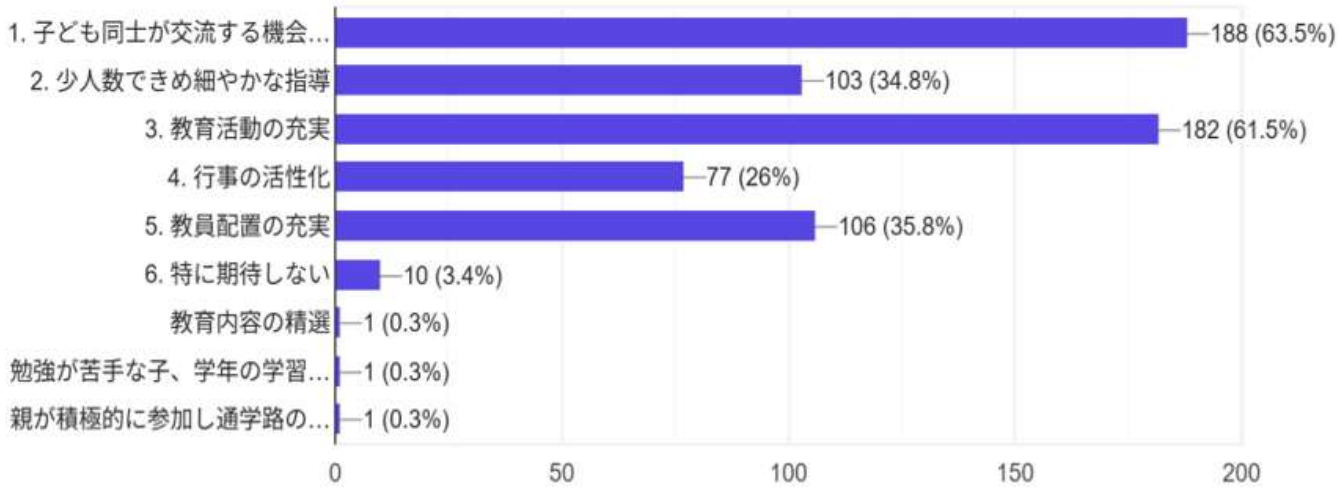
この結果は、問6の「思考力・判断力・表現力」「コミュニケーション能力」「協調性・社会性」や、問8の「様々な考え方に触れること」「協力し合う機会」「多くの友達と関わること」といった回答とも関連しており、今後の学校づくりにおいて、児童生徒同士の交流と教育活動の充実を両立することを重視する意見がみられる結果となっている。

なお、本設問は複数選択可であるため、各項目の割合の合計は100%とはならない。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 子ども同士が交流する機会が増える	188	63.5%
2. 少人数できめ細やかな指導	103	34.8%
3. 教育活動の充実	182	61.5%
4. 行事の活性化	77	26.0%
5. 教員配置の充実	106	35.8%
6. 特に期待しない	10	3.4%
●以下「その他」コメント		
教育内容の精選	1	0.3%
勉強が苦手な子、学年の学習についていけなくなってしまった子へのきめ細やかな指導。	1	0.3%
親が積極的に参加し通学路の旗持ちはやるべき	1	0.3%

※割合⇒回答数/296　にて算出



●問21　今後の学校づくりにおいて、「心配なこと」は何ですか（複数選択可）（必須項目）

分析結果

今後の学校づくりにおいて心配なことについては、「児童生徒数の減少」が62.5%と最も多く、次いで「人間関係」が54.4%、「学習環境」が34.8%、「通学距離」が31.4%となっている。

また、「通学時間」が16.2%、「地域とのつながりが薄れること」及び「災害時対応」が15.5%となっている。また、「特にない」は3.0%となっている。

全体として、「児童生徒数の減少」と「人間関係」が5割を超えており、今後の学校づくりにおいて、児童生徒数の減少そのものに加え、それに伴う子ども同士の人間関係や交流への影響を心配する回答が多い結果となっている。

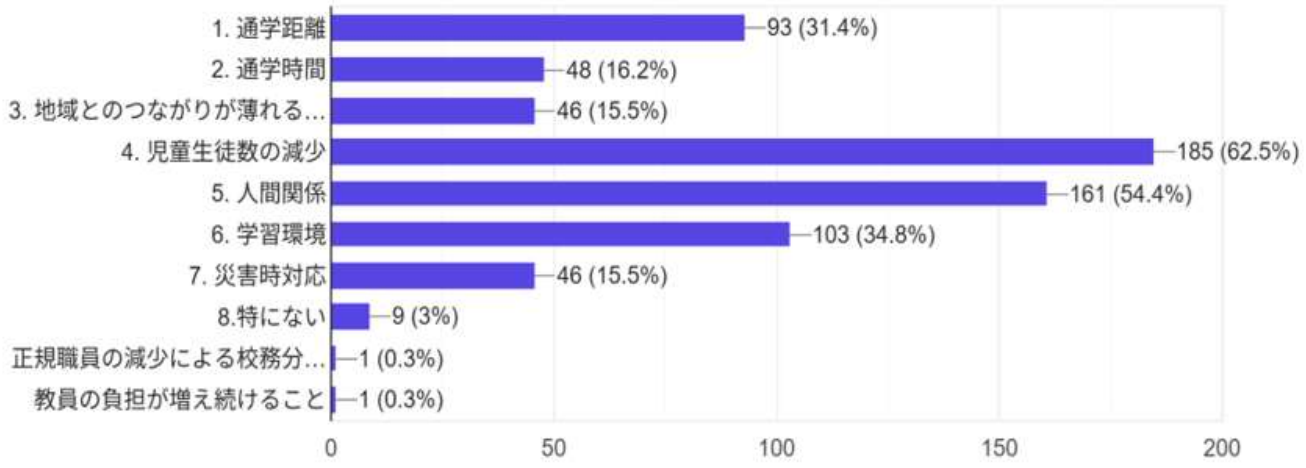
また、「学習環境」についても34.8%、「通学距離」についても31.4%となっており、学校の教育環境だけでなく、学校の配置や通学条件についても一定の心配が示されていることがうかがえる。

問20では「子ども同士が交流する機会」への期待が63.5%と最も多く、問21では「人間関係」が54.4%となっていることから、児童生徒同士の交流機会を確保することと、人間関係や学習環境への影響を考慮することの双方が重視されていることがうかがえる。

なお、本設問は複数選択可であるため、各項目の割合の合計は100%とはならない。また、「その他」では「正規職員の減少による校務分担」「教員の負担が増え続けること」などの意見もみられた。

※296件の回答

選択肢	回答数	割合
1.通学距離	93	31.4%
2.通学時間	48	16.2%
3.地域とのつながりが薄れること。	46	15.5%
4.児童生徒数の減少	185	62.5%
5.人間関係	161	54.4%
6.学習環境	103	34.8%
7.災害時対応	46	15.5%
8.特にない	9	3.0%
●以下「その他」コメント		
正規職員の減少による校務分掌の増加と授業づくり・学力向上に向けた時間の確保の困難さ。（家庭でやれなかった仕事をするのは、表面的な勤務時間の削減であり本質的な解決ではない。）	1	0.3%
教員の負担が増え続けること	1	0.3%



「５．今後の学校づくりについて」　の結果から読み取れる主な傾向

- 児童生徒数の減少が進んだ場合の学校のあり方については、学校の統合・連携、現在の学校を維持することなど、様々な考え方がみられた。
- 学校のあり方を検討する際には、児童生徒数や学校規模だけでなく、教育内容、通学、安全、施設・設備、地域とのつながり、教職員体制等を重視する意見がみられた。
- 今後の学校づくりに期待することとして、多くの友達と学ぶ機会、安心・安全な学校生活、きめ細かな指導、集団活動や行事などの充実が挙げられた。
- 一方、学校の統合等を進める場合には、通学距離や安全、地域とのつながり、施設整備、人間関係などへの配慮を求める意見もみられた。
- これらから、今後の学校づくりについては、学校数や配置だけでなく、子どもたちにとってどのような教育環境が望ましいかという視点から、総合的に検討していくことが必要であることがうかがえる。

7 自由記述

●問22　将来の学校づくりについてご意見をお聞かせください（任意・自由記述）

【自由記述の取扱いについて】

自由記述については、回答者の個人情報、特定の個人・団体等を識別できる記述、特定の個人等に対する誹謗・中傷・個人的な評価に当たる記述等については、趣旨を損なわない範囲で掲載を省略又は要約している。

※回答数:60件

分類	主な内容
学校の規模・配置・連携	小学校統合、小中一貫、義務教育学校、現状維持、学校配置等
学級規模・編制	1学級の人数、複数学級、少人数指導等
教育内容・学習環境	個別指導、特色ある教育、体験、ICT、社会・政治教育等
通学・安全	スクールバス、通学距離、交通安全、気候への対応等
施設・財政・維持管理	老朽化、修繕、新設、維持管理費、施設活用、財源等
地域・郷土とのつながり	地域交流、地域文化、郷土愛、地域人材等
人口・子育て・定住	少子化、子育て支援、転入、定住、人口増加等
教職員体制	教員配置、教職員不足、負担軽減、支援体制等
特別支援・多様な学び	特別支援学級、個別支援、多様な子どもへの対応等
部活動・行事・体験	部活動、行事、修学旅行、体験活動等
安心・居場所	いじめ防止、心理的な安心、居場所、学校生活の楽しさ等

●以下自由記述内容一覧

番号	分類	意見内容
1	学級規模・学級編制	学級規模について、1クラス20人程度が適切ではないかとの意見。
2	学校の規模・配置・連携／人口・子育て・定住／部活動・行事・体験	小学校2校を維持しながら、運動会などの大きな行事を合同で開催するなど、学校間の交流を図ってはどうかとの意見。また、出産祝金等の子育て支援を充実させ、子育て世代の転入・定住を促進してはどうかとの意見。
3	学校の規模・配置・連携／通学・安全／人口・子育て・定住／施設・財政・維持管理	小学校を1校に統合し、新しい学校を整備するとともに、スクールバスを運行することが望ましいとの意見。統合する場合には、学校行事等に対応した駐車場の確保も必要との意見。また、子育て支援のPRを強化し、子育て世代の転入促進を図ることや、通学時の安全・気候への対応としてスクールバスを検討してほしいとの意見。
4	安心・居場所	いじめや犯罪のない、安心して学校生活を送ることができる学校づくりを求める意見。
5	学校の規模・配置・連携	児童・保護者の負担に配慮しながら、早期に小学校の統合を進めてほしいとの意見。
6	教育内容・学習環境／特別支援・多様な学び／安心・居場所	児童生徒一人ひとりに居場所があり、安心して学習できる環境を求める意見。学習面での個別的な支援や、気持ちを落ち着かせることのできる場所など、多様な子どもの状況に対応できる環境を整えてほしいとの意見。
7	人口・子育て・定住	児童生徒数の減少が進んでいることから、早期に対応策を検討する必要があるとの意見。
8	部活動・行事・体験	スポーツフェスティバルへの児童参加のあり方や、開催時期・曜日について検討を求める意見。
9	学校の規模・配置・連携／施設・財政・維持管理／人口・子育て・定住	学校施設の老朽化を踏まえ、義務教育学校等として教育環境を1か所に集約し、質の高い教育環境を整備してほしいとの意見。また、学校教育の充実を子育て世代の定住促進につなげることや、学校施設の立地を慎重に検討する必要があるとの意見。
10	教育内容・学習環境／部活動・行事・体験	学校における教育活動や体験機会をさらに充実させ、体験機会の差が生じないようにしてほしいとの意見。また、修学旅行等の行き先について見直しを求める意見。
11	学校の規模・配置・連携／地域・郷土とのつながり／施設・財政・維持管理	教育施設を村の中心部に集約することや、幼稚園から中学校まで継続して学ぶことについて検討してはどうかとの意見。また、統合等により使用しなくなった学校施設について、宿泊施設や飲食施設等への活用など、財源確保につながる利活用を検討してはどうかとの意見。先行事例を参考にするとともに、将来的な財政負担にも配慮する必要があるとの意見。
12	教育内容・学習環境／学校の規模・配置・連携	少人数によるきめ細かな指導の良さを認めつつ、多様な考え方に触れる機会も重要であり、小中一貫教育について検討してはどうかとの意見。豊かな人間性を育む教育を求める意見。
13	学校の規模・配置・連携／施設・財政・維持管理	学校施設の修繕費等を踏まえ、小中学校を集約することで維持管理費を抑え、教育環境の充実や児童生徒数の確保につなげてはどうかとの意見。一方で、用地確保や初期費用等の課題についても考慮する必要があるとの意見。
14	安心・居場所	子どもたちが「学校は楽しい」と感じながら通学できる環境を整えてほしいとの意見。

15	通学・安全／部活動・行事・体験	通学の利便性を高めるとともに、村内でスポーツ活動ができる施設・環境を充実させてほしいとの意見。
16	地域・郷土とのつながり／教育内容・学習環境	学校の歴史や地域性を大切にしながら、現在の子どもたちに適した教育環境を整備してほしいとの意見。また、村外の社会や環境について知る機会や情報発信を充実させてほしいとの意見。
17	学校の規模・配置・連携	学校を統合し、村内の児童生徒が一緒に学ぶ教育環境を整備してはどうかとの意見。
18	教育内容・学習環境／施設・財政・維持管理	子どもたちにとって魅力的で特色のある教育環境を整備し、学校の魅力向上につなげてほしいとの意見。既存の施設や空間を活用した体験型の環境整備などを検討してはどうかとの意見。
19	学校の規模・配置・連携／施設・財政・維持管理	滑津小学校と吉子川小学校を統合し、ドリーム公園付近への学校整備を検討してはどうかとの意見。
20	教育内容・学習環境／人口・子育て・定住／地域・郷土とのつながり	児童生徒数の減少は地域共通の課題である一方、小規模な村だからこそ、一人ひとりに行き届いた支援を行うことができるとの意見。自信を持って社会を生き抜く力を育てる教育を求める意見。
21	学校の規模・配置・連携／地域・郷土とのつながり	現在の児童数を踏まえると、小学校2校を1校に統合することも検討すべきとの意見。一方で、統合により地域とのつながりや地域性が薄れる可能性にも配慮する必要があるとの意見。
22	学校の規模・配置・連携／人口・子育て・定住／施設・財政・維持管理	今後の人口減少や施設の老朽化を踏まえ、小中学校の統合や複合施設としての整備を検討してはどうかとの意見。統合等によって生じる財源を教育環境の充実や地域を支える人材育成に活用してほしいとの意見。
23	通学・安全／施設・財政・維持管理／安心・居場所	通学時の安全確保や、暑さ・寒さ、降雪、歩道の状況、通学時の荷物等を踏まえ、スクールバスの導入を検討してほしいとの意見。また、放課後の児童の居場所の充実、学校施設の老朽化・安全性への対応、村独自の特色ある教育の充実を求める意見。
24	学校の規模・配置・連携／教育内容・学習環境	児童生徒数の減少を踏まえ、小中学校を1か所に集約し、多くの人と関わりながら学べる環境を整えてほしいとの意見。
25	学校の規模・配置・連携／教育内容・学習環境	児童生徒数の減少を踏まえ、多様な人間関係を築く機会を確保するため、義務教育学校について検討してはどうかとの意見。
26	教育内容・学習環境	時代に合わせた教育環境を整備するとともに、学校行事等を通して互いの考えを尊重する力を育てる教育を進めてほしいとの意見。
27	部活動・行事・体験	修学旅行について、国内での学習・体験とのバランスや、安全面、費用面等を踏まえ、行き先を見直してはどうかとの意見。
28	教職員	十分な教職員の配置と、教職員の業務負担の適正化を求める意見。
29	人口・子育て・定住／施設・財政・維持管理	学校のあり方を検討するとともに、子育て世代の転入・定住を促進する施策を早急に進める必要があるとの意見。土地の活用や住宅地の整備、子育て支援のPR、関係部署の連携など、人口増加に向けた取組を求める意見。
30	学校の規模・配置・連携／地域・郷土とのつながり	小学校2校の統合については肯定的である一方、母校がなくなることへの心情的な懸念もあるとの意見。
31	学校の規模・配置・連携／教育内容・学習環境	小中学校の連携・統合を進めることが必要との意見。義務教育学校や小中一貫教育校については手法の一つとして捉え、幼稚園・保育所を含めた教育環境全体のあり方を検討してはどうかとの意見。
32	学校の規模・配置・連携	小学校の数は現在のまま維持してほしいとの意見。
33	地域・郷土とのつながり／学校の規模・配置・連携	小学校が地域文化の象徴となっている面もあるため、学校統合による地域の活性化や地域とのつながりへの影響について慎重に検討してほしいとの意見。
34	学校の規模・配置・連携／教育内容・学習環境	小学校を統合し、多くの友だちと交流できる環境を整えてほしいとの意見。
35	学校の規模・配置・連携	小学校と中学校の統合を検討してほしいとの意見。
36	学校の規模・配置・連携／教育内容・学習環境	小中一貫教育について検討するとともに、中学校の制服についても見直してほしいとの意見。
37	教職員体制	教職員が安心して教育活動に取り組むことができる環境を整え、教職員の負担や心理的な負担の軽減、教育への意欲を維持できる環境づくりを求める意見。
38	学校の規模・配置・連携／人口・子育て・定住／施設・財政・維持管理	少子化や学校施設の維持管理費等を踏まえ、小学校を1校に統合し、効率化によって生じる財源を少子化対策や高齢化対策等に活用してほしいとの意見。
39	学校の規模・配置・連携／通学・安全／教職員体制／／施設・財政・維持管理	少子化や財政制約を踏まえ、教育資源を集約し、施設の維持・更新費用の縮減分を教員配置、学習環境、放課後児童クラブ等の充実に活用してほしいとの意見。また、義務教育学校への移行、通学時の安全対策、スクールバス、災害時の避難体制等を併せて検討することを求める意見。

40	教育内容・学習環境／安心・居場所	多様な選択肢があり、子ども一人ひとりの個性を伸ばすことのできる学校づくりを求める意見。
41	教育内容・学習環境	政治や社会の仕組みを身近に感じることができる教育を求める意見。
42	教職員体制	児童生徒や保護者への支援に加え、教職員が精神的・身体的な負担を感じることなく働くことのできる環境づくりを求める意見。
43	教職員体制	児童生徒や保護者への支援とともに、教職員の精神的・身体的な負担を軽減し、安心して勤務できる環境づくりを求める意見。
44	学校の規模・配置・連携	小学校の統合を早期に進めてほしいとの意見。
45	学校の規模・配置・連携／教職員体制	村外からの通学者も含め、通学区域にとらわれない学校選択について検討してはどうかとの意見。また、教職員不足等を踏まえ、小学校2校の配置について見直しを検討してはどうかとの意見。
46	地域・郷土とのつながり	地域との連携は村の将来に関わる重要な課題であり、地域の大人との交流を通して子どもたちの郷土への愛着を育む機会を大切にしてほしいとの意見。
47	地域・郷土とのつながり／教育内容・学習環境／特別支援・多様な学び	地域を支える人材の育成や、社会生活に必要な力を身につける教育を求める意見。また、障害のある子どもを含め、多様な子どもが共に学ぶことのできる教育環境について、地域と連携しながら検討してほしいとの意見。
48	特別支援・多様な学び	中学校における特別支援学級の設置を求める意見。
49	学校の規模・配置・連携／部活動・行事・体験	中学校の制服について、機能性や時代に合わせた見直しを求める意見。また、児童生徒数の減少により部活動の選択肢等が限られていることから、小中学校の連携・統合や、より幅広い活動機会の確保を検討してはどうかとの意見。
50	学校の規模・配置・連携／教職員体制／部活動・行事・体験／学級規模・学級編制	中学校進学後に新たな人間関係を築く機会を重視し、義務教育学校の設置については慎重に検討してほしいとの意見。小学校統合についても、人間関係の固定化等の影響を踏まえ、慎重に検討する必要があるとの意見。また、部活動等を通した人間関係形成や体験の機会を重視し、教員・支援員を確保して少人数での複数学級編制を可能とするなど、きめ細かな指導と人間関係の固定化への対応を求める意見。
51	地域・郷土とのつながり／人口・子育て・定住	学校や地域の将来を考え、村全体で子どもたちのために協力していくことが大切との意見。
52	通学・安全／学校の規模・配置・連携	学校を村の中心部に配置し、現在の幼稚園の通園ルート等も考慮したスクールバスを運行してほしいとの意見。
53	教育内容・学習環境／地域・郷土とのつながり	進学等による環境の変化を見据え、幅広い人との関わりを経験できる教育環境を整えるとともに、中島村出身であることを誇りに思える教育や、地域への愛着を育む取組を進めてほしいとの意見。
54	学校の規模・配置・連携	学校統合は避けてほしいとの意見。
57	教育内容・学習環境	変化の激しい社会に対応できる、自立・自律の力を育む教育を求める意見。
58	学校の規模・配置・連携／学級規模・学級編制／教職員体制／部活動・行事・体験	徒歩による通学の良さを評価し、現状維持を基本としながら、学級規模が一定程度小さくなった場合には学校のあり方を検討してはどうかとの意見。また、教職員の構成について多様な人材配置を求める意見や、児童生徒のニーズを踏まえた部活動の充実を求める意見。
59	学校の規模・配置・連携／教育内容・学習環境	幼稚園から中学校までを見通した、継続的・総合的な教育を求める意見。
60	特別支援・多様な学び／部活動・行事・体験	中学校における特別支援学級の設置や、進学・転校時における児童生徒・保護者への継続的な支援を求める意見。また、修学旅行について、安全面や費用面等を踏まえ、国内での実施も含めて行き先を検討してほしいとの意見。

【一般向け　アンケート分析】

自由記述では、児童生徒数の減少を踏まえた学校規模・配置の見直しに関する意見が多く、小学校の統合や小中学校の統合、義務教育学校等を検討してほしいとする意見が複数見られた。
一方で、地域における小学校の役割や母校への思い、人間関係の固定化への懸念などから、現状の学校を維持してほしい、統合については慎重に検討してほしいとする意見も見られた。
また、統合の是非に関する意見だけでなく、教育内容の充実、教職員の確保・負担軽減、特別支援教育の充実、通学時の安全確保、スクールバスの導入、学校施設の老朽化への対応、地域との連携、部活動・スポーツ環境の充実など、将来の学校に求める具体的な意見も多く寄せられた。
さらに、少子化への対応として、学校のあり方だけでなく、子育て世代の定住・転入促進や子育て支援の充実など、村全体の人口減少対策と学校づくりを一体的に考える必要があるとの意見も見られた。
これらの意見から、今後の学校のあり方を検討する際には、単に学校数や学級規模を検討するだけでなく、「どのような教育環境を子どもたちに提供するのか」「通学や安全面をどのように確保するのか」「地域とのつな

がりをどのように維持・発展させるのか」「教職員や特別支援教育をどのように充実させるのか」といった観点を併せて検討する必要性が示されている。

「７．（一般向け）自由記述」の結果から読み取れる主な傾向

- 自由記述では、学校の規模・配置・連携に関する意見をはじめ、教育内容、通学・安全、施設・設備、教職員体制、特別支援、地域とのつながり、子育て・定住など、幅広い意見が寄せられた。
- 学校の統合・連携等については、小学校の統合や小中一貫教育、義務教育学校等を検討してほしいとの意見がある一方、現在の学校数を維持してほしい、統合は慎重に検討してほしいとの意見もみられた。
- また、統合等を検討する場合でも、通学の安全、地域とのつながり、施設整備、教育内容、学校規模等への配慮を求める意見がみられた。
- 学校の規模・配置以外にも、一人ひとりに寄り添った教育、安心して過ごせる居場所、特色ある教育、特別支援、教職員体制、地域との交流など、教育環境全体の充実を求める意見がみられた。
- 自由記述全体からは、「学校をどうするか」だけでなく、「子どもたちにどのような教育環境を提供するか」を重視する意見が幅広く寄せられていることがうかがえる。

児童生徒アンケート結果

-3- アンケート調査概要(児童生徒向け)

(1)調査目的

本村では、少子化の進行に伴う児童生徒数の減少を踏まえ、将来にわたり子どもたちがより良い教育環境の中で学ぶことができるよう、学校規模や学校配置のあり方について検討を進めてる。

本調査は、学校統合の賛否を問うことを目的とするものではなく、将来にわたり中島村の子どもたちにとって望ましい学校や教育環境について検討するため、児童生徒自身が現在の学校生活で大切にしていることや、学校に期待すること、将来どのような学校で学びたいと思っているかなどを把握し、今後の学校づくりを検討する際の基礎資料とすることを目的として実施した。
なお、児童生徒の発達段階に応じて質問内容や説明方法を工夫し、「小学生1・2年生」「小学生3～6年生」「中学生」の3区分で実施した。

児童生徒アンケートの結果については、一般向けアンケートや保護者・地域住民からいただいた意見と併せて総合的に分析し、教育環境等整備検討委員会における今後の検討及び提言の参考資料として活用するものである。

(2)実施方法

① 調査対象

村内小・中学校に在籍する児童生徒を対象とし、発達段階に応じて、次の3区分に分けて実施。

1)小学生1・2年生

学校生活の楽しさや、好きなこと、友達との関わり、学校でもっとあったらよいことなど、現在の学校生活や学校への思いを把握する内容とした。

2)小学生3～6年生

学校生活で大切に思うこと、学校にあったらよいこと、望ましい学校の姿、学校行事や友達との関わりなどについて意見を把握する内容とした。

3)中学生

現在の学校生活に加え、学習環境、人間関係、学校行事、部活動、現在の学校規模や学級規模について感じていること、児童生徒数の減少、通学環境、将来の学校や教育環境について幅広く意見を把握する内容とした。

② 調査方法

1) 質問内容

質問内容については、児童生徒がそれぞれの発達段階に応じて理解し、率直な考えや思いを回答できるよう、学年区分ごとに質問内容や表現を設定し、特に、小学生1・2年生については、学校のあり方や教育環境について具体的に考えることが難しいことを踏まえ、学校の統合や配置等を直接問うのではなく、現在の学校生活や学校への思いを把握する質問とした。
また、中学生については、現在の学　校生活だけでなく、これまでの小学校生活を振り返りながら、これからの学校や教育環境について考えることができるよう、学校規模や児童生徒数の減少等についても質問した。

2) 回答方法

- WEBによる回答:各小・中学校において、児童生徒本人がタブレットを利用して回答
- アンケート用紙による回答:配布したアンケート用紙に記入して回答

③ 調査期間　令和8年9月15日～令和8年9月30日　各学校において実施

(3)回収結果

回答数は、小学生1・2年生69件、小学生3～6年生167件、中学生117件の合計353件

区分	回答数
小学生1・2年生	69件
小学生3～6年生	167件
中学生	117件
合計	353件

-4- 小学生1・2年生 アンケート集計分析結果

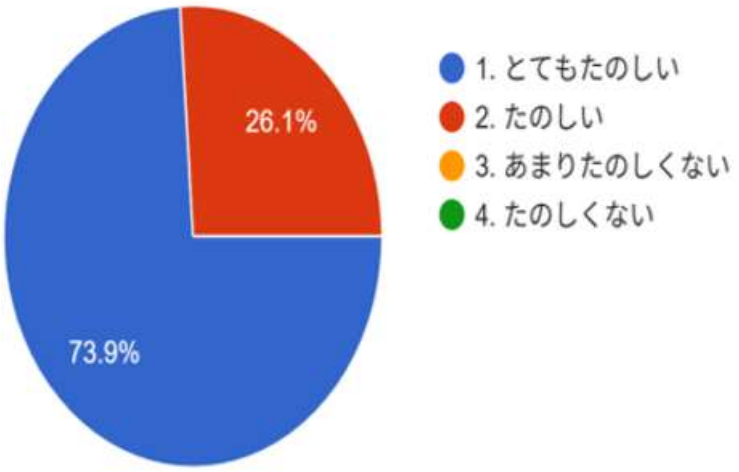
●問1 学校はたのしいですか。

分析結果

「とてもたのしい」が73.9%と最も多く、次いで「たのしい」が26.1%となっている。
「とてもたのしい」と「たのしい」を合わせると100%となっており、回答した児童全員が、学校を「たのしい」または「とてもたのしい」と感じている。
低学年児童において、現在の学校生活を肯定的に捉えていることがうかがえる結果となっている。

※69件の回答

選択肢	回答数	割合
1. とてもたのしい	51	73.9%
2. たのしい	18	26.1%
3. あまりたのしくない	0	0%
4. たのしくない	0	0%
総計	69	100.0%



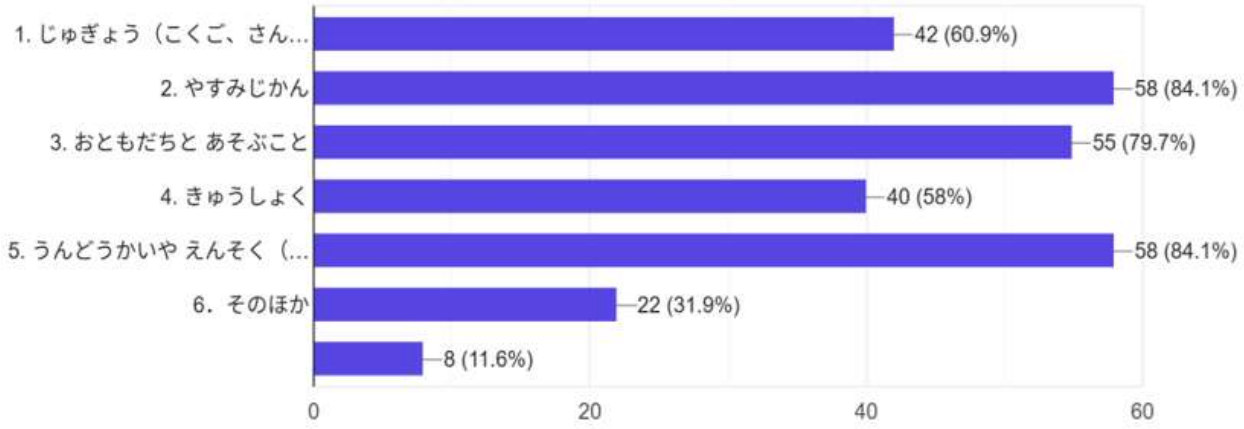
●問2 学校で「すき」なことは何ですか。(いくつでもえらんでください。)(複数選択可)

分析結果

「やすみじかん」が84.1%、「うんどうかいやえんそく」が84.1%と最も高く、次いで「おともだちとあそぶこと」が79.7%、「じゅぎょう」が60.9%、「きゅうしょく」が58.0%となっている。
授業だけでなく、友達との交流、休み時間、学校行事や体験活動など、学校生活の中で人と関わったり体験したりする活動が好まれていることがうかがえる。

※69件の回答

選択肢	回答数	割合
1. じゅぎょう(こくご、さんすう、せいかつ、どうとく などのじゅぎょう)	42	60.9%
2. やすみじかん	58	84.1%
3. おともだちと あそぶこと	55	79.7%
4. きゅうしょく	40	58.0%
5. うんどうかいや えんそく(がくしゅうりょこう)などの ぎょうじ	58	84.1%
6. そのほか	22	31.9%
そのほか(無記名)	8	11.6%



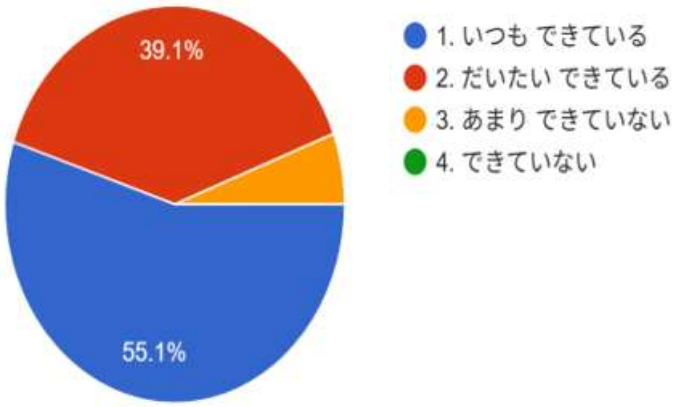
●問3　学校で、お友だちとなかよくできていますか。

分析結果

「いつもできている」が55.1%、「だいたいできている」が39.1%となっている。
両方を合わせると94.2%となっており、大多数の児童が、学校で友達と仲良く過ごすことができていると回答している。
一方、「あまりできていない」とする回答も5.8%程度見られることから、児童同士の人間関係については、引き続き一人ひとりの状況に応じた見守りや支援が重要と考えられる。

※69件の回答

選択肢	回答数	割合
1. いつも できている	38	55.1%
2. だいたい できている	27	39.1%
3. あまり できていない	4	5.8%
4.できていない	0	0%
総計	69	100.0%



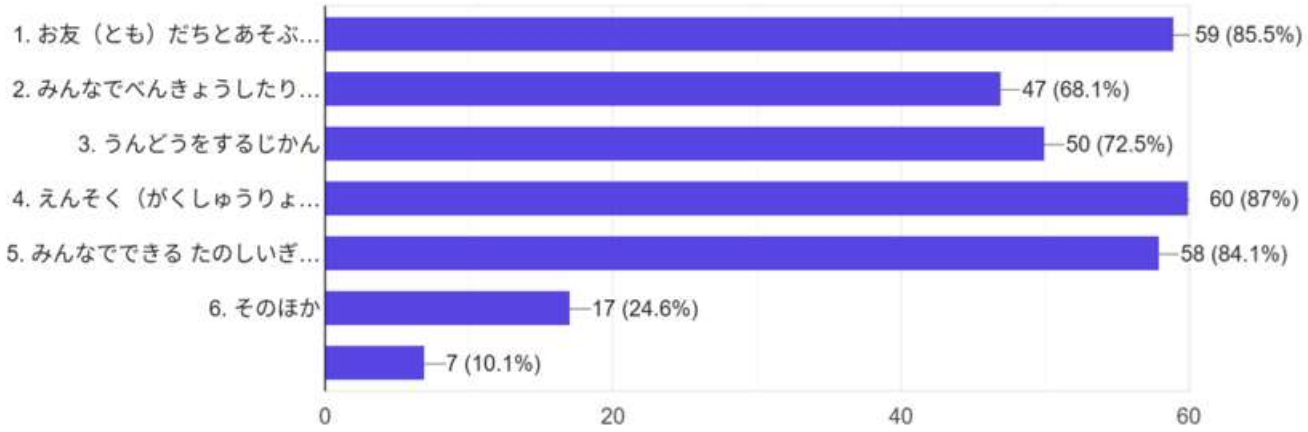
●問4　学校で「もっとあったらいいな」と思うことは何ですか。

分析結果

「えんそく(がくしゅうりょこう)」が87.0%と最も高く、次いで「お友だちとあそぶこと」が85.5%、「みんなでできるたのしいぎょうじ」が84.1%、「うんどうをするじかん」が72.5%、「みんなでべんきょうしたりすること」が68.1%となっている。
低学年児童は、友達と一緒に活動することや、学校行事、体験活動、運動など、集団で楽しく取り組む機会をさらに求めていることがうかがえる。

※69件の回答

選択肢	回答数	割合
1.　お友だちとあそぶじかん	59	85.5%
2.　みんなでべんきょうしたり、お話したりするじかん	47	68.1%
3.　うんどうをするじかん	50	72.5%
4.　えんそく(がくしゅうりょこう)や、いろいろなたいけん	60	87.0%
5.　みんなでできる　たのしいぎょうじ	58	84.1%
6.　そのほか	17	24.6%
そのほか(無記名)	7	10.1%



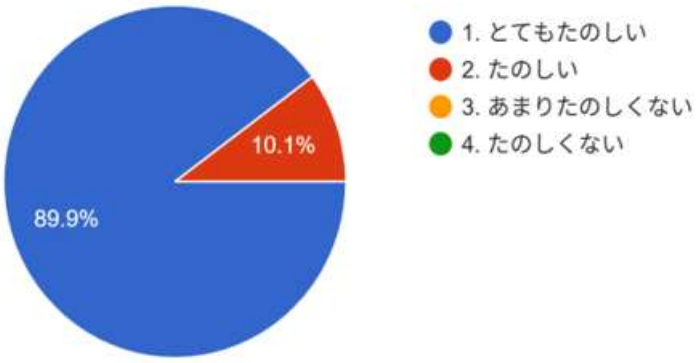
●問5　運動会や遠足、学習発表会は楽しいですか。

分析結果

「とてもたのしい」が89.9%、「たのしい」が10.1%となっている。
「とてもたのしい」と「たのしい」を合わせると100%となっており、運動会、遠足、学習発表会などの学校行事について、回答した児童全員が肯定的に捉えている。
低学年児童にとって、学校行事や体験活動が学校生活の楽しさを支える重要な要素となっていることがうかがえる。

※69件の回答

選択肢	回答数	割合
1. とてもたのしい	62	89.9%
2. たのしい	7	10.1%
3. あまりたのしくない	0	0.0%
4. たのしくない	0	0.0%
総計	69	100.0%



●問6　学校のことで、「こうなったらいいな」とおもうことや、やってみたいことをじゆうにかいてください。

【自由記述の取扱いについて】

自由記述については、回答者の個人情報、特定の個人・団体等を識別できる記述、特定の個人等に対する誹謗・中傷・個人的な評価に当たる記述等については、趣旨を損なわない範囲で掲載を省略又は要約している。

分類	主な内容
学校の規模・配置・連携	小学校統合、小中一貫、義務教育学校、現状維持、学校配置等
学級規模・編制	1学級の人数、複数学級、少人数指導等
教育内容・学習環境	個別指導、特色ある教育、体験、ICT、社会・政治教育等
通学・安全	スクールバス、通学距離、交通安全、気候への対応等
施設・財政・維持管理	老朽化、修繕、新設、維持管理費、施設活用、財源等
地域・郷土とのつながり	地域交流、地域文化、郷土愛、地域人材等
人口・子育て・定住	少子化、子育て支援、転入、定住、人口増加等
教職員体制	教員配置、教職員不足、負担軽減、支援体制等
特別支援・多様な学び	特別支援学級、個別支援、多様な子どもへの対応等
部活動・行事・体験	部活動、行事、修学旅行、体験活動等
安心・居場所	いじめ防止、心理的な安心、居場所、学校生活の楽しさ等

※回答数:41件　(一般向けアンケートの分離と整合性)

●以下自由記述内容一覧

番号	分類	意見内容
1	施設・財政・維持管理	サッカーの練習をする場所がもっと広いといい。
2	部活動・行事・体験	スポーツをする時間がもっとほしい。
3	教育内容・学習環境	もっとダンスの勉強ができたらいい。
4	安心・居場所	クラスで楽しいことをしたい。
5	部活動・行事・体験	スポーツをたくさんやりたい。
6	教育内容・学習環境	給食を残さず食べられるように、好きな献立がもっとあるといい。
7	安心・居場所	友達と楽しい時間を過ごしたい。
8	部活動・行事・体験	体育でボール遊びをしたい。
9	部活動・行事・体験	学校でサッカーをしたい。

10	安心・居場所	友達と遊んだり、楽しいことをたくさんしたい。
11	教育内容・学習環境	国語や、みんなで一緒に取り組む道徳の学習を、力を合わせてやりたい。
12	教育内容・学習環境	字を上手に書けるようになりたい。
13	安心・居場所	友達と遊ぶ時間がほしい。
14	安心・居場所	休み時間が長いといい。
15	安心・居場所	休み時間が長いとうれしい。
16	部活動・行事・体験	みんなで卓球をしたい。
17	部活動・行事・体験	卓球をしたい。
18	教育内容・学習環境	かけ算九九を覚えたい。
19	安心・居場所	休み時間が増えるとうれしい。
20	部活動・行事・体験	卓球をしたい。
21	安心・居場所	友達とたくさん遊びたい。
22	教育内容・学習環境	勉強大会があるとうれしい。
23	教育内容・学習環境	すべての教科の時間を長くしてほしい。
24	安心・居場所	友達と遊ぶ時間が長いといい。
25	安心・居場所	休み時間がもっと増えてほしい。
26	教育内容・学習環境	友達と本を読みたい。
27	教育内容・学習環境	係活動をもっと頑張りたい。
28	安心・居場所	友達と遊ぶ時間がほしい。
29	部活動・行事・体験	行事や授業、休み時間を長くしてほしい。
30	部活動・行事・体験	親子でできる行事がたくさんあったらいい。
31	部活動・行事・体験	全校生でなわとびをしたい。
32	施設・財政・維持管理	滑り台があったらいい。
33	安心・居場所	休み時間をもっと長くしてほしい。
34	教育内容・学習環境	勉強の時間が増えるといい。
35	部活動・行事・体験	運動会や遠足の時間をもっと増やしてほしい。
36	部活動・行事・体験	運動会をやってみたい。
37	部活動・行事・体験	授業参観が月に1回になったらうれしい。
38	教育内容・学習環境	勉強をもっとしたい。おやつを食べたい。みんなで良いことをしたい。運動や遊びをもっとしたい。
39	安心・居場所	休み時間をもっと増やしてほしい。
40	教育内容・学習環境	給食にチャーシュー麺があったらいい。
41	安心・居場所	好きなことをする時間を増やしてほしい。

【小学生1、2年生　アンケート分析】
低学年では、学校そのものを楽しいと感じている児童が非常に多く、友達との遊びや交流、休み時間、運動、遠足・学校行事などへの関心が高い結果となっている。
また、「もっとあったらいい」とする項目でも、友達との交流や集団活動、学校行事、体験活動などが多く挙げられており、低学年児童にとっては、安心して楽しく過ごせることに加え、友達と一緒に様々な活動を経験できる環境が重要であることがうかがえる。
なお、低学年アンケートでは、学校配置や制度に関する質問は行わず、現在の学校生活や学校への思いを把握することを重視している。

「-4- 小学生1･2年生 アンケート」の結果から読み取れる主な傾向

- 学校生活について、「楽しい」「友達と遊ぶことが楽しい」など、学校生活そのものを楽しんでいる様子がみられた。
- 自由記述では、友達と遊ぶ時間や休み時間を増やしてほしいという意見が多くみられた。
- また、サッカー、卓球などのスポーツ、勉強、学校行事、遊具等について、もっと楽しみたい・充実させたいという意見がみられた。
- 学校生活の中で、友達との関わりや遊び、体験的な活動を大切にしていることがうかがえる。
- 低学年については、学校の統合や規模そのものよりも、「楽しく過ごせること」「友達と一緒に活動できること」など、日常の学校生活の充実を重視していることが特徴としてみられる。

-5- 小学生3～6年生 アンケート集計分析結果

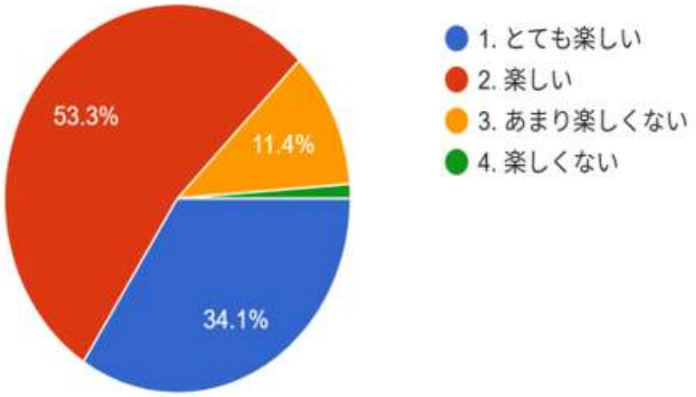
●問1 学校生活は楽しいですか。

分析結果

「楽しい」が53.3%と最も多く、次いで「とても楽しい」が34.1%となっている。
「とても楽しい」と「楽しい」を合わせると87.4%となっており、多くの児童が学校生活を肯定的に捉えている。
一方、「あまり楽しくない」が11.4%、「楽しくない」が少数ながら見られることから、学校生活の感じ方には個人差があることにも示されている。

※167件の回答

選択肢	回答数	割合
1. とても楽しい	57	34.1%
2. 楽しい	89	53.3%
3. あまり楽しくない	19	11.4%
4. 楽しくない	2	1.2%
総計	167	100.0%



●問2　学校で「楽しいな」と思うことは何ですか。

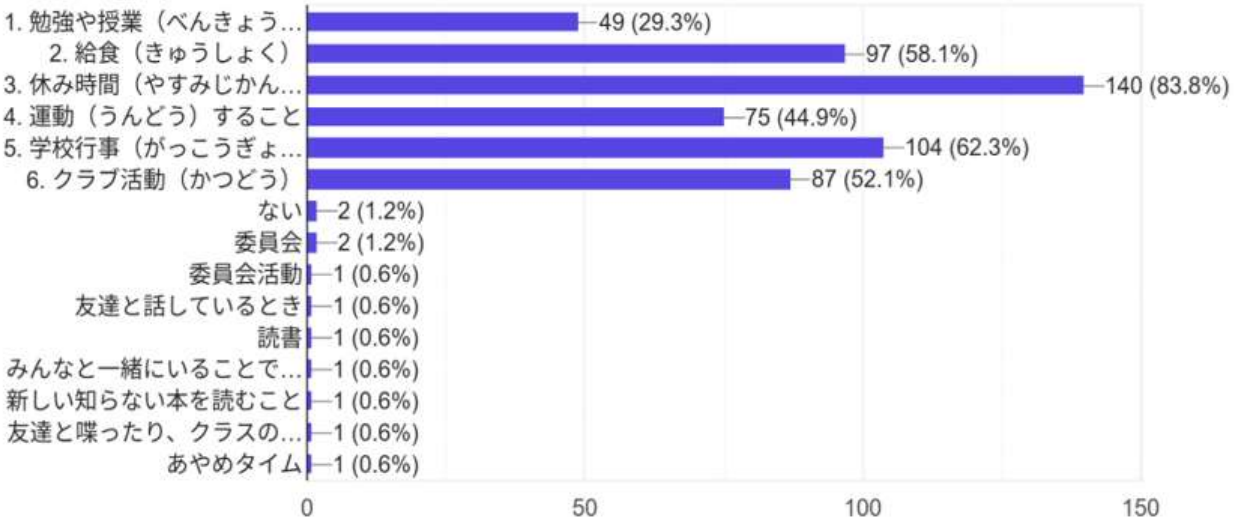
分析結果

「休み時間」が83.8%と最も高く、次いで「学校行事」が62.3%、「給食」が58.1%、「クラブ活動」が52.1%、「運動すること」が44.9%、「勉強や授業」が29.3%となっている。

休み時間や学校行事、クラブ活動など、友達と関わりながら活動する時間や学校生活の中での体験的な活動が、児童にとって楽しさにつながっていることがうかがえる。

※167件の回答

選択肢	回答数	割合
1.　勉強や授業	49	29.3%
2.　給食	97	58.1%
3.　休み時間に友達と遊ぶこと	140	83.8%
4.　運動すること	75	44.9%
5.　学校行事（運動会・学習発表会など）	104	62.3%
6.　クラブ活動	87	52.1%
●以下「そのほか」コメント		
ない	2	1.2%
委員会	2	1.2%
委員会活動	1	0.6%
友達と話しているとき	1	0.6%
読書	1	0.6%
みんなと一緒にいることです。	1	0.6%
新しい知らない本を読むこと	1	0.6%
友達と喋ったり、クラスのお楽しみ会とかをすること	1	0.6%
あやめタイム	1	0.6%



●問3　学校で「これが大切だな」と思うことは何ですか。

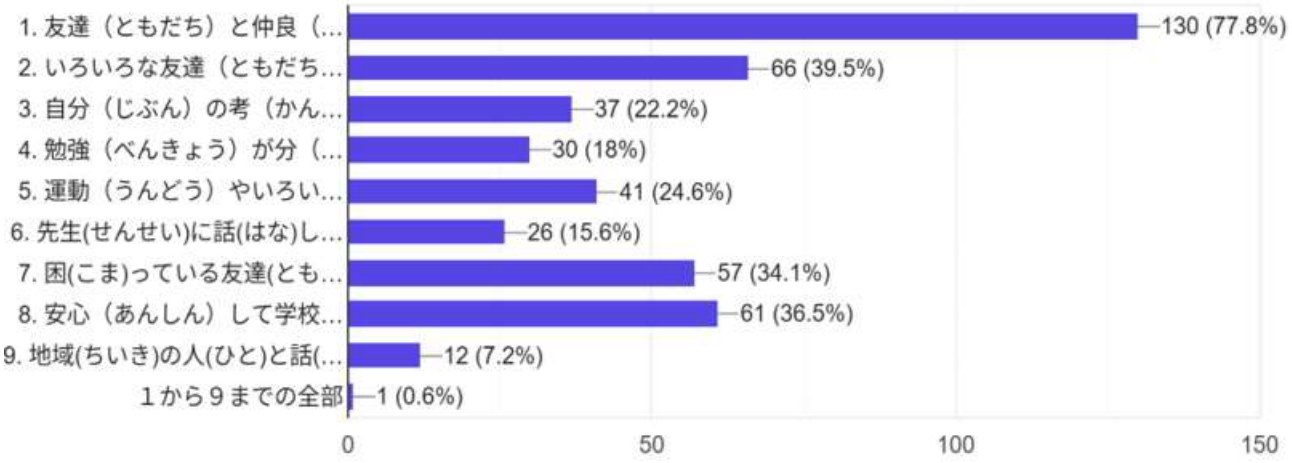
分析結果

「友達と仲良くすること」が77.8%と最も高く、次いで「いろいろな友達と関わること」が39.5%、「困っている友達を助けること」が34.1%、「安心して学校生活を送ること」が36.5%となっている。

「勉強が分かること」は18.0%、「自分の考えを持つこと」は22.2%となっており、学習面だけでなく、友達との関係や互いに助け合うこと、安心して過ごせることを重視していることが特徴として見られる。

※167件の回答

選択肢	回答数	割合
1.友達と仲良くすごせること	130	77.8%
2.いろいろな友達といっしょに勉強したり遊んだりできること	66	39.5%
3.自分の考えをみんなに伝えられること	37	22.2%
4.勉強が分かりやすいこと	30	18.0%
5.運動やいろいろな体験ができること	41	24.6%
6.先生に話したり相談したりできること	26	15.6%
7.困っている友達を助けたり、助けてもらったりできること	57	34.1%
8.安心して学校ですごせること	61	36.5%
9. 地域の人と話したり、いっしょに活動したりできること	12	7.2%
●以下「そのほか」コメント		
1から9までの前部	1	0.6%



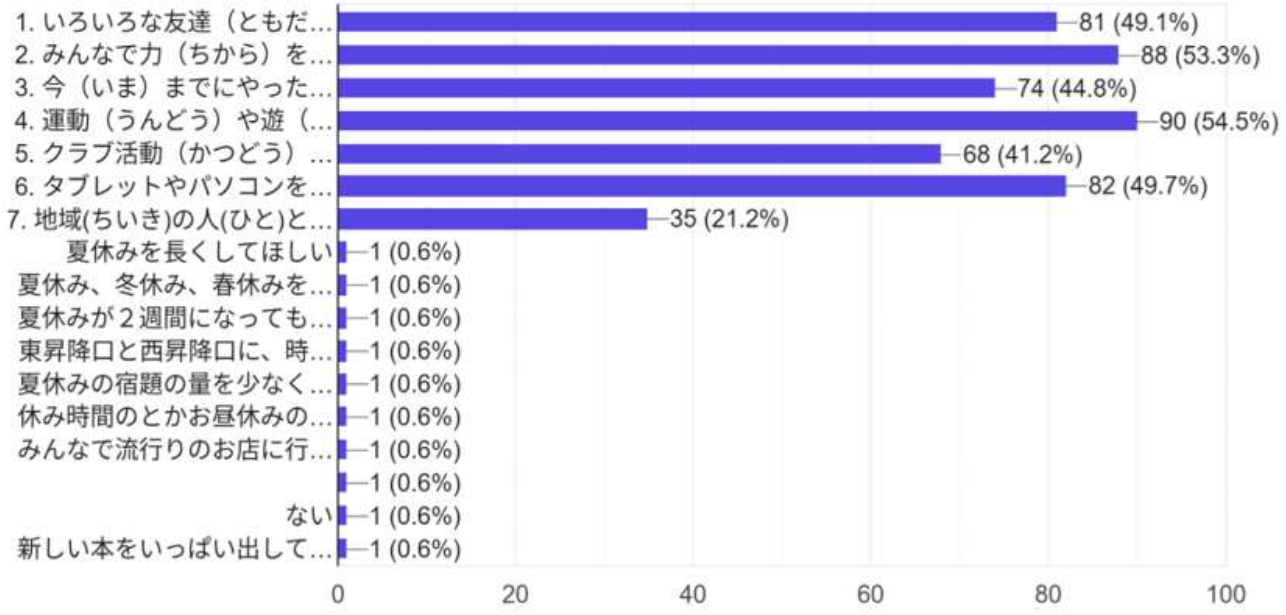
●問4　学校で、もっとあったらいいなと思うことは何ですか。

分析結果

「運動や人遊び」が54.5%、「みんなで力を合わせて取り組むこと」が53.3%、「タブレットやパソコンを使うこと」が49.7%、「いろいろな友達と交流すること」が49.1%となっている。
このほか、「今までにやったことのないこと」が44.8%、「クラブ活動」が41.2%となっている。
友達との交流や協働的な活動に加え、新しいことに挑戦する機会やICTを活用した学習など、多様な経験を求めていることがうかがえる。

※165件の回答

選択肢	回答数	割合
1.いろいろな友達といっしょに勉強したり遊んだりすること	81	49.1%
2.みんなで力をあわせてする活動	88	53.3%
3.今までにやったことがない勉強や体験	74	44.8%
4.運動や遊びができる場所	90	54.5%
5.クラブ活動や委員会の活動がもっとできること	68	41.2%
6.タブレットやパソコンを使った勉強	82	49.7%
7.地域の人といっしょに活動したり、お話したりすること	35	21.2%
●以下「そのほか」コメント		
夏休みを長くしてほしい	1	0.6%
夏休み、冬休み、春休みを増やすこと	1	0.6%
夏休みが2週間になってもいいけど宿題がなく本当の意味の休みにしてほしい	1	0.6%
東昇降口と西昇降口に、時計を置いて欲しい。	1	0.6%
夏休みの宿題の量を少なくしてほしい	1	0.6%
休み時間のとかお昼休みの時間を増やして欲しい	1	0.6%
みんなで流行りのお店に行ったり、お出かけしたり、みんなで思い出を作ること	1	0.6%
ない	1	0.6%
新しい本をいっぱい出してほしい	1	0.6%

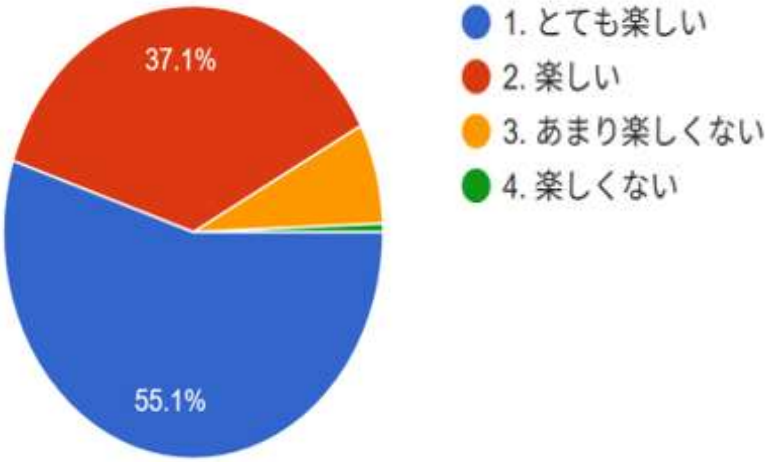


●問5　運動会や学習発表会は楽しいですか。

分析結果
「とても楽しい」が55.1%、「楽しい」が37.1%となっている。
両方を合わせると92.2%となっており、学校行事について肯定的に捉えている児童が大多数を占めている。

※167件の回答

選択肢	回答数	割合
1. とても楽しい	92	55.1%
2. 楽しい	62	37.1%
3. あまり楽しくない	12	7.2%
4. 楽しくない	1	0.6%
総計	167	100.0%



●問6　運動会や学習発表会のどんなところが楽しいですか。

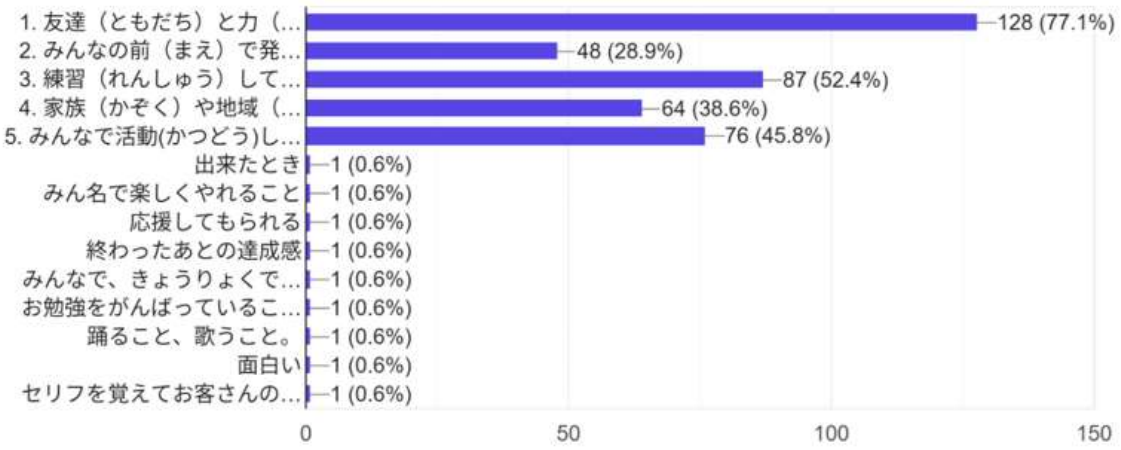
分析結果

「友達と力を合わせること」が77.1％と最も高く、次いで「練習してできるようになること」が52.4％、「みんなで活動すること」が45.8％、「家族や地域の人に見てもらうこと」が38.6％となっている。

学校行事については、単に行事そのものを楽しむだけでなく、友達と協力することや、練習を通してできるようになること、集団で活動することに楽しさを感じていることがうかがえる。

※166件の回答

選択肢	回答数	割合
1.友達と力をあわせること	128	77.1%
2.みんなの前で発表すること	48	28.9%
3.練習して、できることがふえること	87	52.4%
4.家族や地域の人に見てもらうこと	64	38.6%
5.みんなで活動して、友達ともっとなかよくなれること	76	45.8%
●以下「そのほか」コメント		
出来たとき	1	0.6%
みんなで楽しくやれること	1	0.6%
応援してもられる	1	0.6%
終わったあとの達成感	1	0.6%
みんなで、きょうりょくできるから	1	0.6%
お勉強をがんばっていることをわかってもらえること	1	0.6%
踊ること、歌うこと。	1	0.6%
面白い	1	0.6%
セリフを覚えてお客さんの前で、発表すること	1	0.6%



●問7　これからの学校では、どんなことを大切にしてほしいですか。

分析結果

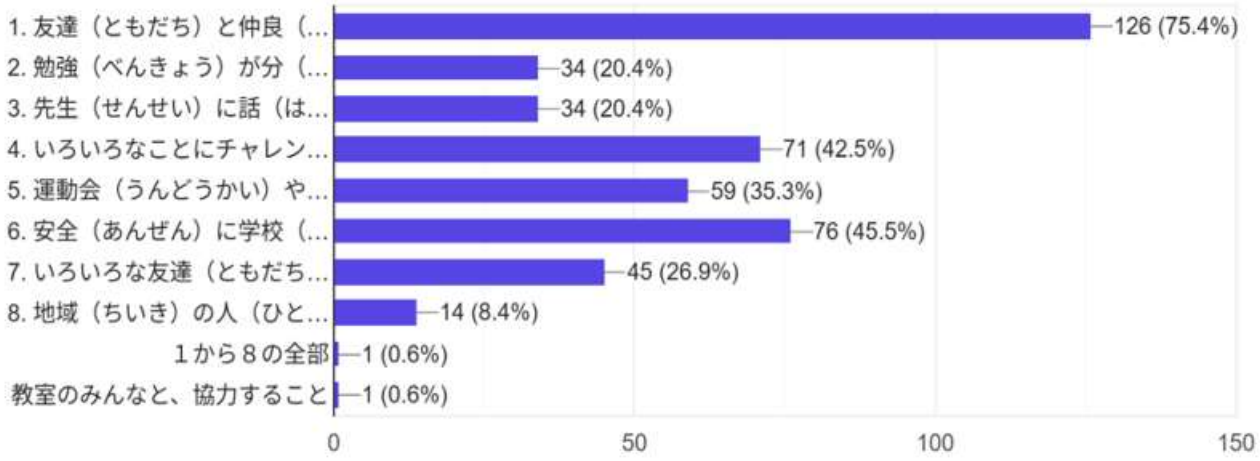
「友達と仲良くすること」が75.4%と最も高く、次いで「安全に学校生活を送ること」が45.5%、「いろいろなことにチャレンジすること」が42.5%、「運動会や学校行事」が35.3%となっている。

また、「いろいろな友達と関わること」が26.9%、「勉強が分かること」「先生に話しやすいこと」がそれぞれ20.4%となっている。

今後の学校について、人間関係の良さを基盤として、安全・安心な環境の中で、様々なことに挑戦できる学校を求めていることがうかがえる。

※167件の回答

選択肢	回答数	割合
1.友達と仲良くすごせること	126	75.4%
2.勉強が分かりやすいこと	34	20.4%
3.先生に話したり相談したりしやすいこと	34	20.4%
4.いろいろなことにチャレンジしたり、体験したりできること	71	42.5%
5.運動会や学習発表会などが楽しいこと	59	35.3%
6.安全に学校へ通えること	76	45.5%
7.いろいろな友達といっしょに勉強したり遊んだりできること	45	26.9%
8.地域の人と話したり、いっしょに活動したりできること	14	8.4%
●以下「そのほか」コメント		
1から8の全部	1	0.6%
教室のみんなと、協力すること	1	0.6%



●問8 「こんな学校だったらいいな」と思うことや、学校がもっと楽しくなるためにやってみたいことがあれば、自由に書いてください。

【自由記述の取扱いについて】

自由記述については、回答者の個人情報、特定の個人・団体等を識別できる記述、特定の個人等に対する誹謗・中傷・個人的な評価に当たる記述等については、趣旨を損なわない範囲で掲載を省略又は要約している。

分類	主な内容
学校の規模・配置・連携	小学校統合、小中一貫、義務教育学校、現状維持、学校配置等
学級規模・編制	1学級の人数、複数学級、少人数指導等
教育内容・学習環境	個別指導、特色ある教育、体験、ICT、社会・政治教育等
通学・安全	スクールバス、通学距離、交通安全、気候への対応等
施設・財政・維持管理	老朽化、修繕、新設、維持管理費、施設活用、財源等
地域・郷土とのつながり	地域交流、地域文化、郷土愛、地域人材等
人口・子育て・定住	少子化、子育て支援、転入、定住、人口増加等
教職員体制	教員配置、教職員不足、負担軽減、支援体制等
特別支援・多様な学び	特別支援学級、個別支援、多様な子どもへの対応等
部活動・行事・体験	部活動、行事、修学旅行、体験活動等
安心・居場所	いじめ防止、心理的な安心、居場所、学校生活の楽しさ等

※回答数:105件 （一般向けアンケートの分離と整合性）

●以下自由記述内容一覧

番号	分類	意見内容
1	部活動・行事・体験	体育の時間を増やしてほしい。
2	安心・居場所	楽しい学校生活を送るために、みんなが楽しめる学校にしたい。
3	教育内容・学習環境	友達と協力して勉強できるといい。
5	安心・居場所	みんなが楽しめる学校がいい。
6	部活動・行事・体験	イベントがたくさんあるといい。
7	安心・居場所	平和な学校にしたい。
8	安心・居場所	けんかや悪口のない学校がいい。
9	部活動・行事・体験	全校生でドッジボールをやりたい。
10	部活動・行事・体験	全校生でかくれんぼをしたら、もっと楽しいと思う。
11	学校の規模・配置・連携	もっと児童数が増えてほしい。
12	安心・居場所	みんなが気持ちよく過ごせる学校がいい。
13	友達との関わりを含む安心・居場所	みんなと友達になりたい。
14	安心・居場所	休み時間をもっと増やしてほしい。
15	部活動・行事・体験	運動会をもっと盛り上げたい。
16	教育内容・学習環境	宿題を少なくし、週末や夏休みなどの長期休暇をゆっくり過ごしたい。
17	通学・安全	自転車で通学できる範囲を広げてほしい。
18	安心・居場所	いろいろな学年の人と話したり遊んだりする時間を増やしてほしい。
19	教育内容・学習環境	夏休みなどの長期休暇は宿題を減らし、気分転換できるようにしてほしい。
20	部活動・行事・体験	卒業の思い出にみんなで楽しい活動やお出かけをしたい。また、全校生でクイズなどをして遊びたい。
21	安心・居場所	休み時間を長くしてほしい。
22	教育内容・学習環境	夏休みなどの長期休暇の宿題をもう少し減らしてほしい。
23	教育内容・学習環境	長期休暇の宿題を減らし、休み時間を長くしてほしい。また、分かりやすい授業をしてほしい。
24	安心・居場所	休憩時間を増やしたほうがいい。
25	部活動・行事・体験	いろいろな文化を体験したい。
26	教育内容・学習環境	給食を増やしてほしい。
27	安心・居場所	みんなが楽しく過ごせるようにしたい。
28	特別支援・多様な学び	中学校に特別支援学級がほしい。
29	安心・居場所	楽しく過ごせて、友達と仲良くできる学校がいい。
30	安心・居場所	楽しく過ごせて、友達と仲良くできる学校がいい。
35	部活動・行事・体験	イベントを増やしてほしい。

36	部活動・行事・体験	体育館でできるイベントを増やしてほしい。
37	安心・居場所	友達ともっと仲良くできる学校にしたい。
38	安心・居場所	けんかや仲間外れがなく、みんなで過ごせる学校にしたい。
39	安心・居場所	みんなで協力して取り組める学校にしたい。
40	部活動・行事・体験	全校生で楽しめる活動をしたい。
41	安心・居場所	みんなと仲良く過ごせるといい。
42	安心・居場所	みんなで楽しく過ごしたい。
43	安心・居場所	全校生で楽しく学校生活を送りたい。
44	学校の規模・配置・連携	今の学校のままでよいと思う。
45	部活動・行事・体験	いろいろな行事を増やしたり、楽しい活動を行ったりしてほしい。
46	安心・居場所	1～6年生が体育館で好きな人と一緒に弁当を食べられるようにしたい。
47	教育内容・学習環境	図書室の本をもっと増やしてほしい。
48	教育内容・学習環境	得意なことを伸ばしていける学校がいい。
49	安心・居場所	けんかがなく、みんなが楽しめる学校にしたい。
50	教育内容・学習環境	新しいことに挑戦できる学校がいい。
51	教育内容・学習環境	タブレットを使った授業を増やしてほしい。
53	安心・居場所	みんなで仲良く協力し合う学校にしたい。
54	部活動・行事・体験	学年のみんなで新しいことに取り組みたい。
55	安心・居場所	みんなで楽しく過ごしたい。
56	安心・居場所	みんなが仲の良い学校がいい。
60	安心・居場所	差別のない学校がいい。
62	施設・財政・維持管理	新しいサッカーボールがほしい。
63	通学・安全	自転車で通学したい。
69	安心・居場所	けんかや暴言、差別、否定的な言葉がなく、楽しく過ごせる学校がいい。
70	安心・居場所	仲良く遊べる学校がいい。
71	部活動・行事・体験	学校で鬼ごっこをしたい。
72	部活動・行事・体験	お楽しみ会のような活動を増やしたほうがいい。
73	教育内容・学習環境	図書室の本をもっと増やしてほしい。また、いじめのない学校がいい。
76	施設・財政・維持管理	屋上に行けるようにしてほしい。学校を広くし、遊具も増やしてほしい。また、下校時間を早くしてほしい。
77	安心・居場所	人間関係にかかわらず、みんなで仲良く、楽しく学校生活を送りたい。
81	教育内容・学習環境	休み時間をより自由に過ごせるようにしてほしい。
85	教育内容・学習環境	図書室の本を増やしてほしい。
87	施設・財政・維持管理	きれいな学校がいい。
89	部活動・行事・体験	ゴルフの練習ができる学校にしてほしい。
90	安心・居場所	休み時間をもう少し長くしてほしい。また、授業時間についても工夫してほしい。
91	施設・財政・維持管理	校庭をもっと広くし、遊具を増やしてほしい。また、休み時間を長くしてほしい。
92	施設・財政・維持管理	遊具を増やしてほしい。また、休み時間を長くしてほしい。
93	施設・財政・維持管理	滑り台がほしい。
94	安心・居場所	休み時間を長くしてほしい。
95	施設・財政・維持管理	遊具を増やしてほしい。また、休み時間をもっと長くしてほしい。
96	教育内容・学習環境	苦手なことにも挑戦し、好きなことを学ぶ機会を増やしてほしい。また、友達と話せる休み時間を増やしてほしい。
97	安心・居場所	休み時間を増やしてほしい。
98	施設・財政・維持管理	体を動かすことが楽しい学校がいい。また、休み時間を増やし、校庭を広くしてほしい。
99	施設・財政・維持管理	遊具をもう少し増やしてほしい。また、休み時間をもう少し増やしてほしい。
100	教育内容・学習環境	休み時間を長くしてほしい。また、考える力や行動する力が身につく学校にしてほしい。遊具も増やしてほしい。
101	教育内容・学習環境	新しいことにチャレンジできる学校がいい。
102	安心・居場所	休み時間をもう少し増やしてほしい。
103	施設・財政・維持管理	校庭に滑り台がほしい。図書室の本を増やし、休み時間も長くしてほしい。
104	安心・居場所	みんなで仲良くしたい。
105	施設・財政・維持管理	遊具を増やしてほしい。

【小学生3～6年生　自由意見の分析】
自由意見では、「楽しい学校生活を送りたい」「友達や異学年の児童ともっと交流したい」といった学校生活や人との関わりに関する意見が多く見られた。また、休み時間や遊びの時間、体育・スポーツ活動、学校行事などを充実させてほしいとの意見のほか、遊具・校庭・体育館・図書室等の施設・環境の改善を望む意見も見られた。さらに、「新しいことに挑戦したい」「好きなことや得意なことを伸ばしたい」「一人ひとりを大切にしてほしい」といった、児童一人ひとりの興味・関心や個性を生かした教育を求める意見も見られた。

「-5- 小学生3～6年生 アンケート」の結果から読み取れる主な傾向

- 学校生活について、友達との関わりや楽しく過ごすことを大切にする意見が多くみられた。
- 休み時間や遊び、体育・スポーツ活動、学校行事等を充実させてほしいという意見がみられた。
- 学習については、単に学力を高めるだけでなく、自分の好きなことや得意なことに挑戦したり、一人ひとりの個性を生かしたりすることを求める意見がみられた。
- また、学校施設・設備、図書室、校庭、体育館等の環境をよりよくしてほしいという意見もみられた。
- さらに、友達や異学年との交流、安全・安心、特別支援、地域・文化・体験活動等に関する意見もみられ、学校生活全体の充実を求めていることがうかがえる。

-6- 中学生 アンケート集計分析結果

1 学校生活について

●問1 現在の学校生活で大切だと思うことは何ですか。(3つまでえらんでください)(複数選択可)(必須項目)

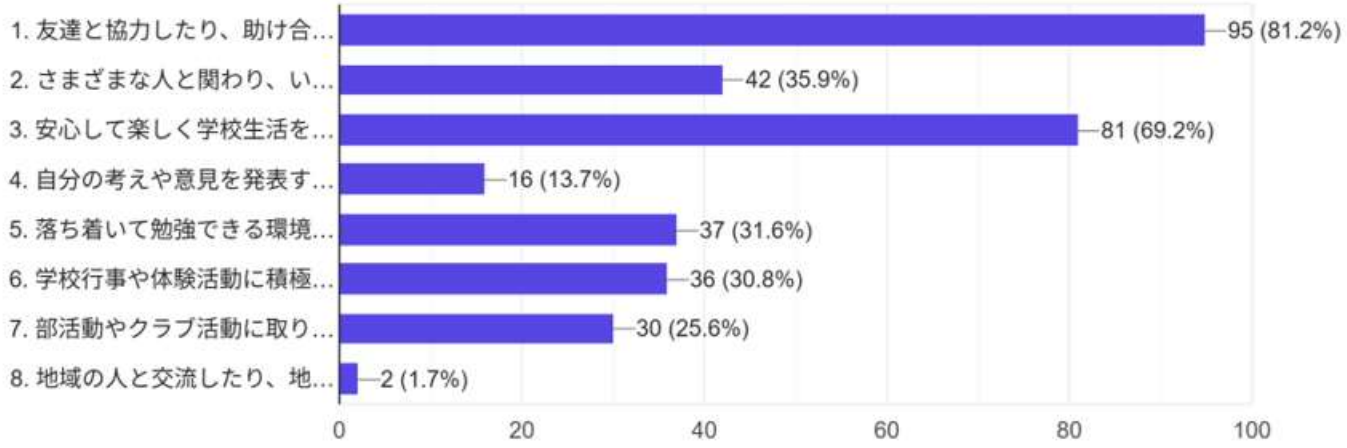
分析結果

「友達と協力したり、助け合ったりすること」が81.2%と最も高く、次いで「安心して楽しく学校生活を送ること」が69.2%、「さまざまな人と関わり、いろいろな考えに触れること」が35.9%となっている。

中学生においても、友人関係や協力、安心して学校生活を送れることが重要視されていることがうかがえる。

※117件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 友達と協力したり、助け合ったりすること	95	81.2%
2. さまざまな人と関わり、いろいろな考え方にふれること	42	35.9%
3. 安心して楽しく学校生活を送れること	81	69.2%
4. 自分の考えや意見を発表すること	16	13.7%
5. 落ち着いて勉強できる環境があること	37	31.6%
6. 学校行事や体験活動に積極的に取り組むこと	36	30.8%
7. 部活動やクラブ活動に取り組むこと	30	25.6%
8. 地域の人と交流したり、地域について学んだりすること	2	1.7%
9. その他( )	0	0.0%



●問2　学校生活でもっと充実してほしいことは何ですか。(3つまでえらんでください)(複数選択可)(必須項目)

分析結果

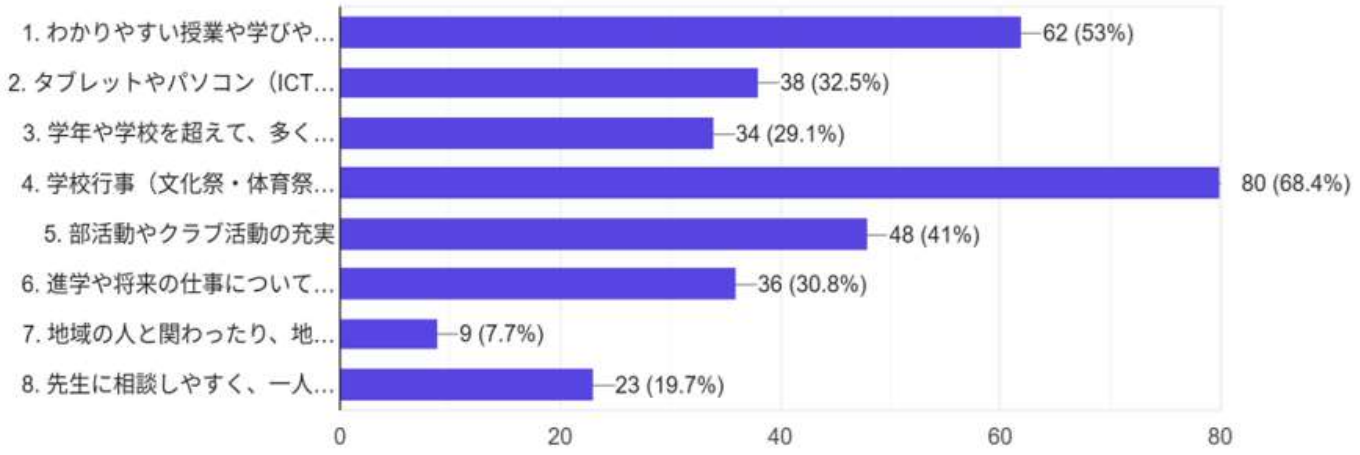
「学校行事」が68.4%と最も高く、次いで「わかりやすい授業や学びやすい環境」が53.0%、「部活動やクラブ活動」が41.0%、「ICT教育」が32.5%となっている。

学校行事や部活動などの活動面と、授業・学習環境の両面について、充実を求める意見が見られる。

※117件の回答

選択肢	回答数	割合
1.　わかりやすい授業や学びやすい教室・設備	62	53.0%
2.　タブレットやパソコン(ICT)を使った学習	38	32.5%
3.　学年や学校を超えて、多くの人と交流する機会	34	29.1%
4.　学校行事(文化祭・体育祭など)の充実	80	68.4%
5.　部活動やクラブ活動の充実	48	41.0%
6.　進学や将来の仕事について考える学習	36	30.8%
7.　地域の人と関わったり、地域について学んだりする活動	9	7.7%
8.　先生に相談しやすく、一人ひとりに合ったサポート	23	19.7%
9.　その他(　　)	0	0.0%

※117件の回答



2　人との関わりや学びについて

●問3　学校で学ぶうえで、特に大切だと思うことは何ですか。(3つまでえらんでください)(複数選択可)(必須項目)

分析結果

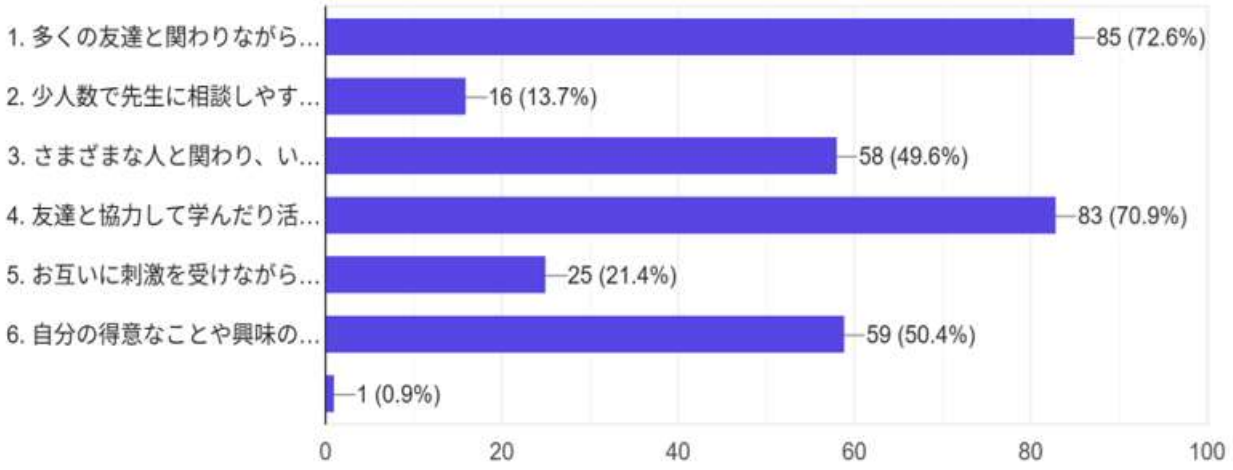
「多くの友達と関わりながら学ぶこと」が72.6%、「友達と協力して学んだり活動したりすること」が70.9%と高くなっている。

また、「自分の得意なことや興味のあることを伸ばすこと」が50.4%、「さまざまな人と関わり、いろいろな考えに触れること」が49.6%となっている。

多くの友達との関わりや協働的な学びに加え、多様な考えに触れることや、自分の個性・興味を伸ばすことも重視されていることがうかがえる。

※117件の回答

選択肢	回答数	割合
1.　多くの友達と関わりながら学べること	85	72.6%
2.　少人数で先生に相談しやすいこと	16	13.7%
3.　さまざまな人と関わり、いろいろな考え方にふれられること	58	49.6%
4.　友達と協力して学んだり活動したりできること	83	70.9%
5.　お互いに刺激を受けながら成長できること	25	21.4%
6.　自分の得意なことや興味のあることを伸ばせること	59	50.4%
7.　その他(無記名)	1	0.9%



3　小学校での経験を振り返って

●問4　小学校生活を振り返って、「こんな小学校だったらよかった」と思うことは何ですか。（3つまでえらんでください）（複数選択可）（必須項目）

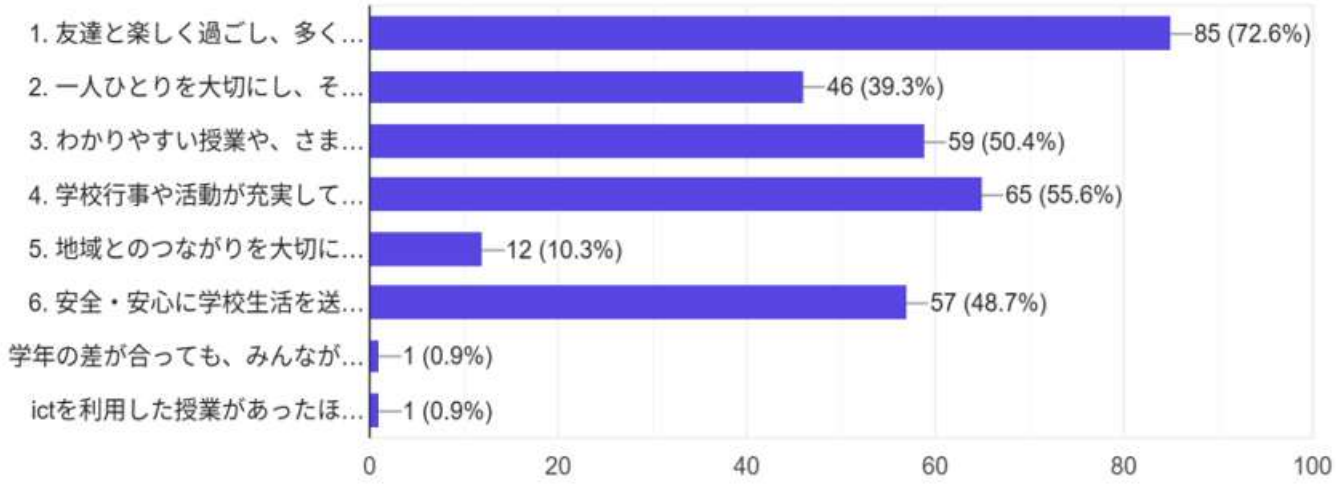
分析結果

「友達と楽しく過ごし、多くの友達と関われること」が72.6%と最も高く、次いで「学校行事や活動が充実していること」が55.6%、「わかりやすい授業や、さまざまな学びができること」が50.4%、「安全・安心に学校生活を送れること」が48.7%となっている。

中学生自身の小学校時代の経験を振り返っても、友達との関わり、学校行事、学習環境、安全・安心といった要素が重要だったことがうかがえる。

※117件の回答

選択肢	回答数	割合
1.　友達と楽しく過ごし、多くの人と関わりながら学べる学校	85	72.6%
2.　一人ひとりを大切にし、それぞれに合った学びができる学校	46	39.3%
3.　わかりやすい授業や、さまざまな体験活動ができる学校	59	50.4%
4.　学校行事や活動が充実している学校	65	55.6%
5.　地域とのつながりを大切にした学びができる学校	12	10.3%
6.　安全・安心に学校生活を送れる学校	57	48.7%
学年の差が合っても、みんながフェアな学校。	1	0.9%
ictを利用した授業があったほうがいいと思う。	1	0.9%



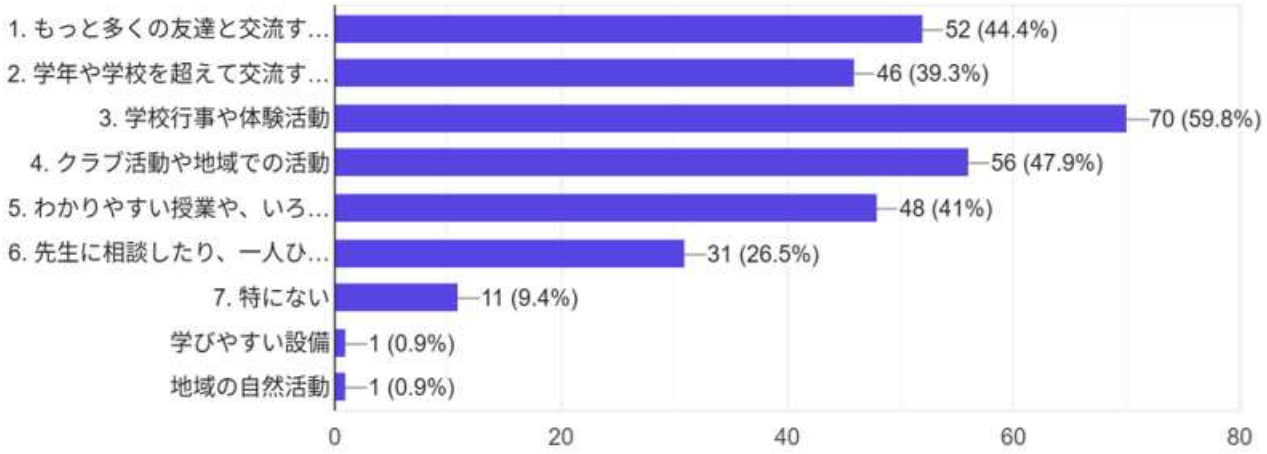
●問5　小学生の頃を振り返って、「もっとあればよかった」と思うことは何ですか。（あてはまるものをすべて選んでください。）（複数選択可）（必須項目）

分析結果

「学校行事や体験活動」が59.8%と最も高く、次いで「クラブ活動や地域での活動」が47.9%、「もっと多くの友達と交流すること」が44.4%、「わかりやすい授業やいろいろな学び」が41.0%となっている。
中学生から見た小学校時代については、学校行事や体験活動、友達との交流、クラブ・地域活動など、学校内外での多様な経験を求める傾向が見られる。

※117件の回答

選択肢	回答数	割合
1.　もっと多くの友達と交流する機会	52	44.4%
2.　学年や学校を超えて交流する機会	46	39.3%
3.　学校行事や体験活動	70	59.8%
4.　クラブ活動や地域での活動	56	47.9%
5.　わかりやすい授業や、いろいろなことを学ぶ機会	48	41.0%
6.　先生に相談したり、一人ひとりに合ったサポートを受けたりできること	31	26.5%
7.　特にない	11	9.4%
学びやすい設備	1	0.9%
地域の自然活動	1	0.9%



4　現在の中学校生活について

●問6　現在の中学校生活で、「これからも続けてほしい」と思うことは何ですか。（あてはまるものをすべて選んでください。）（必須項目）

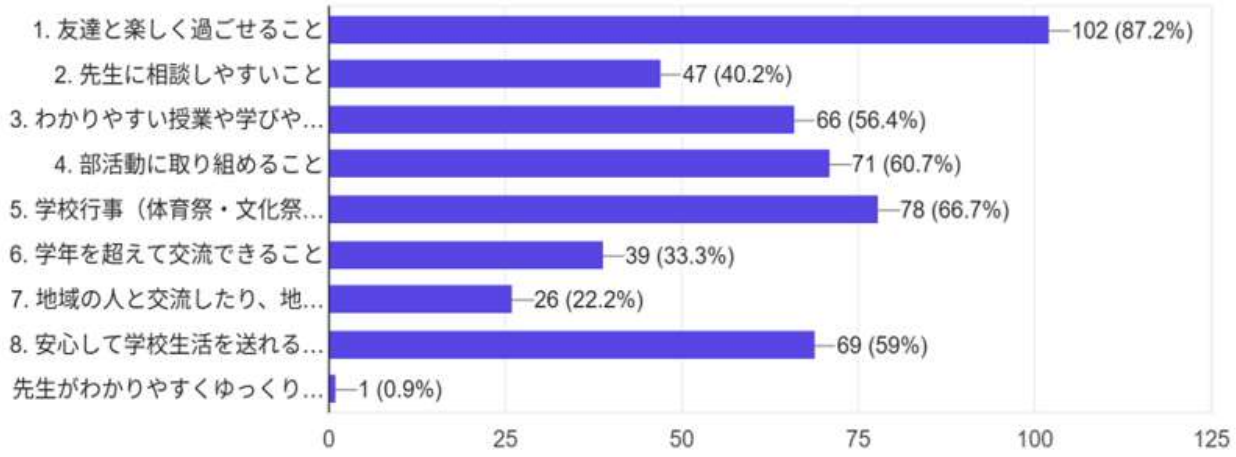
分析結果

「友達と楽しく過ごせること」が87.2%と最も高く、次いで「学校行事」が66.7%、「部活動に取り組めること」が60.7%、「安心して学校生活を送れること」が59.0%、「わかりやすい授業や学びやすい環境」が56.4%となっている。

現在の中学校生活について、友人関係を中心に、学校行事、部活動、安心して過ごせる環境、学習環境を継続してほしいという意向が見られる。

※117件の回答

選択肢	回答数	割合
1.　友達と楽しく過ごせること	102	87.2%
2.　先生に相談しやすいこと	47	40.2%
3.　わかりやすい授業や学びやすい環境	66	56.4%
4.　部活動に取り組めること	71	60.7%
5.　学校行事（体育祭・文化祭など）が充実していること	78	66.7%
6.　学年を超えて交流できること	39	33.3%
7.　地域の人と交流したり、地域について学んだりできること	26	22.2%
8.　安心して学校生活を送れること	69	59.0%
先生がわかりやすくゆっくり勉強を教えること	1	0.9%



5　現在の中学校の人数について

●問7　授業や学校行事、部活動、友達との関わりなど、学校生活全体を通して、今の中学校の人数をどのように感じていますか。(必須項目)

分析結果

「少し少ないと思う」が39.3%、「ちょうどよいと思う」が34.2%、「人数が少ないと思う」が18.8%となっている。
「少し少ない」と「人数が少ない」を合わせると58.1%となっており、現在の学校の人数について「少ない」と感じている生徒が一定数いることが分かりる。
一方、「ちょうどよい」とする回答も34.2%あり、現在の人数に対する感じ方には一定の幅があることも示されている。

※回答数117件

選択肢	回答数	割合
1.　人数が多いと思う	0	0.0%
2. 少し多いと思う	3	2.6%
3. ちょうどよいと思う	40	34.2%
4. 少し少ないと思う	46	39.3%
5. 人数が少ないと思う	22	18.8%
6. わからない	5	4.3%
人数が少ない。特に部活動の人数に差がある。	1	0.9%
総計	117	100.0%



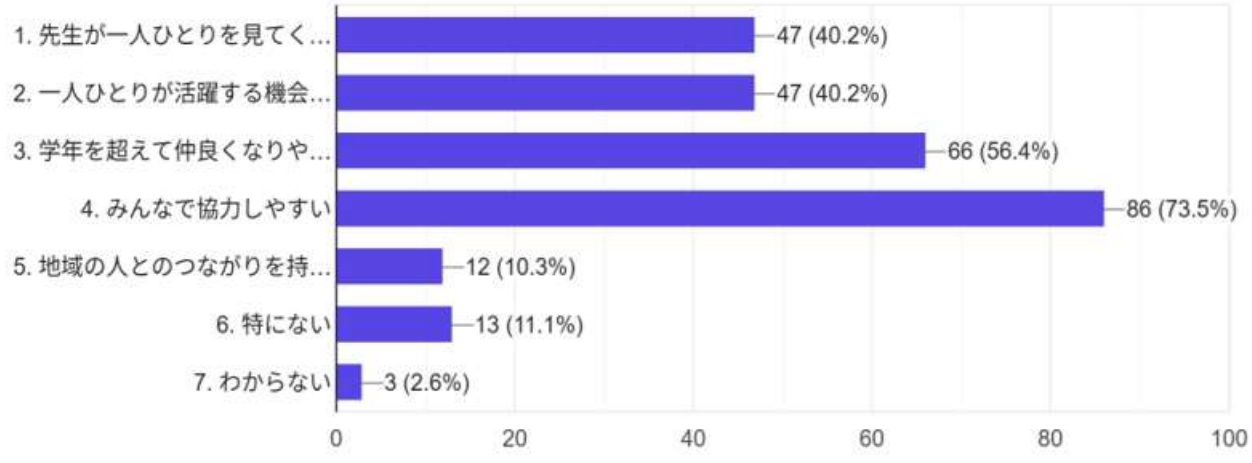
●問8　今の中学校の人数について、学校生活を送る中で、あなたが良いと感じていることは何ですか。(複数選択可)(必須項目)

分析結果

「みんなで協力しやすい」が73.5%と最も高く、次いで「学年を超えて仲良くなりやすい」が56.4%、「先生が一人ひとりを見てくれる」が40.2%、「一人ひとりが活躍する機会がある」が40.2%となっている。
現在の学校規模について、少人数であることによって生徒同士が協力しやすいことや、学年を超えた関係を築きやすいこと、教員が一人ひとりを見やすいことを肯定的に捉えていることがうかがえる。

※回答数117件

選択肢	回答数	割合
1.　先生が一人ひとりを見てくれやすい	47	40.2%
2.　一人ひとりが活躍する機会がある	47	40.2%
3.　学年を超えて仲良くなりやすい	66	56.4%
4.　みんなで協力しやすい。	86	73.5%
5.　地域の人とのつながりを持ちやすい	12	10.3%
6.　特にない	13	11.1%
7.　わからない	3	2.6%
8.　その他(　)	0	0.0%



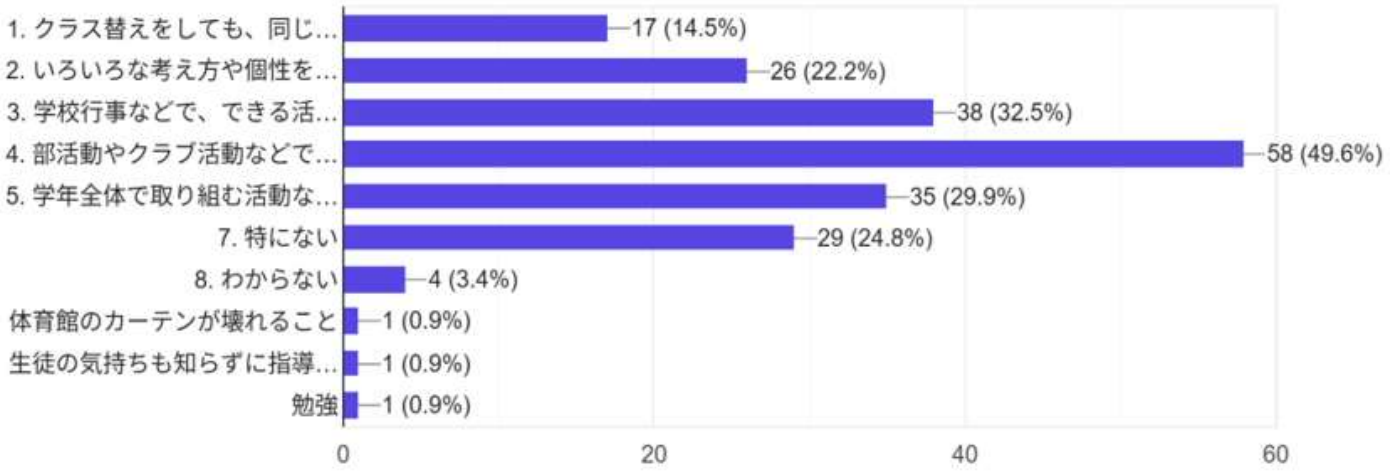
●問9　今の中学校の人数について、不便に感じることは何ですか。

分析結果

「部活動やクラブ活動などで選べるものが少ない」が49.6%と最も高く、次いで「学校行事などでできることが限られる」が32.5%、「学年全体で取り組む活動などの人数が少ない」が29.9%、「いろいろな考え方や個性を持つ人と関わる機会が少ない」が22.2%となっている。
現在の学校規模については、協力しやすいという良さがある一方、部活動や学校行事、集団活動の選択肢・規模などに制約を感じていることがうかがえる。

※回答数117件

選択肢	回答数	割合
1.　クラス替えをしても、同じ友達と一緒になることが多い	17	14.5%
2.　さまざまな考え方や個性を持つ人と関わる機会が少ない	26	22.2%
3.　学校行事などで、できる活動や役割が限られることがある	38	32.5%
4.　部活動やクラブ活動などで、選べる活動が少ない	58	49.6%
5.　学校全体で取り組む活動では、人数が少ないことでできることが限られることがある	35	29.9%
6.　特にない	29	24.8%
7.　わからない	4	3.4%
●以下「その他」コメント		
体育館のカーテンが壊れること	1	0.9%
生徒の気持ちも知らずに指導するところ	1	0.9%
勉強	1	0.9%



6　中島村の児童生徒数の減少について

●問10　中島村では、小学生や中学生の数が、これから少なくなっていくことが予想されています。このことについて、小学生、中学生全体のことを考えたとき、あなたはどのように感じますか。（必須項目）

分析結果

「少し心配している」が47.0%、「とても心配している」が17.9%となっている。
「とても心配している」と「少し心配している」を合わせると64.9%となっており、児童生徒数の減少について、約3分の2の生徒が何らかの心配を感じている。

※回答数117件

選択肢	回答数	割合
1. とても心配している	21	17.9%
2. 少し心配している	55	47.0%
3. あまり心配していない	23	19.7%
4. 心配していない	9	7.7%
5. わからない	8	6.8%
なんとも思わない	1	0.9%
総計	117	100.0%



●問11　問10で「1. とても心配している」「2. 少し心配している」と答えた人に聞きます。どのようなことが心配ですか。(複数選択可)(必須項目)※問10で「とても心配している」「少し心配している」と回答した77人が対象。

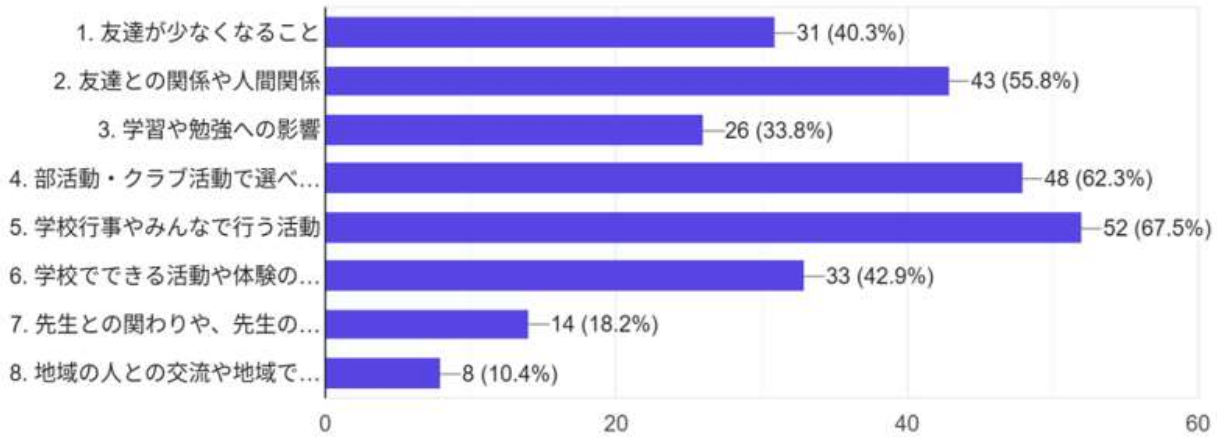
分析結果

「学校行事やみんなで行う活動」が67.5%と最も高く、次いで「部活動・クラブ活動で選べるものが少なくなること」が62.3%、「友達との関係や人間関係」が55.8%、「学校でできる活動や体験の機会」が42.9%となっている。

児童生徒数の減少に対する心配は、単に人数そのものではなく、友達との関係、学校行事、部活動、活動・体験機会など、学校生活の内容に影響することへの懸念として表れていることが分かる。

※回答者77件

選択肢	回答数	割合
1. 友達が少なくなること	31	40.3%
2. 友達との関係や人間関係	43	55.8%
3. 学習や勉強への影響	26	33.8%
4. 部活動・クラブ活動で選べる活動が少なくなること	48	62.3%
5. 学校行事やみんなで行う活動	52	67.5%
6. 学校でできる活動や体験の種類が少なくなること	33	42.9%
7. 先生との関わりや、先生の人数への影響	14	18.2%
8. 地域の人との交流や地域での活動	8	10.4%
9. その他(　　)	0	0.0%



●問12　もし小学生や中学生の数が今より少なくなった場合でも、小学生、中学生にとって、特に大切だと思うことは何ですか。(3つまで)(必須項目)

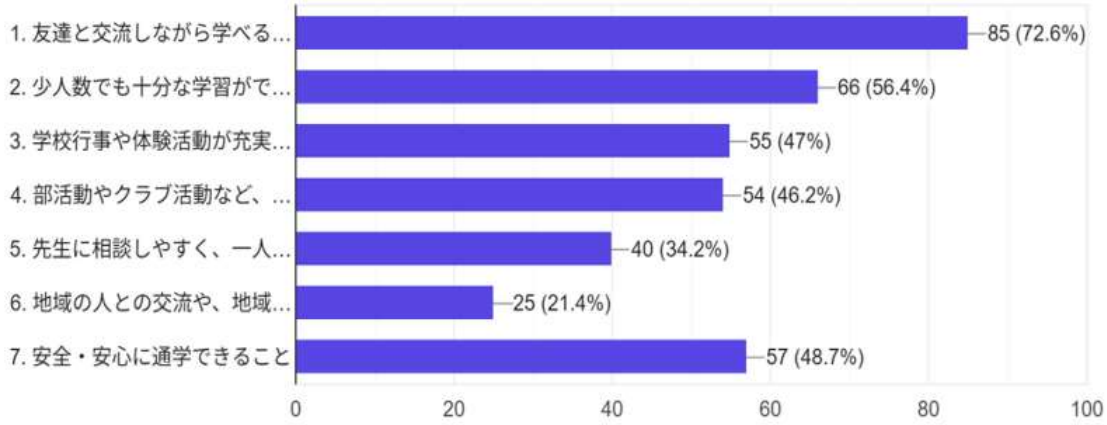
分析結果

「友達と交流しながら学べること」が72.6%と最も高く、次いで「少人数でも十分な学習ができること」が56.4%、「学校行事や体験活動が充実していること」が47.0%、「安全・安心に通学できること」が48.7%、「部活動やクラブ活動など、選択肢が確保されること」が46.2%となっている。
児童生徒数が減少した場合でも、友達との交流、学習環境、学校行事・体験活動、部活動、安全な通学などを維持・確保することが重要と考えられていることがうかがえる。

※回答者117件

選択肢	回答数	割合
1.　友達と交流しながら学べること	85	72.6%
2.　少人数でも十分な学習ができること	66	56.4%
3.　学校行事や体験活動が充実していること	55	47.0%
4.　部活動やクラブ活動など、やりたい活動を選べること	54	46.2%
5.　先生に相談しやすく、一人ひとりに合った学びやサポートを受けられること	40	34.2%
6.　地域の人との交流や、地域の自然・文化を学ぶ機会があること	25	21.4%
7.　安全・安心に通学できること	57	48.7%
8.　その他(　　)	0	0.0%

※117件の回答



7 これからの中学校に必要な人数について

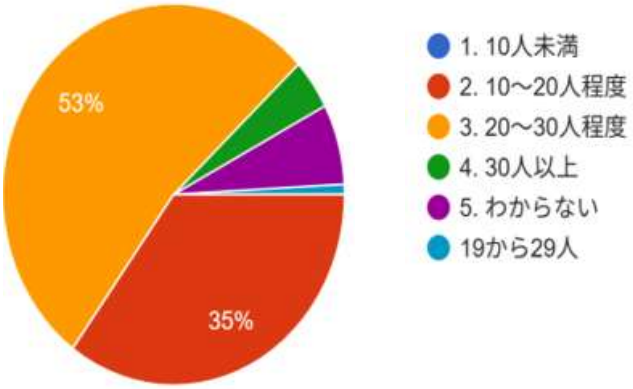
●問13 みなさんが通う中学校では、授業を受ける1つのクラスは、どのくらいの人数がよいと思いますか。(必須項目)

分析結果

「20～30人程度」が53.0%と最も多く、次いで「10～20人程度」が35.0%となっている。
この2つを合わせると88.0%となっており、中学生の多くが、1学級について10～30人程度を望ましいと考えていることが分かる。

※117件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 10人未満	0	0%
2. 10～20人程度	41	35.0%
3. 20～30人程度	62	53.0%
4. 30人以上	5	4.3%
5. わからない	8	6.8%
19から29人	1	0.9%
総計	117	100.0%

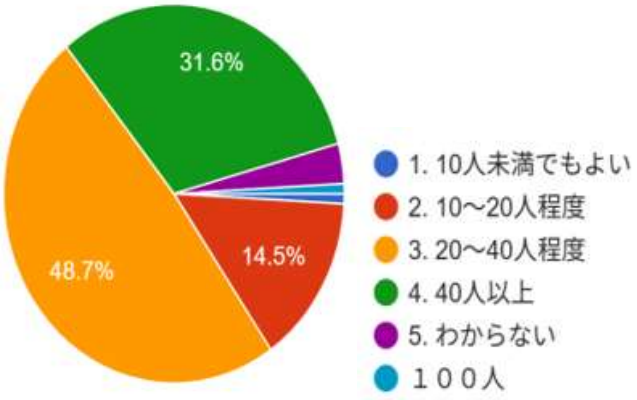


●問14　みなさんが通う中学校では、同じ学年にはどのくらいの人数がいるとよいと思いますか。(必須項目)
※ここでいう「同じ学年」とは、同じ学年の生徒全体の人数です。友達との交流や学校行事、部活動などを考えて答えてください。

分析結果
「20～40人程度」が48.7%と最も多く、次いで「40人以上」が31.6%、「10～20人程度」が14.5%となっている。
学年全体の人数については、20～40人程度を中心として、一定の集団規模を確保することを望む回答が多い結果となっている。

※117件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 10人未満でもよい	1	0.9%
2. 10～20人程度	17	14.5%
3. 20～40人程度	57	48.7%
4. 40人以上	37	31.6%
5. わからない	4	3.4%
100人	1	0.9%
総計	117	100.0%

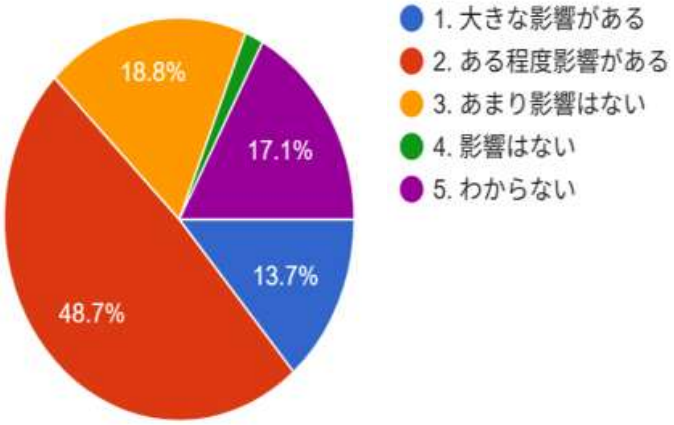


●問15　これからの中学校の人数が今より少なくなった場合、学校生活や学びに影響があると思いますか。(必須項目)

分析結果
「ある程度影響がある」が48.7%、「大きな影響がある」が13.7%となっている。
「大きな影響がある」と「ある程度影響がある」を合わせると62.4%となっており、児童生徒数の減少が学習に影響すると考える生徒が6割を超えている。
一方、「あまり影響はない」が18.8%、「わからない」が17.1%となっており、影響の捉え方には個人差も見られる。

※117件の回答

選択肢	回答数	割合
1. 大きな影響がある	16	13.7%
2. ある程度影響がある	57	48.7%
3. あまり影響はない	22	18.8%
4. 影響はない	2	1.7%
5. わからない	20	17.1%
6.その他	0	0%
総計	117	100.0%



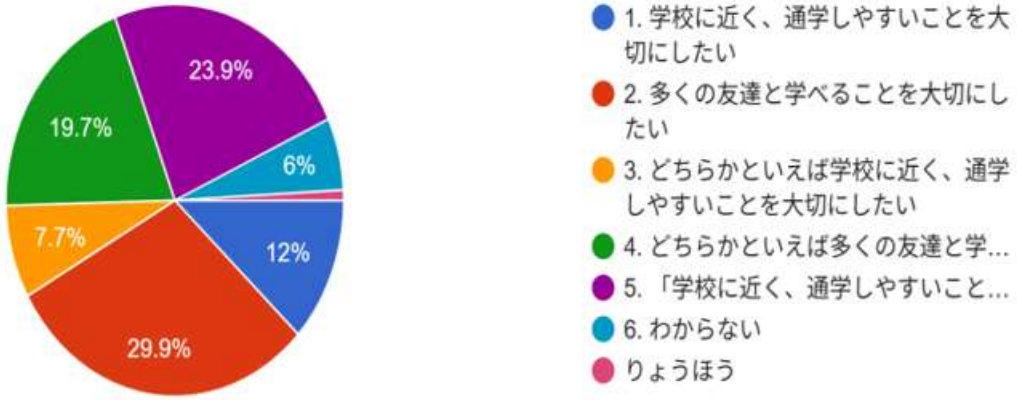
●問16　これからの中学校について考えるとき、学校の場所や通学方法が変わる場合もあることを考えて、あなたは「学校に近く、通学しやすいこと」と「多くの友達と学べること」　どちらを大切だと思いますか。（必須項目）

分析結果

「多くの友達と学べることを大切にしたい」が29.9%、「どちらかといえば多くの友達と学べることを大切にしたい」が19.7%となっている。
一方、「学校に近く、通学しやすいことを大切にしたい」が12.0%、「どちらかといえば学校に近く、通学しやすいことを大切にしたい」が7.7%となっている。
また、「学校に近いこと」と「多くの友達と学べること」の両方を大切にしたいという回答も見られる。
単純に一方だけを重視するのではなく、学習・友人関係などの教育面と、通学のしやすさの双方を考慮する必要があることがうかがえる。

※回答者117件

選択肢	回答数	割合
1. 学校に近く、通学しやすいことを大切にしたい	14	12.0%
2. 多くの友達と学べることを大切にしたい	35	29.9%
3. どちらかといえば学校に近く、通学しやすいことを大切にしたい	9	7.7%
4. どちらかといえば多くの友達と学べることを大切にしたい	23	19.7%
5.「学校に近く、通学しやすいこと」と「多くの友達と学べること」どちらも同じくらい大切	28	23.9%
6. わからない	7	6.0%
●その他コメント		
りょうほう	1	0.9%
総計	117	100.0%



8 これからの小学校・中学校の教育環境について

●問17 これからの小学校・中学校では、どのようなことを特に大切にしてほしいですか。

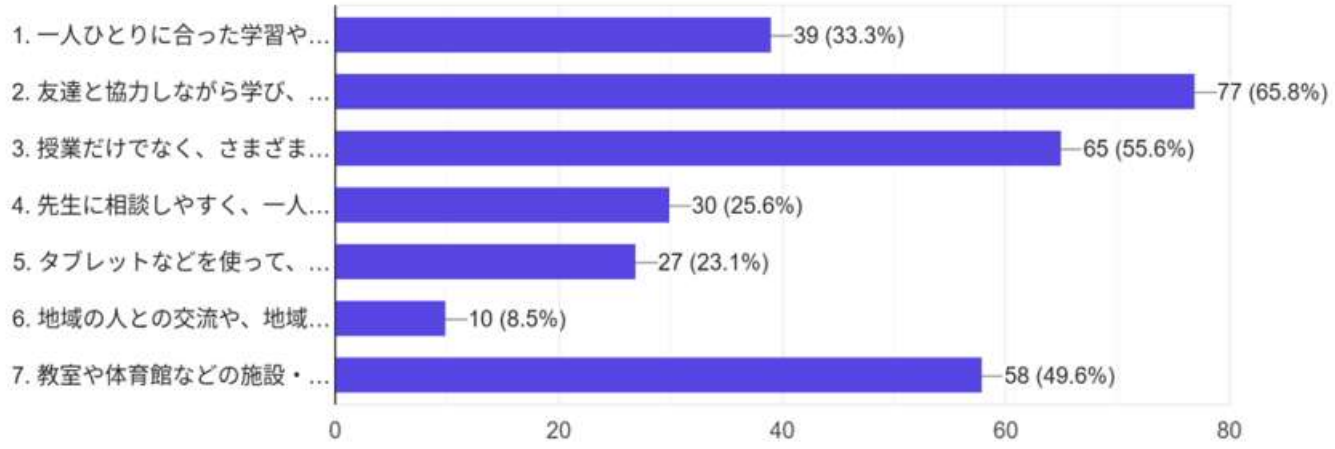
分析結果

「友達と協力しながら学び、活動できること」が65.8%と最も高く、次いで「授業だけでなく、さまざまな体験ができること」が55.6%、「教室や体育館などの施設・設備が整っていること」が49.6%、「一人ひとりに合った学習や支援が受けられること」が33.3%となっている。

中学生は、協働的な学びや多様な体験機会に加え、施設・設備や個に応じた学習支援など、教育環境全体の充実を求めていることがうかがえる。

※回答者117件

選択肢	回答数	割合
1. 一人ひとりに合った学習やサポートを受けられること	39	33.3%
2. 友達と協力しながら学び、成長できること	77	65.8%
3. 授業だけでなく、さまざまな体験や活動ができること	65	55.6%
4. 先生に相談しやすく、一人ひとりにしっかり向き合ってもらえること	30	25.6%
5. タブレットなどを使って、学びやすい環境があること	27	23.1%
6. 地域の人との交流や、地域の自然・文化を学ぶ機会があること	10	8.5%
7. 教室や体育館などの施設・設備が整っていること	58	49.6%
8. その他（　　）	0	0.0%



●問18　児童生徒数がこれからも少なくなった場合、小学校・中学校を含めた将来の学校はどのようにしていくことがよいと思いますか。(必須項目)

分析結果

「現在の学校をできるだけ維持する」が36.8%と最も多く、次いで「小学校2校を一つにすることを検討する」が29.1%、「小学校と中学校を一つの学校にして、9年間を通して学ぶことを検討する」が17.1%、「小学校と中学校は別の学校のまま、学習や行事などで一緒に取り組むことを検討する」が8.5%、「わからない」が7.7%となっている。

回答は一つの方向に集中しているわけではなく、現在の学校を維持する考えと、小学校の集約や小中9年間を通した教育環境を検討する考えなど、複数の意見が見られる結果となっている。

※回答者117件

選択肢	回答数	割合
1. 現在の学校をできるだけ維持する	43	36.8%
2. 小学校2校を一つにすることを検討する	34	29.1%
3. ※小学校と中学校を一つの学校にして、9年間を通して学ぶことを検討する（義務教育学校）	20	17.1%
4. ※小学校と中学校は別の学校のまま 、学習や行事などで一緒に取り組むことを検討する（小中一貫教育校）	10	8.5%
5. わからない	9	7.7%
その他		
近隣の学校と合併する	1	0.9%
総計	117	100.0%



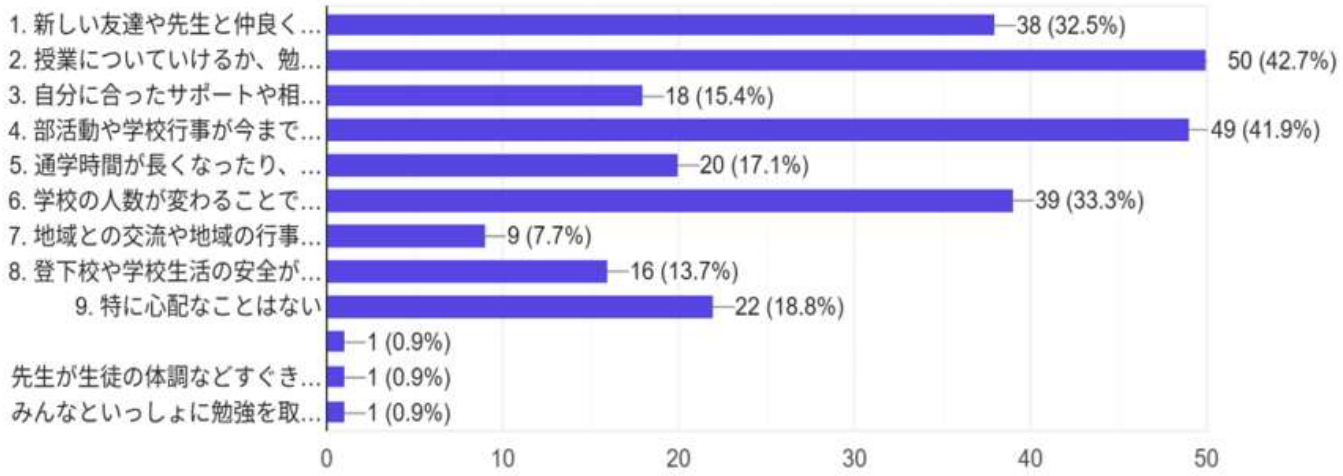
●問19　これからの小学校、中学校について考えたとき、不安や心配なことは何ですか。(3つまで)(必須項目)

分析結果

「授業についていけるか、勉強についていけるか」が42.7%と最も高く、次いで「部活動や学校行事が今までどおりできるか」が41.9%、「学校の人数が変わることで学校生活が変わること」が33.3%、「新しい友達や先生と仲良くできるか」が32.5%となっている。
一方、「特に心配なことはない」も18.8%となっている。
将来の学校環境については、学習面だけでなく、部活動・学校行事、人間関係、学校生活そのものの変化など、幅広い面で不安が捉えられていることが分かる。

※回答者117件

選択肢	回答数	割合
1.　新しい友達や先生と仲良くなれるか	38	32.5%
2.　授業についていけるか、勉強がしやすいか	50	42.7%
3.　自分に合ったサポートや相談が受けられるか	18	15.4%
4.　部活動や学校行事が今までどおり充実しているか	49	41.9%
5.　通学時間が長くなったり、通学方法が変わったりすること	20	17.1%
6.　学校の人数が変わることで、学校生活の雰囲気が変わること	39	33.3%
7.　地域との交流や地域の行事が少なくなること	9	7.7%
8.　登下校や学校生活の安全が確保されること	16	13.7%
9.　特に心配なことはない	22	18.8%
その他(無記名)	1	0.9%
先生が生徒の体調などすぐきがつけるか	1	0.9%
みんなといっしょに勉強を取り組むこと	1	0.9%



●問20　みなさんが小学生だった頃や中学校での経験を振り返って、これから小学生、中学生になる子どもたちにとって、どのような学校がよいと思いますか。(3つまで)(必須項目)

分析結果

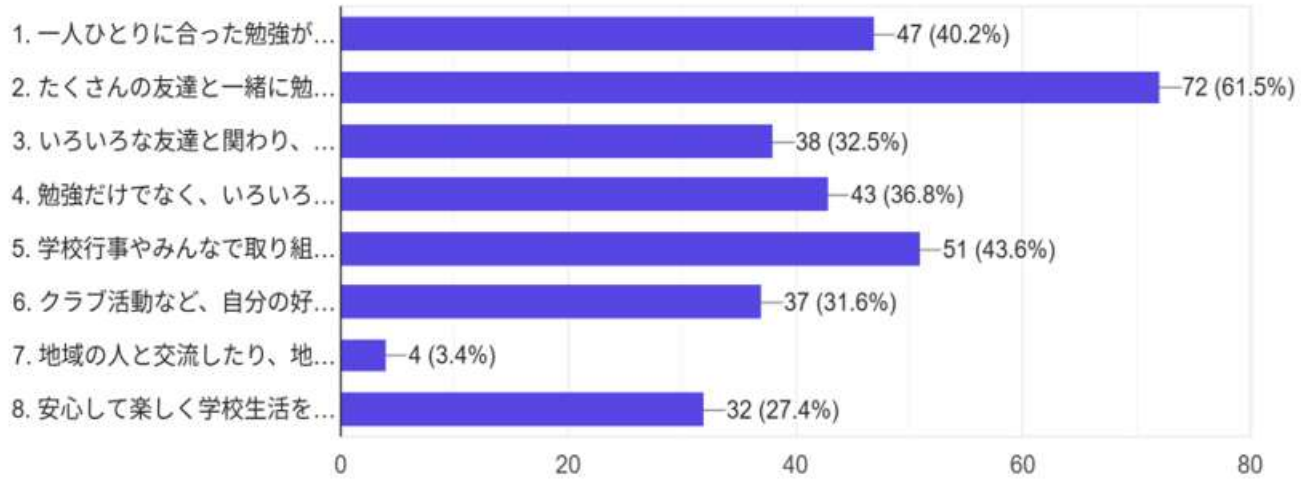
「たくさんの友達と一緒に勉強したり活動したりできること」が61.5%と最も高く、次いで「学校行事やみんなで取り組む活動」が43.6%、「一人ひとりに合った勉強ができること」が40.2%、「勉強だけでなく、いろいろな体験ができること」が36.8%となっている。

また、「いろいろな友達と関わること」が32.5%、「クラブ活動など、自分の好きなことに取り組めること」が31.6%となっている。

これまでの学校生活を振り返った中学生からは、友達と一緒に学ぶ機会を確保しながら、個々の学習、学校行事、体験活動、クラブ活動など、多様な学びや活動の機会を確保することが求められていることがうかがえる。

※回答者117件

選択肢	回答数	割合
1.　一人ひとりに合った勉強ができ、先生にしっかり教えてもらえる学校	47	40.2%
2.　たくさんの友達と一緒に勉強したり、遊んだりできる学校	72	61.5%
3.　いろいろな友達と関わり、違う考え方を知ることができる学校	38	32.5%
4.　勉強だけでなく、いろいろな体験や活動ができる学校	43	36.8%
5.　学校行事やみんなで取り組む活動がたくさんある学校	51	43.6%
6.　クラブ活動など、自分の好きなことに取り組める学校	37	31.6%
7.　地域の人と交流したり、地域について学んだりできる学校	4	3.4%
8.　安心して楽しく学校生活を送れる学校	8	6.8%
9.　その他(　　)	0	0.0%



●問21　将来の学校について意見を聞かせてください。(自由記述)(任意項目)

【自由記述の取扱いについて】

自由記述については、回答者の個人情報、特定の個人・団体等を識別できる記述、特定の個人等に対する誹謗・中傷・個人的な評価に当たる記述等については、趣旨を損なわない範囲で掲載を省略又は要約している。

分類	主な内容
学校の規模・配置・連携	小学校統合、小中一貫、義務教育学校、現状維持、学校配置等
学級規模・編制	1学級の人数、複数学級、少人数指導等
教育内容・学習環境	個別指導、特色ある教育、体験、ICT、社会・政治教育等
通学・安全	スクールバス、通学距離、交通安全、気候への対応等
施設・財政・維持管理	老朽化、修繕、新設、維持管理費、施設活用、財源等
地域・郷土とのつながり	地域交流、地域文化、郷土愛、地域人材等
人口・子育て・定住	少子化、子育て支援、転入、定住、人口増加等
教職員体制	教員配置、教職員不足、負担軽減、支援体制等
特別支援・多様な学び	特別支援学級、個別支援、多様な子どもへの対応等
部活動・行事・体験	部活動、行事、修学旅行、体験活動等
安心・居場所	いじめ防止、心理的な安心、居場所、学校生活の楽しさ等

※回答数:69件　(一般向けアンケートの分離と整合性)

●以下自由記述内容一覧

番号	分類	意見意見
1	学校の規模・配置・連携	これからの学校づくりに向けて、よりよい学校を目指して取り組んでほしいとの意見。
2	学校の規模・配置・連携	生徒数が増えるとよいとの意見。
3	安心・居場所	平和で安心して、幸せに過ごせる学校を望む意見。
4	教育内容・学習環境	楽しく学べる授業を望む意見。
5	学校の規模・配置・連携	よりよい学校づくりに向けて、みんなで取り組んでいくことを望む意見。
6	教育内容・学習環境	生徒数が少なくても、互いに協力しながら学力を高められる学校を望む意見。
7	教育内容・学習環境	多様な意見や個性を尊重し、明るく活気のある学校を望む意見。
8	安心・居場所	安全に学校生活を送ることができる環境を望む意見。
9	施設・財政・維持管理	友達と仲良く過ごせる学校と、きれいで整った校舎・設備を望む意見。
10	地域・郷土とのつながり	学習だけでなく、同学年や異学年の生徒と交流できる環境が大切との意見。
11	特別支援・多様な学び	一人ひとりの個性を尊重する学校を望む意見。
12	施設・財政・維持管理	学校の設備を充実させてほしいとの意見。
13	部活動・行事・体験	部活動等について、生徒が希望する活動に参加しやすい環境を望む意見。
14	施設・財政・維持管理	設備の整った学校を望む意見。
15	学校の規模・配置・連携	学校や教育環境の今後について、なくなることを心配する意見。
16	学校の規模・配置・連携	幼稚園・保育園等とのつながりについての意見。
17	安心・居場所	楽しい学校を望む意見。
18	安心・居場所	安心して学校生活を送ることができる学校を望む意見。
19	教育内容・学習環境	学習が充実し、生徒一人ひとりの意見を聞いてもらえる学校を望む意見。
20	部活動・行事・体験	音楽など、生徒が希望する部活動の選択肢を増やしてほしいとの意見。
21	施設・財政・維持管理	生徒数が少なくても、施設・設備が整い、過ごしやすい学校を望む意見。
22	学級規模・編制	1クラス20人程度の学級規模を望む意見。
23	施設・財政・維持管理	教室や体育館などの施設をきれいにしてほしいとの意見。
24	安心・居場所	安心して学校生活を送ることができる環境を整えてほしいとの意見。
25	部活動・行事・体験	学習だけでなく、部活動など自分のやりたいことに取り組める、設備の整った学校を望む意見。
26	教育内容・学習環境	一緒に学習に取り組める友達がいて、設備や体験学習などが充実した豊かな学校生活を送れる学校を望む意見。
27	安心・居場所	生徒が楽しく、安全に学校生活を送れる学校を望む意見。
28	学校の規模・配置・連携	生徒数の減少を踏まえ、少子化への対応について考えることが重要との意見。
29	安心・居場所	安全に過ごすことができ、みんなが楽しく学校生活を送れる学校を望む意見。
30	学校の規模・配置・連携	小中一貫教育を進めるとともに、学校施設や登下校時の安全などを充実させてほしいとの意見。

31	地域・郷土とのつながり	友達と楽しく学校生活を送るとともに、異学年や他校の生徒との交流を通して、交友関係やコミュニケーション能力を広げたいとの意見。
32	学校の規模・配置・連携	小中一貫教育は進めず、現在の学校を維持したほうがよいとの意見。また、生徒数の減少による部活動等の選択肢の減少を懸念し、学校活動を充実させてほしいとの意見。
33	安心・居場所	学年や性別にかかわらず、互いに気軽に話せる学校を望む意見。
34	学級規模・編制	学習の状況等に応じた学習集団の編成を望む意見。
35	安心・居場所	友達と楽しく学びながら、一人ひとりが安心して生活できる学校を望む意見。
36	施設・財政・維持管理	設備が整った学習環境を望む意見。
37	教職員体制	教職員が生徒に寄り添い、安心して過ごせる環境を望む意見。
38	部活動・行事・体験	学習旅行など、様々な体験の機会を増やしてほしいとの意見。
39	安心・居場所	学校生活のルールについて、生徒の実態に合わせて柔軟に見直してほしいとの意見。
40	部活動・行事・体験	生徒数の減少により、部活動の選択肢が少なくなることを心配する意見。
41	教育内容・学習環境	安心して学習できることを基本とし、様々な経験を通して将来につながる学びができる学校を望む意見。
42	教育内容・学習環境	勉強しやすい環境の学校を望む意見。
43	安心・居場所	楽しく充実した毎日を過ごせる、活気のある学校を望む意見。
44	安心・居場所	いじめや仲間外れがなく、友達と一緒に学んだり遊んだりできる学校を望む意見。
45	学校の規模・配置・連携	小学校を1校に統合し、中学校は1学年1学級程度とするなど、学校規模を見直してはどうかとの意見。
46	部活動・行事・体験	学校行事を楽しみながら、集中して学習できる学校を望む意見。
47	学校の規模・配置・連携	現在の学校の雰囲気をできるだけ維持することで、安心して学習できる学校にしてほしいとの意見。
48	部活動・行事・体験	好きな活動に取り組み、友達との交流を大切にしながら、楽しく充実した学校生活を送れるようにしてほしいとの意見。
49	学校の規模・配置・連携	小学校は統合しても、小学校と中学校は一体化しない学校のあり方を望む意見。また、様々なことを学び、交流・体験できる学校を望む意見。
50	施設・財政・維持管理	体育館を広く、きれいにしてほしいとの意見。
51	学校の規模・配置・連携	安心して学校生活を送れる学校を望むとともに、学校の統合は行わないほうがよいとの意見。
52	学校の規模・配置・連携	生徒数が減少しても、楽しく学校生活を送ることができればよいとの意見。
53	部活動・行事・体験	文化系の部活動を増やしてほしいとの意見。
54	施設・財政・維持管理	体育館や学校施設の整備・修繕を進めてほしいとの意見。
55	教育内容・学習環境	生徒数の確保だけでなく、生徒が「学校にあったらよい」と感じるものや活動を取り入れ、学校生活をより充実させてほしいとの意見。
56	教育内容・学習環境	授業が分かりやすく、安心して学校生活を送れる学校を望む意見。
57	学校の規模・配置・連携	現在の学校数を維持しながら、安全に過ごせる学校にしてほしいとの意見。
58	施設・財政・維持管理	学校施設の破損・劣化等を修繕し、生徒が安心して過ごせる環境を整えてほしいとの意見。
59	教職員体制	自分のやりたいことに取り組み、苦手なことにも授業や学校行事を通して挑戦できる学校を望む意見。また、教員が一人ひとりの生徒に向き合える環境を望む意見。
60	学校の規模・配置・連携	中学校では同じ学校になることを踏まえ、小学校を1校に統合してもよいとの意見。
61	地域・郷土とのつながり	生き生きとした学校を望む一方、学校の長い歴史や伝統を大切にし、統合によって失われないよう配慮してほしいとの意見。また、学校備品等について整理・有効活用を望む意見。
62	学校の規模・配置・連携	よりよい学校にしてほしいとの意見。
63	教育内容・学習環境	友達との交流を大切にしながら、十分な学習を受けられる学校を維持してほしいとの意見。
64	施設・財政・維持管理	体育館の設備を整えてほしいとの意見。
65	安心・居場所	すべての生徒が充実した学校生活を送れる学校を望む意見。
66	学校の規模・配置・連携	生徒数が徐々に減少していることを心配する意見。
67	施設・財政・維持管理	体育館の整備を進めてほしいとの意見。
68	学校の規模・配置・連携	生徒数が少なくても、活気があり、楽しく過ごせる学校がよいとの意見。
69	安心・居場所	すべての生徒が安心・安全に、楽しく通学・学校生活を送れる学校を維持してほしいとの意見。

【中学生 アンケート分析】
中学生の回答では、「友達との関わり」「協力して学ぶこと」「学校行事・部活動」「安心して学校生活を送れること」が一貫して重視されている。
一方で、現在の学校規模については、「みんなで協力しやすい」「学年を超えて仲良くなりやすい」「先生が一人ひとりを見てくれる」といった良さを感じる一方、部活動や学校行事の選択肢、集団活動の規模、多様な人との関わりなどについては、人数が少ないことによる制約を感じていることも分かる。
また、児童生徒数の減少については、約3分の2が心配しており、その具体的な内容として学校行事、部活動、人間関係、活動・体験機会などが挙げられている。
そのため、中学生の回答からは、単に「学校の人数を増やす」ということではなく、「どのような教育環境を確保することが、子どもたちにとって望ましいのか」という視点で、学校規模、教育活動、通学環境、施設・設備等を総合的に検討する必要性が読み取れる。

【中学生全体のまとめ】
中学生の自由意見では、「楽しく充実した学校生活」「安心・安全な学校」「友達や他学年との交流」「分かりやすく充実した学習」「部活動や体験活動の充実」など、日常の学校生活をより豊かにすることを求める意見が多く見られた。
また、学校施設については、校舎や体育館等の整備・修繕を求める意見が複数見られた。さらに、児童生徒数の減少に伴う部活動等の選択肢への影響を心配する意見がある一方、「人数が少なくても活気のある学校」「現在の学校を維持してほしい」といった意見も見られた。
学校の統合や小中一貫教育については、小学校の統合や小中一貫教育を支持する意見がある一方、現在の学校を維持することや、小中一貫教育を進めないことを望む意見も見られ、様々な考えが示された。
全体として、学校の規模や配置だけではなく、「どのような環境で学び、友達や他学年・他校の生徒とどのように関わり、自分の興味・関心や個性を伸ばしていくか」という、教育環境そのものに関する意見が多く見られた。

「-6- 中学生 アンケート」の結果から読み取れる主な傾向

- 友達との交流や協力して学ぶこと、多様な人と関わることを大切にする意見がみられた。
- 安心・安全で、楽しく充実した学校生活を送れる環境を求める意見が多くみられた。
- 学習だけでなく、部活動、学校行事、学習旅行等の体験活動など、自分の興味・関心に応じて取り組める機会を求める意見がみられた。
- 児童生徒数の減少により、部活動等の選択肢が少なくなることや、学校生活への影響を心配する意見もみられた。
- 学校の統合や小中一貫教育については、肯定的な意見と、現在の学校を維持したい・慎重に検討したいという意見の双方がみられた。
- 全体として、学校規模だけでなく、施設・設備、教育内容、友人関係、教職員との関わり、活動機会などを含めた教育環境全体を重視していることがうかがえる。

児童生徒アンケートから読み取れる主な傾向
● 発達段階による違いはあるものの、全体として、「楽しく学校生活を送りたい」「友達と関わりながら学びたい」「安心して過ごしたい」という思いが共通してみられた。 ● 学習面では、知識を身に付けることだけでなく、分かりやすい授業や体験活動、自分の興味・関心や個性を生かせる学びを求める意見がみられた。 ● また、友達や異学年、他校の児童生徒との交流、部活動や行事など、多様な人と関わる機会を重視する意見がみられた。 ● 児童生徒数の減少や学校規模については、特に中学生において、人間関係や部活動、活動の選択肢等への影響を心配する意見がみられた。 ● 学校の統合・小中一貫教育等については様々な考え方がみられたが、共通して、安心して学び、友達と関わり、自分らしく成長できる学校環境を求める意見がみられた。

一般･児童生徒 アンケート全体から読み取れる主な傾向

- 一般向け・児童生徒向けの双方から、子どもたちが安心して学び、多様な人と関わりながら成長できる教育環境を求める意見が多くみられた。
- 教育に期待することとして、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション能力、協調性・社会性など、社会の中で生きていくための力を重視する傾向がみられた。
- 学校規模については、一定の集団規模を確保することによる多様な人との関わりや活動機会の充実を求める意見がある一方、少人数によるきめ細かな指導や一人ひとりに目が届くことを評価する意見もみられた。
- 児童生徒数の減少への対応については、学校の統合・連携等を求める意見と、現在の学校を維持することを求める意見の双方がみられ、学校のあり方について一つの方向に集約されている状況ではない。
- 自由記述を含めると、学校の規模・配置だけでなく、教育内容、通学、安全、施設・設備、教職員体制、特別支援、部活動・行事、地域とのつながり、子育て・定住等を含めた幅広い観点から、今後の学校づくりを考えてほしいという意見が寄せられている。
- 以上のことから、今後の学校のあり方については、学校数や学校規模だけを単独で検討するのではなく、「子どもたちにとってどのような教育環境が望ましいか」という視点から、教育内容や通学、安全、施設、教職員体制、地域とのつながり等を含めて総合的に検討していくことが必要と考えられる。

-9- 全体まとめ

① 子どもたちに求める教育の方向性

思考力・判断力・表現力、コミュニケーション能力、協調性・社会性など、知識・技能だけでなく、人との関わりや社会で生きる力を重視する意見が多くみられた。

② 一定の集団規模を求める意見と少人数の良さの両方

多くの友達や多様な考え方に触れる機会を求める一方、一人ひとりに目が届く少人数教育の良さも評価されている。

③ 児童生徒数減少への対応

児童生徒数の減少について一定の不安や懸念が示されており、今後の学校規模や学校配置について関心が寄せられている。

④ 統合・連携については意見が分かれている

小学校統合、小中一貫教育、義務教育学校等を検討する意見がある一方、現在の学校を維持してほしい、地域とのつながりや学校の伝統を大切にしてほしいとの意見もみられる。

⑤ 学校の規模だけでなく「教育環境全体」が重視されている

通学・安全、施設・設備、教育内容、教職員体制、特別支援、部活動、体験活動、地域とのつながりなど、学校の規模や配置以外にも幅広い意見が寄せられている。

これらの結果から、今後の学校のあり方については、学校数や学校規模だけを単独で検討するのではなく、児童生徒にとって望ましい教育環境をどのように確保するかという観点から、教育内容、学習環境、通学、安全、施設、教職員体制、地域とのつながり等を含めて総合的に検討していくことが重要である。